

第 51 回ガンカモ類の生息調査
報 告 書
(令和元年度)

令和 3 (2021) 年 3 月

環 境 省
自 然 環 境 局

第 51 回ガンカモ類の生息調査

報 告 書

(令和元年度)

令和 3 (2021) 年 3 月

環 境 省
自 然 環 境 局

はじめに

我が国は、東アジア地域を季節移動するガン、カモ、ハクチョウ類のフライウェイの一部を構成し、主要な越冬地を提供している。しかしながら、越冬地として適した湖沼や河川、遊水池、干潟などの湿地は、経済の発展とともに環境改変や人為活動、水質汚濁等によって徐々に減少、悪化し、これまでガン、カモ、ハクチョウ類は大きな影響を受けてきた。例えば、かつて東京湾には広大な干潟が広がり、多くのガン、カモ、ハクチョウ類が生息する好適な環境の一つに数えられたが、埋め立てが進んだ現在、目にすることのできる種は一部の限られたものとなってしまった。また、ガン類はかつて九州まで広く国内全域に渡来していたが、現在では極めて局所的な越冬地に集中する状態となっている。さらに、我が国への定期的な群れの渡来が見られなくなった種も複数存在する。昨今のこのような状況から、今日、越冬地の適切な管理や維持を通じてガン、カモ、ハクチョウ類を保全することが求められている。我が国のガン、カモ、ハクチョウ類とその生息地を保全することは、フライウェイを介して東アジア地域のガン、カモ、ハクチョウ類保全につながる非常に重要な取り組みである。

また、ガン、カモ、ハクチョウ類をはじめとする水鳥は、良好に保たれた水辺環境の指標種としての役割を持っている。そのため、ガン、カモ、ハクチョウ類を含む水鳥の保全には湿地生態系を保全する効率的な手段としての意義があり、今ではそれが世界的に認識されてきている。

本調査は、我が国におけるガン、カモ、ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握し、野生生物保護行政に必要な資料を収集することを目的として、環境庁（当時）が発足する以前の昭和45年、鳥獣行政が林野庁所管の時代に各都道府県の協力を得てスタートした。その後、昭和47年からは、野生生物行政の一環として環境庁（当時）が取りまとめにあたり、令和元年度調査で第51回を迎えた。本調査の成果からは、ガン、カモ、ハクチョウ類の生息状況、渡来傾向、保護管理を図るべき生息地等に関する貴重な資料が得られており、各地の鳥獣保護区指定やラムサール条約湿地を選定するための候補抽出などに活用されている。

本調査の実施にあたっては、都道府県の職員や鳥獣保護管理員、公益財団法人日本野鳥の会、公益財団法人日本鳥類保護連盟及び一般社団法人大日本猟友会の会員の方々に、ご多忙の中を多大な尽力をいただいた。ここに厚く御礼申し上げるとともに、今後とも調査を継続し、さらに充実した資料とするために、より一層のご協力をお願いする次第である。

令和3年3月

環境省自然環境局 生物多様性センター

目 次

要 約 (Abstract)

第1章 調査状況	1
1. 調査目的	1
2. 調査方法	1
3. 調査期日	1
4. 調査規模	2
5. 調査結果の整理	7
6. 亜種の扱い	7
7. 調査成果の活用	7
第2章 令和元年度（第51回）調査結果	8
1. 結果概要	8
2. ハクチョウ類	12
2.1 観察個体数	12
2.2 分布状況	15
2.3 法指定区域別の観察状況	17
2.4 地況別の観察状況	21
3. ガン類	25
3.1 観察個体数	25
3.2 分布状況	29
3.3 法指定区域別の観察状況	31
3.4 地況別の観察状況	36
4. カモ類	40
4.1 観察個体数	40
4.2 分布状況	41
4.3 法指定区域別の観察状況	55
4.4 地況別の観察状況	65
5. 希少なガンカモ類の観察状況	75
5.1 選定基準	75
5.2 希少なガンカモ類の観察状況	76
6. 移入種の観察状況	78
6.1 コブハクチョウ	78
7. 飼養品種の観察状況	80

要 約

環境省は、ガン、カモ、ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握し、野生生物保護管理行政に必要な情報を把握するため、都道府県の協力を得て、ガン、カモ、ハクチョウ類の生息状況の把握調査を、毎年1月中旬、全国一斉に実施している。

令和元年度の調査は、実施要領に基づき令和2年1月12日とその前後7日間（計15日間）を原則とし、全国9,040地点において、延べ14,068名の調査員により実施された。

ハクチョウ類は34道府県の574地点において65,144羽、ガン類は28道府県の148地点において302,503羽、カモ類は全都道府県の6,522地点において1,640,962羽が観察された。観察総数は2,008,609羽であり、平成30年度の1,949,878羽と比べ58,731羽増加した。

分類群別に最も観察個体数の多かった種は、ハクチョウ類はコハクチョウ（42,252羽）、ガン類はマガン（280,316羽）、カモ類はマガモ（403,544羽）であった。

Abstract

Ministry of the Environment has been conducting a waterfowl Anatidae population census during the winter each year in order to confirm the status of wintering swans, geese and ducks and to collect the information necessary for wildlife management. In cooperation with all prefectures, this census is carried out in January simultaneously throughout Japan.

The census of this year was carried out for 15 days in total before and after January 12th, 2020, at 9,040 observatory sites by a total of 14,068 participants.

65,144 swans were confirmed at 574 sites in 34 prefectures, 302,503 geese at 148 sites in 28 prefectures, 1,640,962 ducks at 6,522 sites in all prefectures. The total number of waterfowl counted this year has increased by 58,731 to 2,008,609 compared with the number last year 1,949,878.

The most abundant waterfowl was Tundra Swan (42,252) in swans, Greater White-fronted Goose (280,316) in geese, and Mallard (403,544) in ducks.

第1章 調査状況

1. 調査目的

本調査は国や自治体における野生動物保護管理行政（鳥獣の保護管理、希少種の保全、外来種・鳥インフルエンザ対策等）に効果的に活用されるよう、我が国におけるガン類、カモ類、ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握することを目的とした。

2. 調査方法

調査実施に先立ち、過去の調査結果や鳥類保護団体等からの情報に基づいてガン類、カモ類、ハクチョウ類全ての渡来地を抽出し、その位置と地況等を整理した。次いでそれらの中から調査地点を選定したが、その際、ハクチョウ類、あるいはガン類の見られる渡来地は全てを、カモ類のみの渡来地については各都道府県の状況に応じて可能な限り多くの渡来地を調査地点として選定した。

現地調査では、調査地点ごとに1名以上の調査員を配置し、双眼鏡や望遠鏡を用いて種ごとに観察個体数を計数した。その他、調査地点での人工給餌の有無や工事の有無、天候なども併せて記録した。

なお、現地調査は各都道府県が主体となり、資料編に示した調査実施要領に従って実施した。

3. 調査期日

現地調査の実施期日は、原則として令和2年1月12日を基準日とした前後1週間（1月5日～19日）としており、都道府県ごとに集中調査日を設定し、天候等の状況によって実施不可能な場合には、その前後に実施することとした。実際の調査は8,968地点（約99.2%）が1月5日～19日に実施された。平成30年度の調査期間に調査された地点数8,825地点（98.7%）と比較すると、調査実施割合は高くなった。また、調査期間より前に調査を実施した地点は49地点（0.5%）、調査期間より後に実施された地点は23地点（0.3%）であった。

表 1-1 調査期日

調査期日	令和元年度		平成30年度	
	地点数	割合 (%)	地点数	割合 (%)
調査日から一週間以前	49	0.5	104	1.2
調査日の前後一週間 (令和元年度は1/5～1/19)	8,968	99.2	8,825	98.7
調査日から一週間以降	23	0.3	8	0.1
合計	9,040	100.0	8,937	100.0

4. 調査規模

令和元年度の調査は、全国47都道府県の計9,040地点、総面積381,004 haを対象として、総勢3,601名（延べ14,068人で複数地点を調査している場合があるため）の調査員によって実施した。

表1-2に平成30年度からの調査継続状況別の調査地点数を示した。平成30年度から継続して実施されている地点は8,645地点、令和元年度新規に調査を行った地点及び平成30年度は調査を休止していたが令和元年度に調査を復活した地点は395地点であった。また、平成30年度は調査を実施したが、令和元年度は調査を休止した地点は474地点であった。

河川や湖沼等の地況別の調査地点数及び調査面積を表1-3に、都道府県ごとの調査地点数、調査面積、調査人数及び延べ調査人数を表1-4に、都道府県ごとの調査員の内訳を表1-5に、調査実施地点を図1-1(1)～(2)に示した。

表 1-2 平成 30 年度からの調査継続状況

調査継続状況		地点数	割合(%)
調査実施	前年度より調査継続	8,645	95.6
	今年度より調査開始・再開	395	4.4
	合計	9,040	100.0
今年度より調査休止		474	

表 1-3 地況別の調査地点数及び調査面積

地況	調査地点数		調査面積 (ha)	
	地点数	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
海岸	838	9.3	118,765	31.2
河口	380	4.2	22,045	5.8
河川	3,135	34.7	70,781	18.6
自然湖沼	523	5.8	105,343	27.6
ダム湖	700	7.7	32,675	8.6
その他人造湖	3,204	35.4	16,869	4.4
その他	260	2.9	14,522	3.8
合計	9,040	100.0	381,004	100.0

【備考】割合は、総観察地点数及び総調査面積に対する、地況別の構成比を示す。
 ※注：小数以下を四捨五入して表示しているため内訳と合計にずれがある

表 1-4 都道府県別調査規模

都道府県	調査地点数	調査面積 (ha)	調査人数	延べ調査人数
北海道	150	11,900	88	328
青森県	235	11,893	57	322
岩手県	334	4,902	101	432
宮城県	506	15,042	104	573
秋田県	346	14,839	68	492
山形県	343	2,685	51	362
福島県	312	8,056	171	537
茨城県	42	21,813	92	115
栃木県	37	1,546	35	79
群馬県	81	1,782	61	82
埼玉県	162	8,404	369	369
千葉県	341	6,916	129	453
東京都	80	3,944	61	140
神奈川県	271	5,230	99	451
新潟県	22	3,142	65	68
富山県	17	1,055	23	27
石川県	11	10,979	41	41
福井県	17	9,944	55	75
山梨県	102	5,624	75	221
長野県	302	6,126	132	421
岐阜県	118	6,129	70	289
静岡県	140	6,167	114	261
愛知県	144	4,673	84	283
三重県	307	7,200	61	432
滋賀県	182	23,517	45	338
京都府	157	6,391	80	473
大阪府	465	5,034	136	639
兵庫県	230	4,350	139	578
奈良県	118	1,432	44	288
和歌山県	347	2,658	101	724
鳥取県	11	12,260	28	28
島根県	235	22,419	76	396
岡山県	15	6,948	46	47
広島県	299	5,890	51	558
山口県	245	5,206	55	277
徳島県	76	10,222	29	76
香川県	199	5,425	30	339
愛媛県	250	17,467	42	323
高知県	90	5,056	83	112
福岡県	288	3,983	66	348
佐賀県	133	4,546	23	163
長崎県	45	36,631	25	80
熊本県	197	2,303	47	205
大分県	479	5,192	66	529
宮崎県	104	5,023	52	230
鹿児島県	281	4,250	95	288
沖縄県	174	4,811	36	176
合 計	9,040	381,004	3,601	14,068

※注：小数以下を四捨五入して表示しているため内訳と合計にずれがある

表 1-5 都道府県別調査員の内訳

都道府県	調査員人数(人)									計
	都道府県 職員	鳥獣保護管理員				鳥獣保護管理員以外				
		保護団体 関係者	狩猟団体 関係者	両団体 関係者	その他	保護団体 関係者	狩猟団体 関係者	両団体 関係者	その他	
北海道	32	2	11	0	4	10	0	6	23	88
青森県	15	0	22	4	16	0	0	0	0	57
岩手県	3	4	50	11	5	21	5	0	2	101
宮城県	24	0	0	0	73	7	0	0	0	104
秋田県	18	0	22	7	19	0	2	0	0	68
山形県	1	0	32	1	1	13	2	1	0	51
福島県	4	0	45	0	19	100	1	0	2	171
茨城県	0	3	0	0	0	89	0	0	0	92
栃木県	15	7	0	0	2	11	0	0	0	35
群馬県	0	0	0	0	0	61	0	0	0	61
埼玉県	0	0	0	0	5	364	0	0	0	369
千葉県	17	4	75	15	9	1	8	0	0	129
東京都	20	0	0	0	41	0	0	0	0	61
神奈川県	36	3	55	0	5	0	0	0	0	99
新潟県	0	3	0	0	0	60	0	0	2	65
富山県	0	4	4	0	2	6	1	1	5	23
石川県	0	0	0	0	0	41	0	0	0	41
福井県	0	2	0	0	0	53	0	0	0	55
山梨県	19	1	38	0	3	13	0	0	1	75
長野県	19	5	76	1	22	2	3	0	4	132
岐阜県	0	0	0	0	0	64	0	0	6	70
静岡県	0	0	0	0	0	100	0	0	14	114
愛知県	39	5	32	0	0	1	3	0	4	84
三重県	23	0	0	0	0	38	0	0	0	61
滋賀県	0	0	0	0	0	45	0	0	0	45
京都府	0	4	0	0	0	76	0	0	0	80
大阪府	1	16	0	0	0	119	0	0	0	136
兵庫県	6	0	0	0	0	127	0	0	6	139
奈良県	0	1	0	0	0	42	0	0	1	44
和歌山県	2	0	8	28	11	35	1	0	16	101
鳥取県	0	0	0	0	0	28	0	0	0	28
島根県	20	1	20	8	3	2	0	0	22	76
岡山県	0	0	0	0	0	46	0	0	0	46
広島県	5	3	3	0	0	40	0	0	0	51
山口県	2	0	34	9	2	1	5	0	2	55
徳島県	0	0	0	0	0	29	0	0	0	29
香川県	1	4	0	0	0	15	0	0	10	30
愛媛県	0	0	0	0	0	42	0	0	0	42
高知県	2	0	38	0	0	42	0	0	1	83
福岡県	0	8	55	2	1	0	0	0	0	66
佐賀県	0	4	7	2	10	0	0	0	0	23
長崎県	0	0	0	0	0	23	2	0	0	25
熊本県	2	2	31	5	6	0	1	0	0	47
大分県	3	0	56	0	0	0	0	0	7	66
宮崎県	12	0	31	0	3	0	0	0	6	52
鹿児島県	1	0	91	0	3	0	0	0	0	95
沖縄県	0	13	6	2	15	0	0	0	0	36
合計	342	99	842	95	280	1,767	34	8	134	3,601

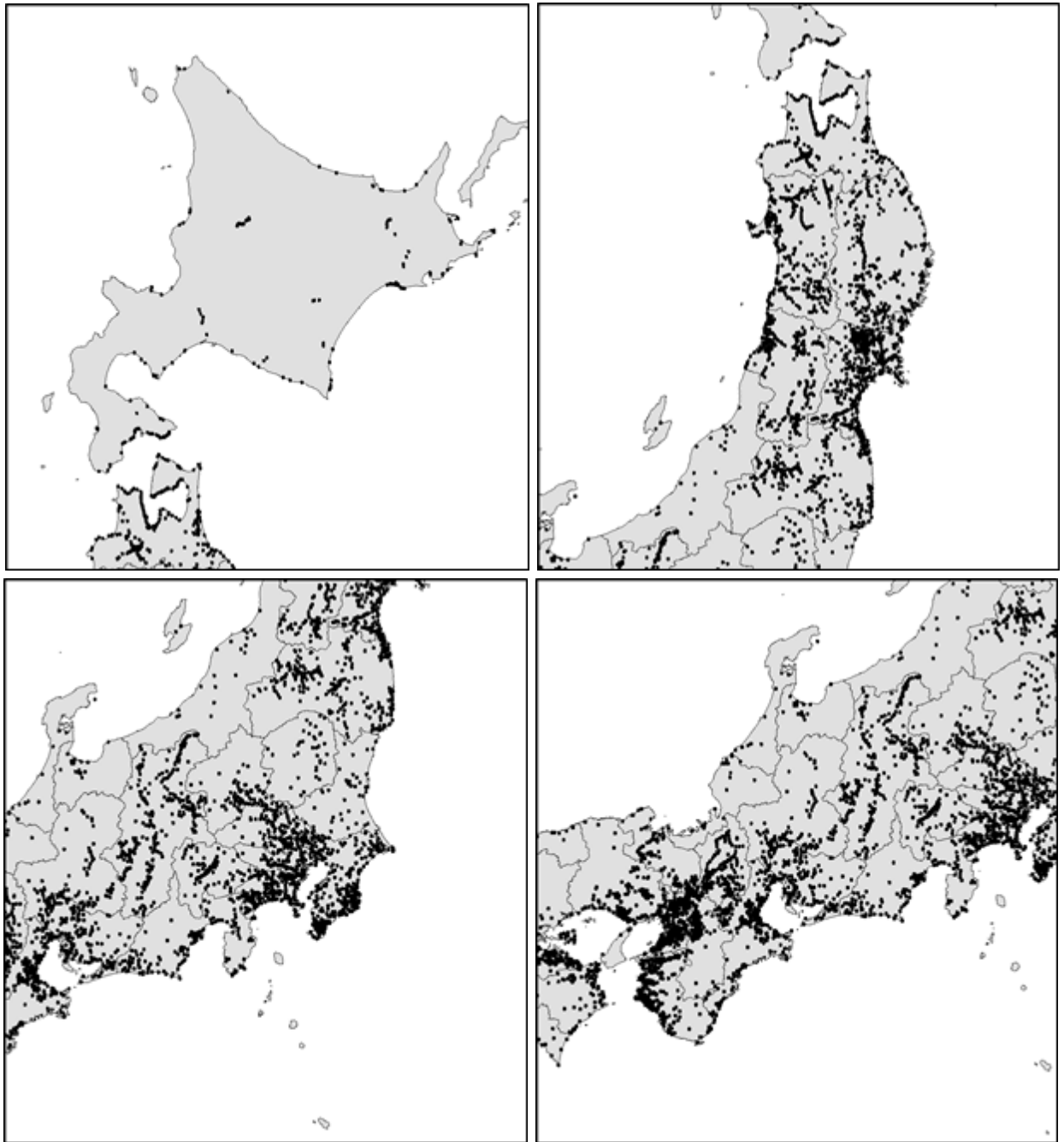


図 1-1(1) 調査実施地点

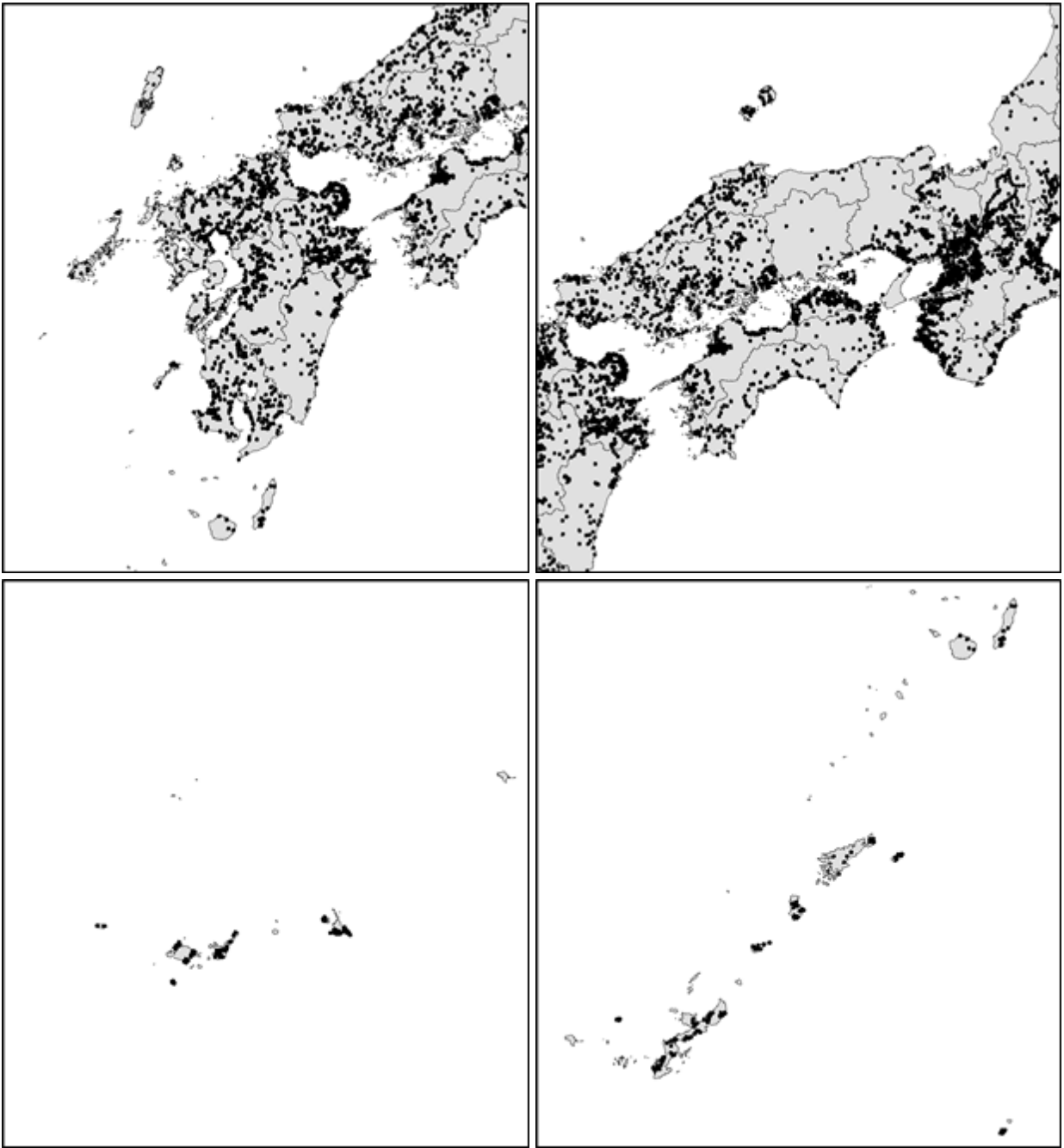


図 1-1(2) 調査実施地点

5. 調査結果の整理

各都道府県からの報告を受けた調査結果について、沿岸性の種の内陸部での記録や、希少種の大きな群れなどの生態学的に疑問のある観察記録（以下「生物学的チェック」という。）及び内訳と合計が一致しない箇所の確認（以下「論理的チェック」という。）を行い、これらの疑義について各都道府県に問い合わせを行った。本調査結果はこれらのチェックを経て得られたデータである。

なお、以下のとりまとめでは、調査地点のうち、実際にガン、カモ、ハクチョウ類が1羽でも観察された地点の数を「観察地点数」として示し、ガン、カモ、ハクチョウ類が観察されない地点を含む「調査地点数」と区別している。

6. 亜種の扱い

本報告書で用いているデータは、基本的に亜種を含む種を対象として整理を行っている。

ただし、コハクチョウは、単独で記載している場合は亜種を含む種コハクチョウを意味し、コハクチョウとアメリカコハクチョウを併記している場合は、コハクチョウは亜種コハクチョウを、アメリカコハクチョウは亜種アメリカコハクチョウを意味する。また、シジュウカラガンは、シジュウカラガンと記載している場合は亜種を含む種シジュウカラガン（カナダガンを除く。）を意味する。

7. 調査成果の活用

本調査の結果は、環境省生物多様性センターのウェブサイト（http://www.biodic.go.jp/gankamo/gankamo_top.html）で公開されており、年次報告書及び確定値（都道府県別、調査地点別）が公開されている。

調査成果は、下記のような施策や国際的枠組み等で活用されている。

- 施策への活用：二国間渡り鳥条約会議への情報提供
- 国際協力：Asian Waterbird Census への情報提供
- 環境アセスメントへの活用：「鳥類等に関する風力発電施設立地適正化のための手引き」で参照すべきデータとして引用

また、調査成果を利用した研究の報告や発表について生物多様性センターに報告があったものについても、上記 Web サイトで公表している。

第2章 令和元年度（第51回）調査結果

1. 結果概要

都道府県別の観察個体数を表2-1-1に示した。令和元年度の調査では、調査を行った9,040地点のうち6,655地点で、総計2,008,609羽のガン、カモ、ハクチョウ類が観察された。分類群別では、ハクチョウ類65,144羽、ガン類302,503羽、カモ類1,640,962羽であった（図2-1-1）。

分類群別に観察個体数を見ると、ハクチョウ類が最も多く観察された都道府県は新潟県で、ハクチョウ類全体の24.9%にあたる16,223羽が観察され、次いで山形県、宮城県でそれぞれ10,622羽（16.3%）、9,585羽（14.7%）が観察された。ガン類が最も多く観察された都道府県は宮城県で、ガン類全体の88.7%にあたる268,189羽が観察され、次いで秋田県、新潟県でそれぞれ21,267羽（7.0%）、5,726羽（1.9%）が観察された。また、カモ類が最も多く観察された都道府県は茨城県で、カモ類全体の8.6%にあたる141,253羽が観察され、次いで千葉県、滋賀県でそれぞれ104,915羽（6.4%）、92,909羽（5.7%）が観察された（表2-1-1）。

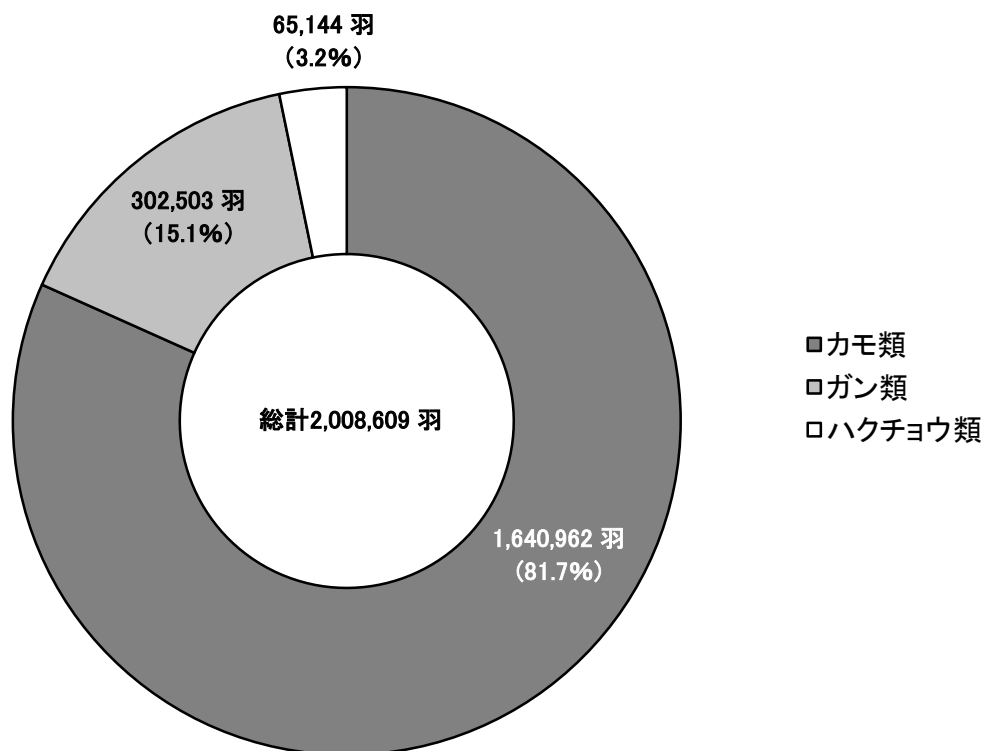


図 2-1-1 ガン、カモ、ハクチョウ類の観察個体数の内訳

表 2-1-1 都道府県別のガン、カモ、ハクチョウ類の観察個体数

都道府県	観察地点数	ハクチョウ類		ガン類		カモ類		合計	
		観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)	観察個体数 (羽)	国内割合 (%)
北海道	133	3,398	5.2	668	0.2	10,988	0.7	15,054	0.7
青森県	150	903	1.4	427	0.1	8,022	0.5	9,352	0.5
岩手県	250	4,851	7.4	1,404	0.5	26,428	1.6	32,683	1.6
宮城県	354	9,585	14.7	268,189	88.7	55,523	3.4	333,297	16.6
秋田県	205	2,722	4.2	21,267	7.0	27,550	1.7	51,539	2.6
山形県	218	10,622	16.3	124	<0.05	88,035	5.4	98,781	4.9
福島県	245	5,869	9.0	0	—	44,429	2.7	50,298	2.5
茨城県	42	973	1.5	190	0.1	141,253	8.6	142,416	7.1
栃木県	35	208	0.3	0	—	20,286	1.2	20,494	1.0
群馬県	74	235	0.4	0	—	13,549	0.8	13,784	0.7
埼玉県	146	145	0.2	0	—	28,992	1.8	29,137	1.5
千葉県	255	2,180	3.3	4	<0.05	104,915	6.4	107,099	5.3
東京都	67	0	—	0	—	11,619	0.7	11,619	0.6
神奈川県	186	5	<0.05	0	—	9,250	0.6	9,255	0.5
新潟県	22	16,223	24.9	5,726	1.9	91,904	5.6	113,853	5.7
富山県	17	775	1.2	3	<0.05	18,187	1.1	18,965	0.9
石川県	11	3,173	4.9	379	0.1	60,437	3.7	63,989	3.2
福井県	16	10	<0.05	981	0.3	26,625	1.6	27,616	1.4
山梨県	58	52	0.1	0	—	3,038	0.2	3,090	0.2
長野県	186	276	0.4	0	—	17,575	1.1	17,851	0.9
岐阜県	115	28	<0.05	0	—	29,062	1.8	29,090	1.4
静岡県	135	6	<0.05	0	—	28,911	1.8	28,917	1.4
愛知県	122	9	<0.05	1	<0.05	36,818	2.2	36,828	1.8
三重県	237	0	—	5	<0.05	37,870	2.3	37,875	1.9
滋賀県	167	624	1.0	231	0.1	92,909	5.7	93,764	4.7
京都府	139	3	<0.05	1	<0.05	20,859	1.3	20,863	1.0
大阪府	385	3	<0.05	0	—	36,636	2.2	36,639	1.8
兵庫県	206	15	<0.05	17	<0.05	49,724	3.0	49,756	2.5
奈良県	110	0	—	0	—	18,674	1.1	18,674	0.9
和歌山県	153	0	—	0	—	10,111	0.6	10,111	0.5
鳥取県	11	317	0.5	21	<0.05	18,790	1.1	19,128	1.0
島根県	162	1,894	2.9	2,793	0.9	84,598	5.2	89,285	4.4
岡山県	15	0	—	10	<0.05	16,789	1.0	16,799	0.8
広島県	259	0	—	1	<0.05	34,680	2.1	34,681	1.7
山口県	199	0	—	0	—	19,230	1.2	19,230	1.0
徳島県	72	0	—	1	<0.05	23,671	1.4	23,672	1.2
香川県	162	8	<0.05	3	<0.05	21,624	1.3	21,635	1.1
愛媛県	180	1	<0.05	1	<0.05	31,317	1.9	31,319	1.6
高知県	53	0	—	0	—	31,081	1.9	31,081	1.5
福岡県	207	6	<0.05	0	—	23,820	1.5	23,826	1.2
佐賀県	114	0	—	40	<0.05	40,276	2.5	40,316	2.0
長崎県	43	21	<0.05	1	<0.05	35,136	2.1	35,158	1.8
熊本県	147	0	—	0	—	22,684	1.4	22,684	1.1
大分県	266	0	—	2	<0.05	16,331	1.0	16,333	0.8
宮崎県	69	1	<0.05	0	—	21,990	1.3	21,991	1.1
鹿児島県	179	3	<0.05	0	—	27,002	1.6	27,005	1.3
沖縄県	78	0	—	13	<0.05	1,764	0.1	1,777	0.1
合計	6,655	65,144	100.0	302,503	100.0	1,640,962	100.0	2,008,609	100.0

【備考】国内割合は、各都道府県の観察個体数の、全国合計に対する構成比を示す。
観察地点数は調査地点のうち、実際にガンカモ類が確認された地点の数を示す。

昭和44年度からの観察個体数の推移と調査地点数をそれぞれ図2-1-2、図2-1-3に示した。ガン、カモ、ハクチョウ類全体の観察個体数は平成30年度と比べて3.0%増加した。分類群別に見ると、ハクチョウ類では11.0%減少、ガン類では18.4%増加、カモ類では1.2%の増加であった。

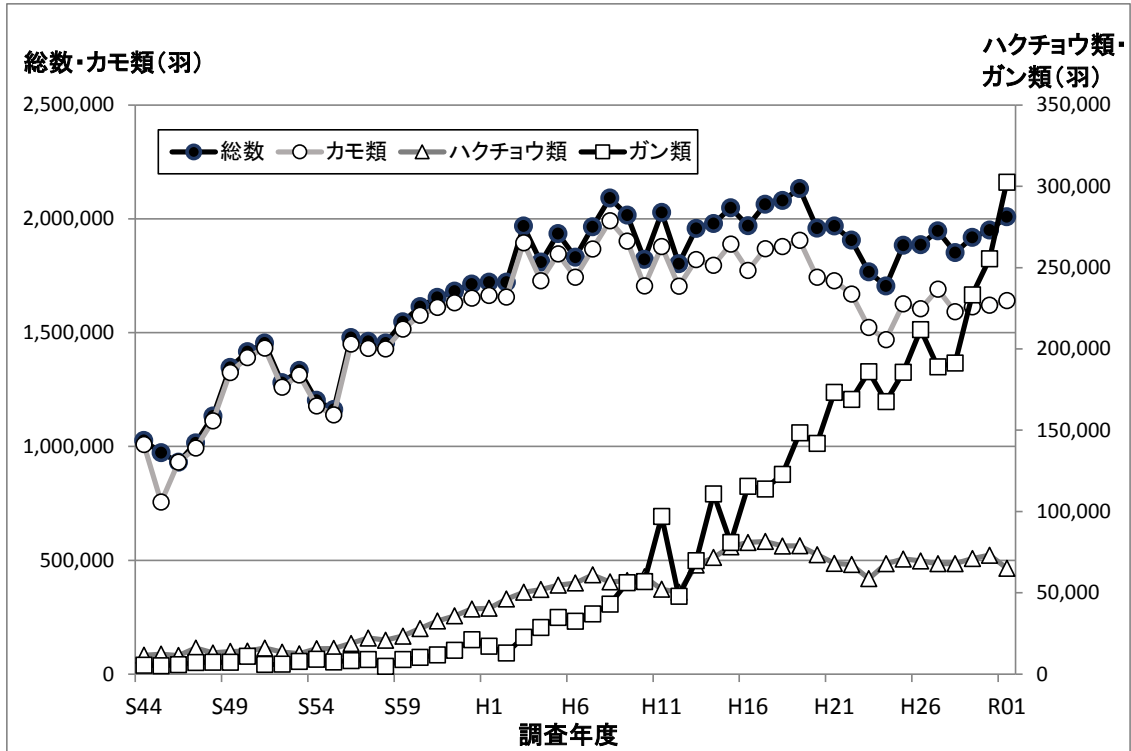


図 2-1-2 昭和 44 年度からのガン、カモ、ハクチョウ類観察個体数の推移

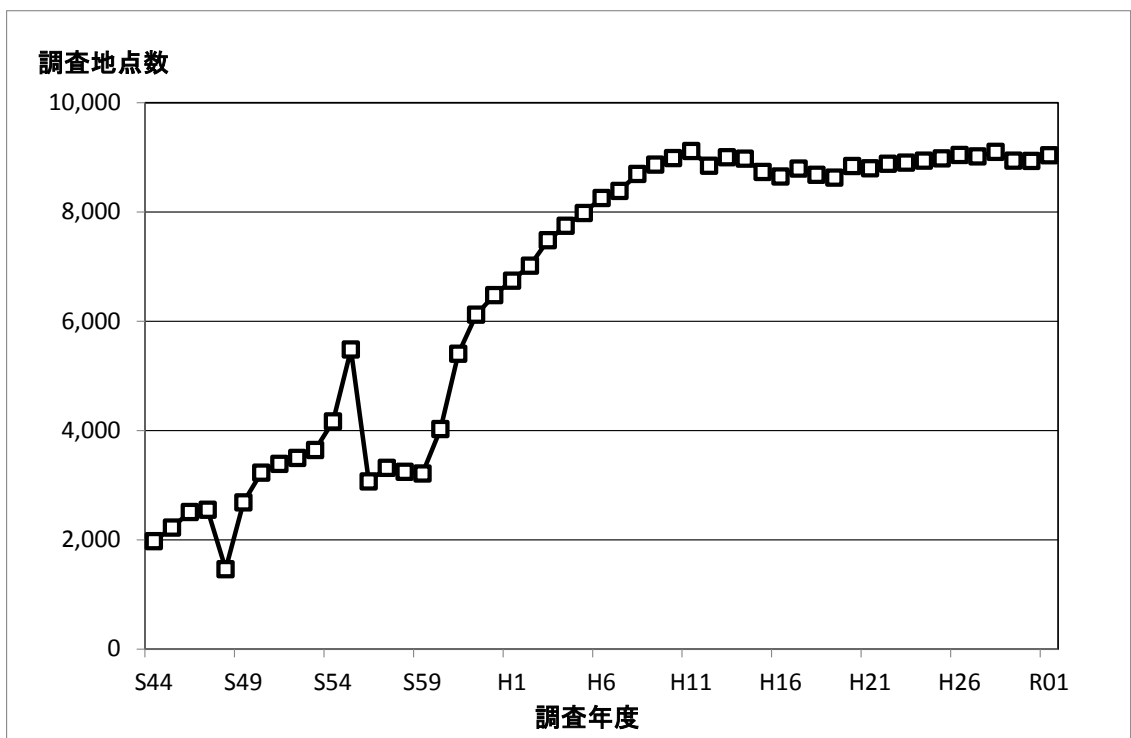


図 2-1-3 昭和 44 年度からの調査地点数の推移

令和元年度にガン、カモ、ハクチョウ類が観察されている調査地域のうち上位10地域を過去2か年度（平成30年度と平成29年度）の観察個体数とともに表2-1-2に示した（調査地域とは、都道府県担当者の視点で一体として扱うべき調査地点群であり、複数の調査地点から構成される場合がある。以降同様とする。）。

ラムサール条約湿地の水鳥類に関する登録基準の一つに「定期的に20,000羽以上の水鳥を支える」ことがあるが、令和元年度も含め3年連続で20,000羽以上のガン、カモ、ハクチョウ類が観察されている調査地域は、蕪栗沼、伊豆沼内沼、琵琶湖、宍道湖、霞ヶ浦、河北潟、三番瀬、諫早湾の8地域であった。このうち蕪栗沼、伊豆沼内沼、琵琶湖、宍道湖の4地域は既にラムサール条約湿地である。

表 2-1-2 ガン、カモ、ハクチョウ類観察個体数上位 10 地域

順位	地域名	所在地	観察個体数 (羽)	国内割 合(%)	過去の観察個体数(羽)	
					H30	H29
1	蕪栗沼*	宮城県大崎市田尻	144,519 *	7.2	117,753 *	122,031 *
2	伊豆沼内沼*	宮城県登米市他	88,805 *	4.4	100,571 *	93,746 *
3	琵琶湖*	滋賀県野洲市他	68,999 *	3.4	54,197 *	53,569 *
4	宍道湖*	島根県松江市	67,346 *	3.4	40,044 *	39,955 *
5	霞ヶ浦*	茨城県行方市他	52,254 *	2.6	58,313 *	56,440 *
6	化女沼	宮城県大崎市	36,443 *	1.8	19,845	22,822 *
7	北浦	宮城県美里町小牛田他	31,832 *	1.6	23,310 *	12,183
8	河北潟*	石川県金沢市	27,638 *	1.4	20,380 *	22,559 *
9	三番瀬*	千葉県船橋市	24,132 *	1.2	55,869 *	21,477 *
10	諫早湾*	長崎県諫早市	23,666 *	1.2	49,705 *	71,134 *
—	その他	—	1,442,975	71.8	1,409,891	1,402,032
	全国計		2,008,609	100.0	1,949,878	1,917,948

【備考】20,000羽以上の記録とそれが最近3年間継続している地域名は*を付けて太字で示した。
国内割合は、各地域の観察個体数の、全国合計に対する構成比を示す。

2. ハクチョウ類

2.1 観察個体数

ハクチョウ類の令和元年度の観察個体数の種別割合を図2-2-1に示した。

令和元年度の調査では、34道府県の574地点において65,144羽のハクチョウ類が観察された。主な種を見ると、オオハクチョウが20,674羽、コハクチョウ(アメリカコハクチョウを含む、以降同様)が42,252羽(うち、アメリカコハクチョウ13羽)観察された。また、移入種であるコブハクチョウ(6. 移入種の観察状況を参照)が307羽、種不明が1,911羽観察された。令和元年度のハクチョウ類の観察個体数の種別割合は、平成30年度と比較してオオハクチョウは16.6%減少し、コハクチョウは7.3%減少した。

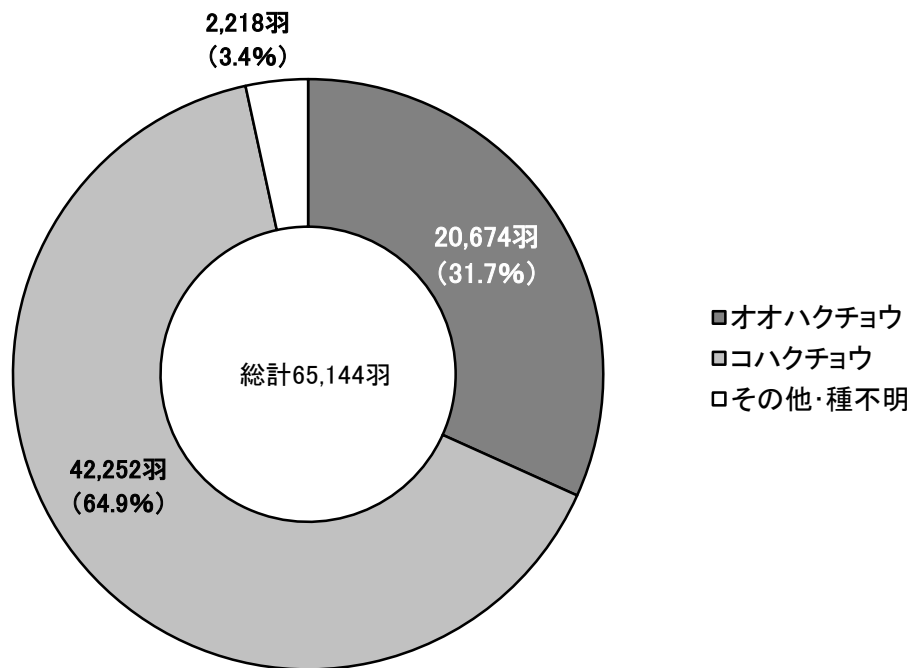


図 2-2-1 ハクチョウ類の観察個体数の内訳

(1) オオハクチョウ

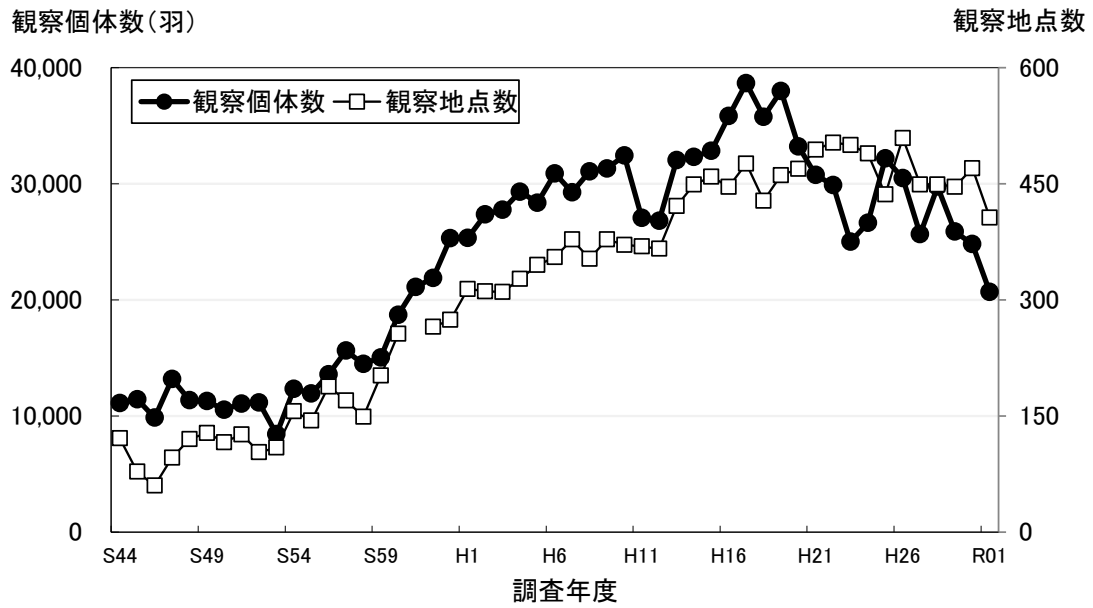
観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、概ね300～500地点で推移している。

観察個体数については、平成17年度に38,000羽程度まで増加した後、平成23年度にかけて減少傾向が見られた。平成24年度以降の観察個体数は概ね25,000～30,000羽で推移していたものの、平成28年度から令和元年度にかけては減少傾向が見られる（図2-2-2（1））。

(2) コハクチョウ

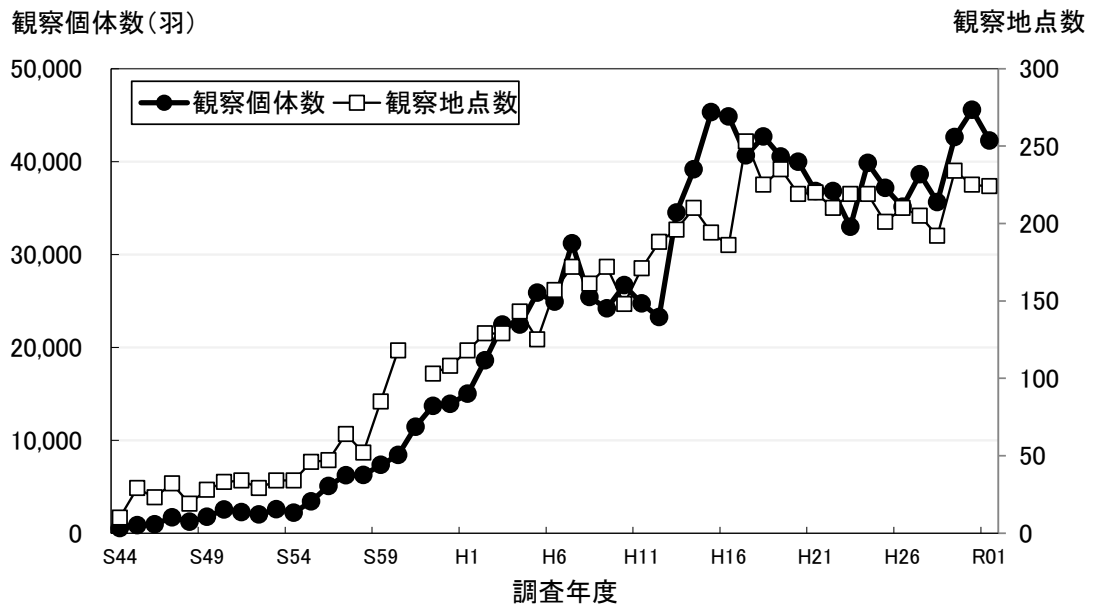
観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、概ね150～250地点で推移している。

観察個体数については、平成15年度の45,000羽程度から平成23年度にかけて減少傾向が見られたものの、平成24年度以降は35,000～45,000羽で推移している（図2-2-2（2））。



*昭和 61 年度は観測地点数を集計していない

図 2-2-2(1) オオハクチョウの観測状況の推移



*昭和 61 年度は観測地点数を集計していない。

図 2-2-2(2) コハクチョウの観測状況の推移

2.2 分布状況

令和元年度の都道府県別調査結果を表2-2-1に示した。

都道府県別の観察個体数を見ると、ハクチョウ類全体では東北地方(34,552羽)、北陸(20,181羽)及び関東地方(3,746羽)で観察個体数が多く、これら3つの地域で全国の89.8%にあたる58,479羽が観察された。特に新潟県、山形県、宮城県では観察個体数が9,000羽を越えており、3県のみで全体の55.9%にあたる36,430羽が観察された。

(1) オオハクチョウ

北海道、東北地方及び新潟県で観察個体数が多く、コハクチョウよりも高緯度寄りに分布している。都道府県別に観察個体数を見ると、宮城県が唯一5,000羽を超え、6,135羽観察された。

(2) コハクチョウ

全体的にオオハクチョウより低緯度まで分布しており、朝鮮半島方面から渡ってくるものが知られている島根県では1,874羽が観察された。都道府県別に観察個体数を見ると、新潟県が唯一10,000羽を超え14,876羽観察された。

表 2-2-1 都道府県別のハクチョウ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察地点数	観察個体数（羽）			合計
		オオハクチョウ	コハクチョウ	その他・種不明	
北海道	37	3,241	152	5	3,398
青森県	48	466	381	56	903
岩手県	76	3,522	1,328	1	4,851
宮城県	119	6,135	3,198	252	9,585
秋田県	43	1,560	453	709	2,722
山形県	54	1,296	8,416	910	10,622
福島県	69	1,824	3,962	83	5,869
茨城県	19	594	325	54	973
栃木県	7	176	32	0	208
群馬県	4	103	132	0	235
埼玉県	5	2	142	1	145
千葉県	12	104	2,044	32	2,180
東京都	0	0	0	0	0
神奈川県	1	0	0	5	5
新潟県	17	1,344	14,876	3	16,223
富山県	6	249	526	0	775
石川県	6	17	3,156	0	3,173
福井県	1	0	10	0	10
山梨県	3	0	0	52	52
長野県	12	3	271	2	276
岐阜県	1	0	28	0	28
静岡県	3	0	2	4	6
愛知県	2	8	0	1	9
三重県	0	0	0	0	0
滋賀県	3	4	620	0	624
京都府	1	0	3	0	3
大阪府	1	0	0	3	3
兵庫県	2	0	12	3	15
奈良県	0	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0	0
鳥取県	5	2	309	6	317
島根県	7	2	1,874	18	1,894
岡山県	0	0	0	0	0
広島県	0	0	0	0	0
山口県	0	0	0	0	0
徳島県	0	0	0	0	0
香川県	3	0	0	8	8
愛媛県	1	1	0	0	1
高知県	0	0	0	0	0
福岡県	2	0	0	6	6
佐賀県	0	0	0	0	0
長崎県	1	21	0	0	21
熊本県	0	0	0	0	0
大分県	0	0	0	0	0
宮崎県	1	0	0	1	1
鹿児島県	2	0	0	3	3
沖縄県	0	0	0	0	0
観察 都道府県数		22	24	24	34
合計	574	20,674	42,252	2,218	65,144

2.3 法指定区域別の観察状況

「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）」（以下「鳥獣保護管理法」）によって、鳥獣保護区や休猟区などに指定されている区域ごとの観察状況を、表2-2-2～表2-2-5及び図2-2-3に示した。

ハクチョウ類の観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の26.1%にあたる150地点であり、これらの地点では全観察個体数の51.7%にあたる33,666羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域（公道、墓地など）、特定猟具使用禁止区域及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点では、318地点（55.4%）で、46,600羽（71.5%）が観察された。狩猟または銃猟の制限されていない猟区とその他の区域では、ハクチョウ類の観察地点は256地点（44.6%）で、これらの地点では18,544羽（28.5%）が観察された。

表2-2-2 法指定区域別のハクチョウ類観察状況

項目	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域		特定猟具使用禁止区域		特定猟具使用制限区域		猟区		その他の区域		合計		
	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	
調査地点数(箇所)	1,737	19.2	84	0.9	160	1.8	2,839	31.4	58	0.6	214	2.4	3,948	43.7	9,040	100.0	
調査地点面積(ha)	182,945	48.0	1,335	0.4	3,147	0.8	74,679	19.6	1,949	0.5	7,475	2.0	109,473	28.7	381,004	100.0	
観察地点数(箇所)	オオハクチョウ	115	28.3	1	0.2	5	1.2	87	21.4	9	2.2	15	3.7	174	42.9	406	100.0
	コハクチョウ	54	24.1	0	—	12	5.4	61	27.2	3	1.3	6	2.7	88	39.3	224	100.0
	コブハクチョウ	23	45.1	0	—	2	3.9	13	25.5	0	—	0	—	13	25.5	51	100.0
	その他・種不明	2	18.2	0	—	0	—	3	27.3	3	27.3	0	—	3	27.3	11	100.0
	合計	150	26.1	1	0.2	15	2.6	140	24.4	12	2.1	17	3.0	239	41.6	574	100.0
観察個体数(羽)	オオハクチョウ	8,115	39.3	102	0.5	216	1.0	3,435	16.6	450	2.2	1,121	5.4	7,235	35.0	20,674	100.0
	コハクチョウ	24,125	57.1	0	—	920	2.2	7,372	17.4	120	0.3	536	1.3	9,179	21.7	42,252	100.0
	コブハクチョウ	216	70.4	0	—	2	0.7	38	12.4	0	—	0	—	51	16.6	307	100.0
	その他・種不明	1,210	63.3	0	—	0	—	25	1.3	254	13.3	0	—	422	22.1	1,911	100.0
	合計	33,666	51.7	102	0.2	1,138	1.7	10,870	16.7	824	1.3	1,657	2.5	16,887	25.9	65,144	100.0

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表2-2-3 法指定区域別のハクチョウ類観察状況（個体数の下限有）

項目	観察個体数下限値(羽)*注	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域		特定猟具使用禁止区域		特定猟具使用制限区域		猟区		その他の区域		合計		
		項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	項目内割合(%)	
調査地点数(箇所)		1,737	19.2	84	0.9	160	1.8	2,839	31.4	58	0.6	214	2.4	3,948	43.7	9,040	100.0	
調査地点面積(ha)		182,945	48.0	1,335	0.4	3,147	0.8	74,679	19.6	1,949	0.5	7,475	2.0	109,473	28.7	381,004	100.0	
観察地点数	オオハクチョウ	100	21	38.9	1	1.9	0	—	7	13.0	1	1.9	4	7.4	20	37.0	54	100.0
	コハクチョウ	100	23	34.8	0	—	4	6.1	15	22.7	0	—	3	4.5	21	31.8	66	100.0
	ハクチョウ類合計	100	44	35.8	1	0.8	5	4.1	21	17.1	1	0.8	8	6.5	43	35.0	123	100.0

*注：各項目別の観察個体数に下限を設定した観察地点数を表す。

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。

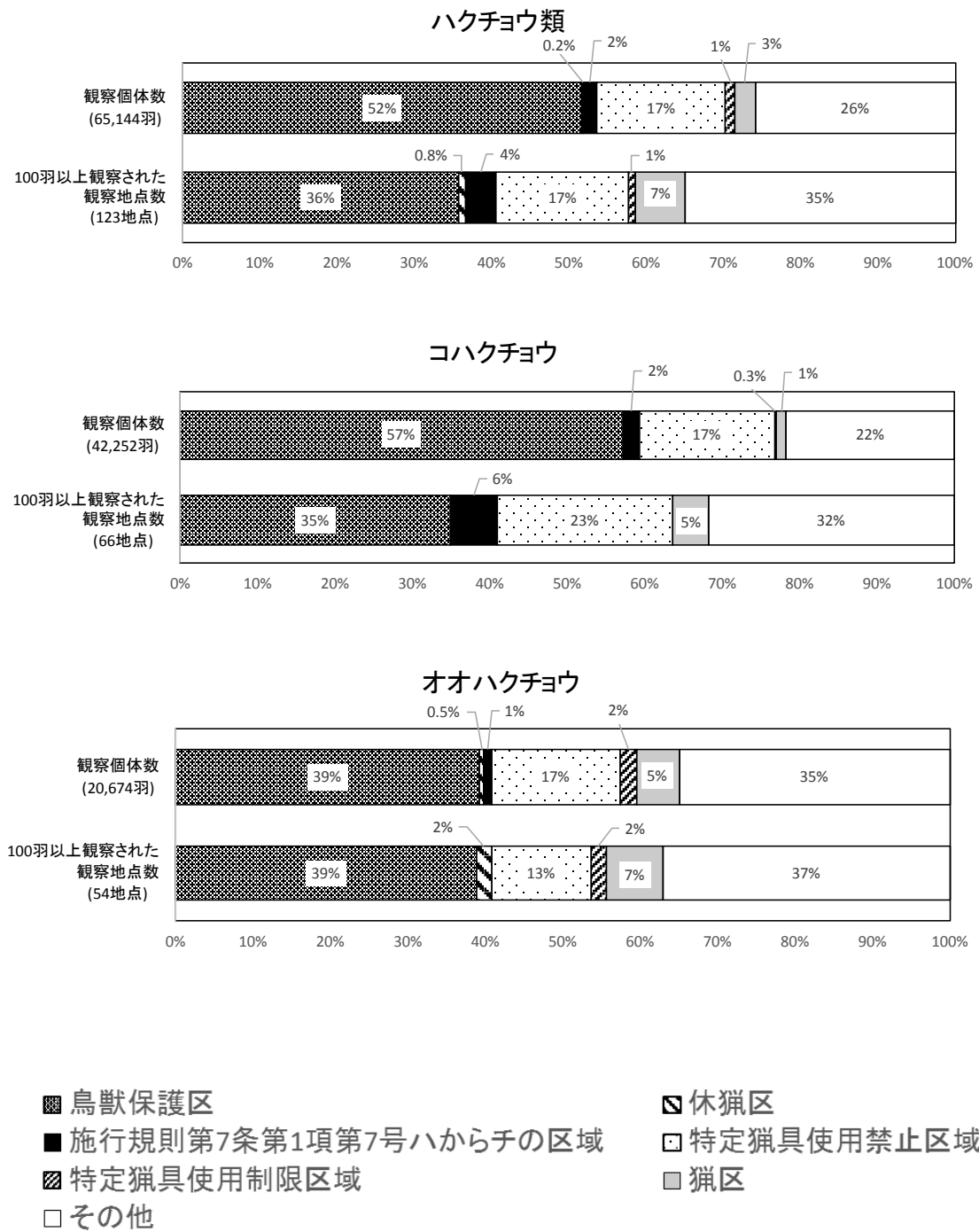


図 2-2-3 法指定区域別のハクチョウ類観察状況

表2-2-4 法指定区域別のハクチョウ類観察地点数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														合計
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ から子の区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		
	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	観察地点 数	都道府 県内割 合(%)	
北海道	14	37.8	0	—	1	2.7	8	21.6	0	—	0	—	14	37.8	37
青森県	11	22.9	0	—	1	2.1	5	10.4	0	—	1	2.1	30	62.5	48
岩手県	8	10.5	0	—	0	—	33	43.4	0	—	0	—	35	46.1	76
宮城県	26	21.8	1	0.8	0	—	15	12.6	9	7.6	8	6.7	60	50.4	119
秋田県	13	30.2	0	—	0	—	2	4.7	0	—	4	9.3	24	55.8	43
山形県	8	14.8	0	—	0	—	14	25.9	0	—	2	3.7	30	55.6	54
福島県	15	21.7	0	—	11	15.9	24	34.8	1	1.4	0	—	18	26.1	69
茨城県	15	78.9	0	—	0	—	4	21.1	0	—	0	—	0	—	19
栃木県	3	42.9	0	—	0	—	1	14.3	1	14.3	1	14.3	1	14.3	7
群馬県	1	25.0	0	—	0	—	2	50.0	0	—	0	—	1	25.0	4
埼玉県	1	20.0	0	—	0	—	3	60.0	1	20.0	0	—	0	—	5
千葉県	2	16.7	0	—	0	—	7	58.3	0	—	1	8.3	2	16.7	12
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
新潟県	10	58.8	0	—	0	—	2	11.8	0	—	0	—	5	29.4	17
富山県	2	33.3	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	4	66.7	6
石川県	4	66.7	0	—	0	—	2	33.3	0	—	0	—	0	—	6
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
山梨県	3	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3
長野県	1	8.3	0	—	2	16.7	3	25.0	0	—	0	—	6	50.0	12
岐阜県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
静岡県	0	—	0	—	0	—	1	33.3	0	—	0	—	2	66.7	3
愛知県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	2	66.7	0	—	0	—	1	33.3	0	—	0	—	0	—	3
京都府	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
大阪府	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
兵庫県	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	2	40.0	0	—	0	—	3	60.0	0	—	0	—	0	—	5
島根県	3	42.9	0	—	0	—	1	14.3	0	—	0	—	3	42.9	7
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
香川県	0	—	0	—	0	—	2	66.7	0	—	0	—	1	33.3	3
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
佐賀県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長崎県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
鹿児島県	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
合計	150	26.1	1	0.2	15	2.6	140	24.4	12	2.1	17	3.0	239	41.6	574

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-2-5 法指定区域別のハクチョウ類観察個体数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														合計
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		
	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	
北海道	2,486	73.2	0	—	2	0.1	325	9.6	0	—	0	—	585	17.2	3,398
青森県	142	15.7	0	—	21	2.3	175	19.4	0	—	6	0.7	559	61.9	903
岩手県	726	15.0	0	—	0	—	1,911	39.4	0	—	0	—	2,214	45.6	4,851
宮城県	1,959	20.4	102	1.1	0	—	1,182	12.3	751	7.8	1,135	11.8	4,456	46.5	9,585
秋田県	1,282	47.1	0	—	0	—	94	3.5	0	—	293	10.8	1,053	38.7	2,722
山形県	8,027	75.6	0	—	0	—	689	6.5	0	—	21	0.2	1,885	17.7	10,622
福島県	1,551	26.4	0	—	1,113	19.0	1,689	28.8	2	0.0	0	—	1,514	25.8	5,869
茨城県	816	83.9	0	—	0	—	157	16.1	0	—	0	—	0	—	973
栃木県	29	13.9	0	—	0	—	8	3.8	2	1.0	102	49.0	67	32.2	208
群馬県	166	70.6	0	—	0	—	67	28.5	0	—	0	—	2	0.9	235
埼玉県	7	4.8	0	—	0	—	69	47.6	69	47.6	0	—	0	—	145
千葉県	1,208	55.4	0	—	0	—	843	38.7	0	—	100	4.6	29	1.3	2,180
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	5	100.0	0	—	0	—	0	—	5
新潟県	11,529	71.1	0	—	0	—	1,164	7.2	0	—	0	—	3,530	21.8	16,223
富山県	79	10.2	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	696	89.8	775
石川県	2,239	70.6	0	—	0	—	934	29.4	0	—	0	—	0	—	3,173
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	10	100.0	10
山梨県	52	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	52
長野県	3	1.1	0	—	2	0.7	6	2.2	0	—	0	—	265	96.0	276
岐阜県	0	—	0	—	0	—	28	100.0	0	—	0	—	0	—	28
静岡県	0	—	0	—	0	—	2	33.3	0	—	0	—	4	66.7	6
愛知県	0	—	0	—	0	—	9	100.0	0	—	0	—	0	—	9
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	455	72.9	0	—	0	—	169	27.1	0	—	0	—	0	—	624
京都府	3	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3
大阪府	0	—	0	—	0	—	3	100.0	0	—	0	—	0	—	3
兵庫県	3	20.0	0	—	0	—	12	80.0	0	—	0	—	0	—	15
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	184	58.0	0	—	0	—	133	42.0	0	—	0	—	0	—	317
島根県	692	36.5	0	—	0	—	1,187	62.7	0	—	0	—	15	0.8	1,894
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
香川県	0	—	0	—	0	—	7	87.5	0	—	0	—	1	12.5	8
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	6	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	6
佐賀県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長崎県	21	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	21
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
鹿児島県	1	33.3	0	—	0	—	2	66.7	0	—	0	—	0	—	3
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
合計	33,666	51.7	102	0.2	1,138	1.7	10,870	16.7	824	1.3	1,657	2.5	16,887	25.9	65,144

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、法指定区域別の構成比を示す。

2.4 地況別の観察状況

河川や湖沼等の地況別の観察状況を表2-2-6～表2-2-8及び図2-2-4に示した。ハクチョウ類は海岸、河口やダム湖での観察個体数は少なく、河川、自然湖沼、その他の人造湖で多かった。また、オオハクチョウは河川で6,742羽と最も多く観察され、コハクチョウは自然湖沼で18,349羽と最も多く観察された。

表 2-2-6 地況別のハクチョウ類観察状況

項目	区域区分		海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		其他人造湖		その他		合計		
	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	
調査地点数(箇所)	838	9.3	380	4.2	3,135	34.7	523	5.8	700	7.7	3,204	35.4	260	2.9	9,040	100.0			
調査地点面積(ha)	118,765	31.2	22,046	5.8	70,782	18.6	105,344	27.6	32,675	8.6	16,870	4.4	14,522	3.8	381,004	100.0			
観察地点数(箇所)	オオハクチョウ	23	5.7	14	3.4	177	43.6	67	16.5	6	1.5	72	17.7	47	11.6	406	100.0		
	コハクチョウ	3	1.3	5	2.2	83	37.1	49	21.9	3	1.3	35	15.6	46	20.5	224	100.0		
	コブハクチョウ	3	5.9	3	5.9	8	15.7	21	41.2	2	3.9	14	27.5	0	—	51	100.0		
	その他・種不明	0	—	1	9.1	2	18.2	2	18.2	2	18.2	2	18.2	2	18.2	11	100.0		
	合計	27	4.7	21	3.7	235	40.9	102	17.8	12	2.1	105	18.3	72	12.5	574	100.0		
観察個体数(羽)	オオハクチョウ	241	1.2	777	3.8	6,742	32.6	5,925	28.7	134	0.6	3,810	18.4	3,045	14.7	20,674	100.0		
	コハクチョウ	235	0.6	3,123	7.4	8,620	20.4	18,349	43.4	20	0.0	5,805	13.7	6,100	14.4	42,252	100.0		
	コブハクチョウ	63	20.5	6	2.0	16	5.2	176	57.3	7	2.3	39	12.7	0	—	307	100.0		
	その他・種不明	0	—	510	26.7	650	34.0	20	1.0	23	1.2	705	36.9	3	0.2	1,911	100.0		
	合計	539	0.8	4,416	6.8	16,028	24.6	24,470	37.6	184	0.3	10,359	15.9	9,148	14.0	65,144	100.0		

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

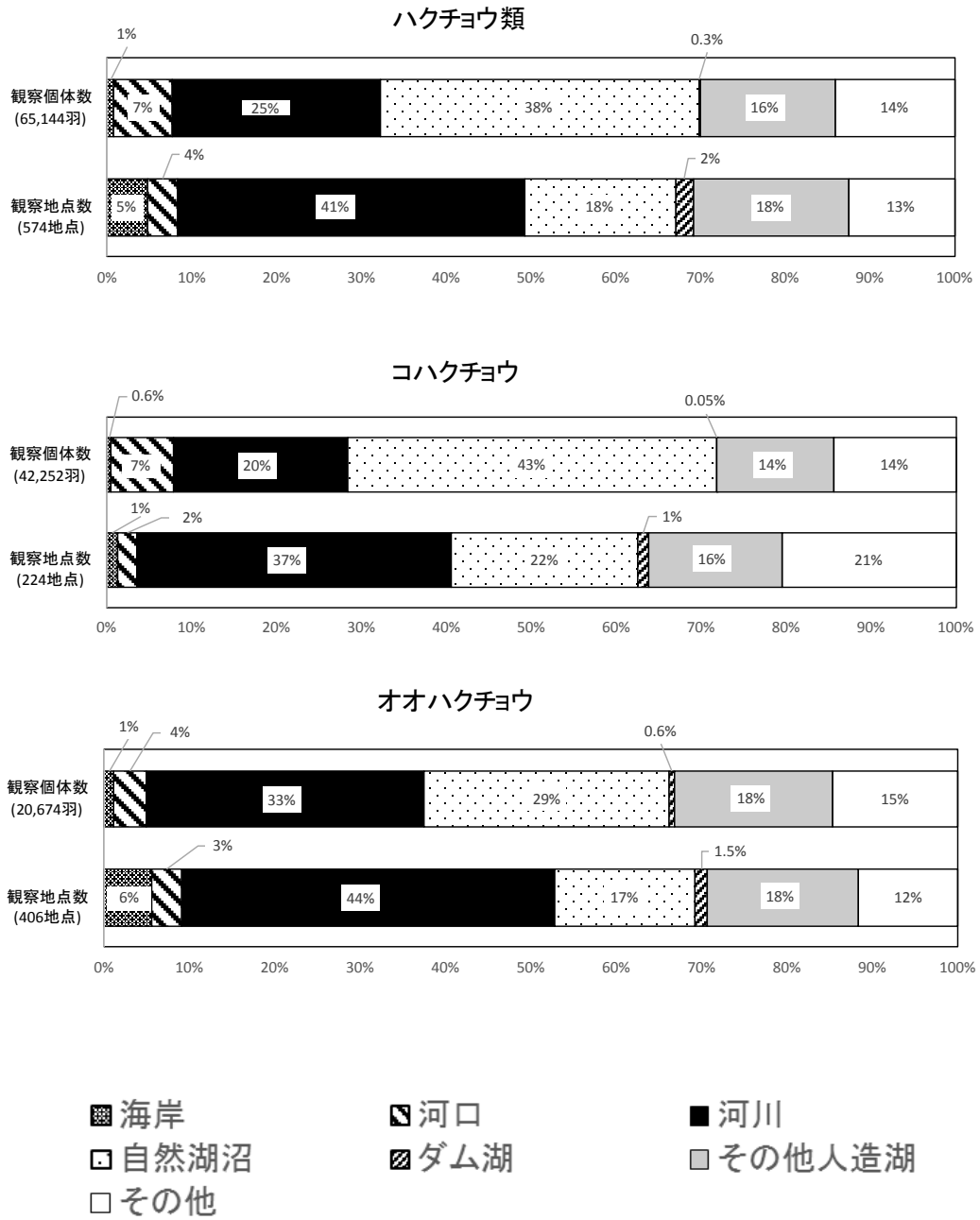


図 2-2-4 地況別のハクチョウ類観察状況

表 2-2-7 地況別のハクチョウ類観察地点数（都道府県別）

都道府県	地況														
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計
	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	
北海道	6	16.2	4	10.8	11	29.7	15	40.5	0	—	0	—	1	2.7	37
青森県	14	29.2	3	6.3	17	35.4	11	22.9	0	—	3	6.3	0	—	48
岩手県	1	1.3	4	5.3	48	63.2	2	2.6	2	2.6	11	14.5	8	10.5	76
宮城県	0	—	0	—	46	38.7	14	11.8	2	1.7	20	16.8	37	31.1	119
秋田県	1	2.3	2	4.7	23	53.5	8	18.6	2	4.7	5	11.6	2	4.7	43
山形県	0	—	1	1.9	40	74.1	3	5.6	1	1.9	5	9.3	4	7.4	54
福島県	1	1.4	3	4.3	19	27.5	13	18.8	2	2.9	19	27.5	12	17.4	69
茨城県	0	—	0	—	1	5.3	8	42.1	0	—	10	52.6	0	—	19
栃木県	0	—	0	—	1	14.3	0	—	0	—	5	71.4	1	14.3	7
群馬県	0	—	0	—	1	25.0	1	25.0	1	25.0	1	25.0	0	—	4
埼玉県	0	—	0	—	4	80.0	0	—	0	—	1	20.0	0	—	5
千葉県	0	—	0	—	4	33.3	2	16.7	0	—	4	33.3	2	16.7	12
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
新潟県	0	—	0	—	6	35.3	6	35.3	0	—	4	23.5	1	5.9	17
富山県	0	—	0	—	1	16.7	1	16.7	0	—	2	33.3	2	33.3	6
石川県	1	16.7	0	—	0	—	5	83.3	0	—	0	—	0	—	6
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
山梨県	0	—	0	—	0	—	2	66.7	0	—	1	33.3	0	—	3
長野県	0	—	0	—	7	58.3	2	16.7	0	—	3	25.0	0	—	12
岐阜県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	1	33.3	2	66.7	0	—	3
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	2
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	0	—	0	—	0	—	3	100.0	0	—	0	—	0	—	3
京都府	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
兵庫県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	2
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	1	20.0	0	—	2	40.0	2	40.0	0	—	0	—	0	—	5
島根県	0	—	1	14.3	2	28.6	3	42.9	0	—	0	—	1	14.3	7
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
香川県	0	—	1	33.3	0	—	0	—	0	—	2	66.7	0	—	3
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	0	—	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	2
佐賀県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長崎県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
宮崎県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
鹿児島県	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
合計	27	4.7	21	3.7	235	40.9	102	17.8	12	2.1	105	18.3	72	12.5	574

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-2-8 地況別のハクチョウ類観察個体数（都道府県別）

都道府県	地況														合計 観察個体数 (羽)
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		
	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	観察 個体数 (羽)	都道府 県内割 合(%)	
北海道	40	1.2	315	9.3	393	11.6	2,627	77.3	0	—	0	—	23	0.7	3,398
青森県	169	18.7	34	3.8	193	21.4	463	51.3	0	—	44	4.9	0	—	903
岩手県	9	0.2	31	0.6	2,144	44.2	487	10.0	40	0.8	1,265	26.1	875	18.0	4,851
宮城県	0	—	0	—	2,687	28.0	1,629	17.0	66	0.7	1,163	12.1	4,040	42.1	9,585
秋田県	32	1.2	317	11.6	842	30.9	657	24.1	13	0.5	786	28.9	75	2.8	2,722
山形県	0	—	3,667	34.5	2,426	22.8	4,037	38.0	14	0.1	305	2.9	173	1.6	10,622
福島県	58	1.0	41	0.7	1,973	33.6	1,593	27.1	42	0.7	1,057	18.0	1,105	18.8	5,869
茨城県	0	—	0	—	2	0.2	582	59.8	0	—	389	40.0	0	—	973
栃木県	0	—	0	—	67	32.2	0	—	0	—	39	18.8	102	49.0	208
群馬県	0	—	0	—	50	21.3	166	70.6	2	0.9	17	7.2	0	—	235
埼玉県	0	—	0	—	143	98.6	0	—	0	—	2	1.4	0	—	145
千葉県	0	—	0	—	13	0.6	36	1.7	0	—	1,249	57.3	882	40.5	2,180
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	5	100.0	0	—	5
新潟県	0	—	0	—	4,668	28.8	7,602	46.9	0	—	3,927	24.2	26	0.2	16,223
富山県	0	—	0	—	30	3.9	28	3.6	0	—	67	8.6	650	83.9	775
石川県	47	1.5	0	—	0	—	3,126	98.5	0	—	0	—	0	—	3,173
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	10	100.0	10
山梨県	0	—	0	—	0	—	51	98.1	0	—	1	1.9	0	—	52
長野県	0	—	0	—	267	96.7	5	1.8	0	—	4	1.4	0	—	276
岐阜県	0	—	0	—	28	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	28
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	2	33.3	4	66.7	0	—	6
愛知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	9	100.0	0	—	9
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
滋賀県	0	—	0	—	0	—	624	100.0	0	—	0	—	0	—	624
京都府	0	—	3	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	100.0	0	—	3
兵庫県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	15	100.0	0	—	15
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	162	51.1	0	—	92	29.0	63	19.9	0	—	0	—	0	—	317
島根県	0	—	6	0.3	9	0.5	692	36.5	0	—	0	—	1,187	62.7	1,894
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
香川県	0	—	1	12.5	0	—	0	—	0	—	7	87.5	0	—	8
愛媛県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	0	—	1	16.7	0	—	0	—	5	83.3	0	—	0	—	6
佐賀県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長崎県	21	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	21
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
宮崎県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
鹿児島県	1	33.3	0	—	0	—	2	66.7	0	—	0	—	0	—	3
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
合計	539	0.8	4,416	6.8	16,028	24.6	24,470	37.6	184	0.3	10,359	15.9	9,148	14.0	65,144

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。

3. ガン類

3.1 観察個体数

ガン類の令和元年度の観察個体数の種別割合を図2-3-1に示した。

令和元年度の調査では、28道府県の148地点において302,503羽のガン類が観察された。主な種を見ると、マガンが280,316羽、ヒシクイが17,692羽、コクガンが1,562羽、その他・種不明が2,933羽観察された。その他・種不明の内訳は、シジュウカラガン1,945羽、ハクガン937羽、カリガネ1羽、種不明50羽である。令和元年度のガン類の観察個体数の種別割合は、平成30年度と比較してマガンは16.1%増加、コクガンは54.8%増加、ヒシクイは102.1%増加した。

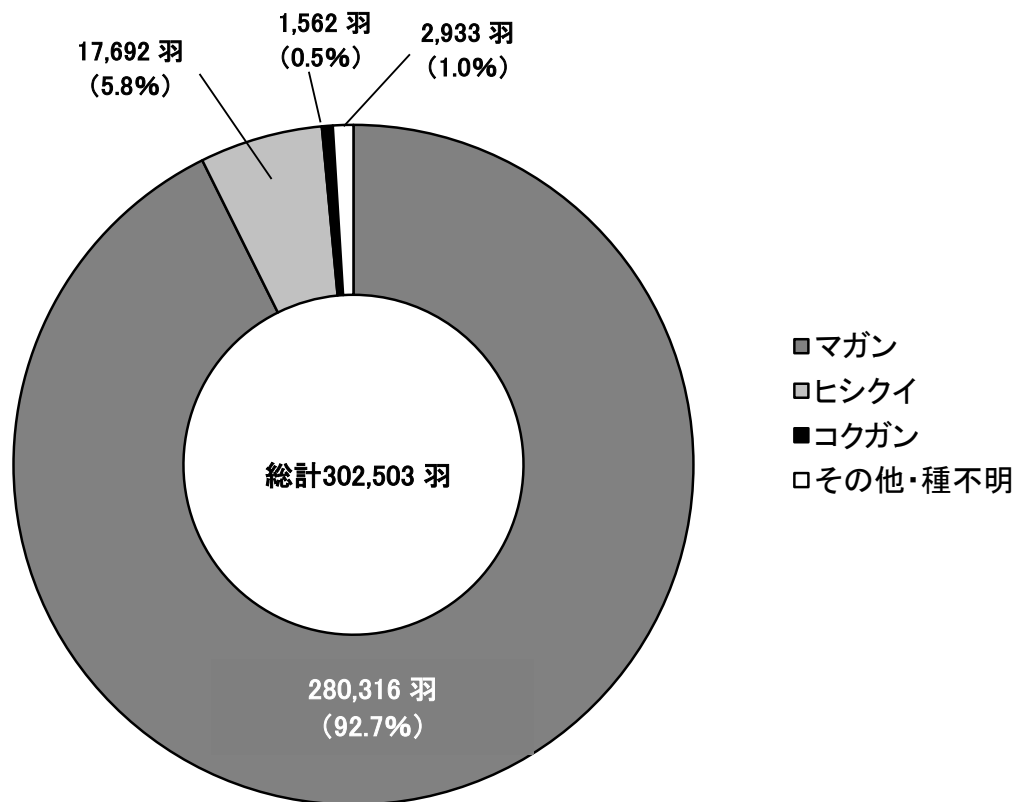


図 2-3-1 ガン類観察個体数の内訳

(1) コクガン

観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については増減しつつも平成25年度まで増加傾向を示し、その後平成29年度を除き40地点以上で推移している。

観察個体数については、平成24年度まで増加傾向が見られ、平成25年度以降は増減が大きかったものの、令和元年度は過去最大の1,562羽となった（図2-3-2（1））。

(2) マガン

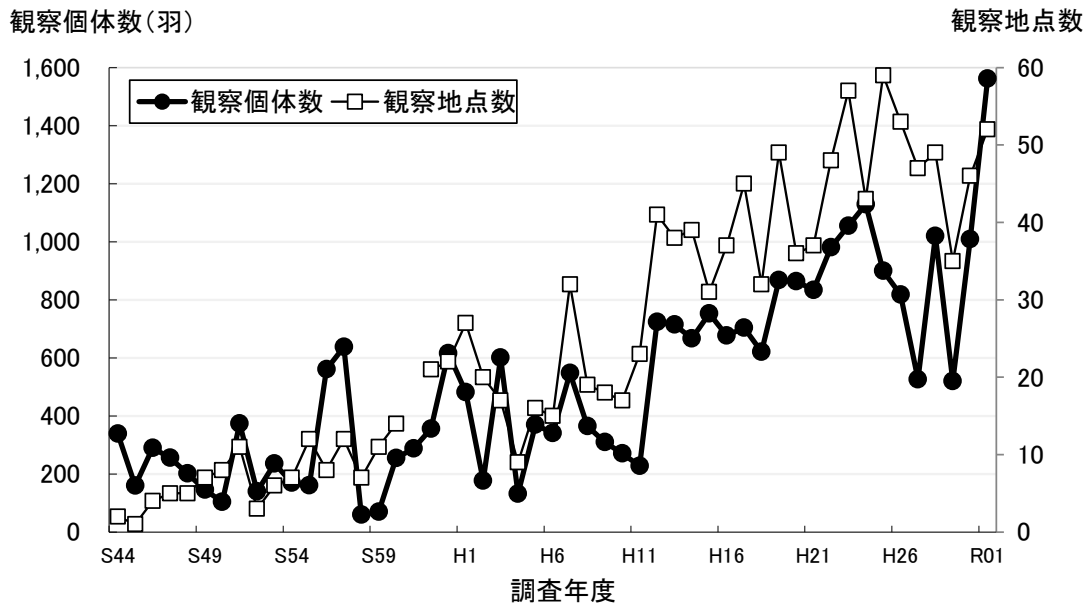
観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、概ね30～70地点で推移している。

観察個体数については増加傾向が見られ、平成29年度以降は200,000羽を超えており、令和元年度は過去最大の280,316羽となった（図2-3-2（2））。

(3) ヒシクイ

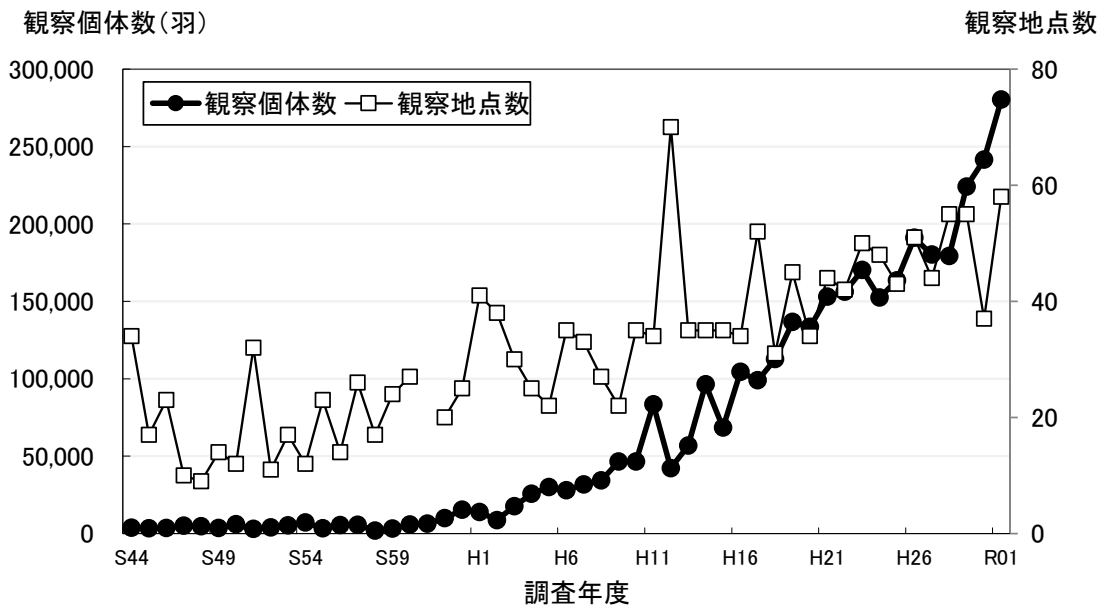
観察状況の最近20年間における経年的な変化を見ると、観察地点数については、概ね20～40地点で推移していたが、令和元年度は東北地方における調査地点増加に伴い観察地点数も増加し、56地点で観察された。

観察個体数については、平成21年度、平成25年度、平成26年度及び令和元年度は、17,000羽以上見られるものの、その他の年度は、15,000羽以下で推移している（図2-3-2（3））。



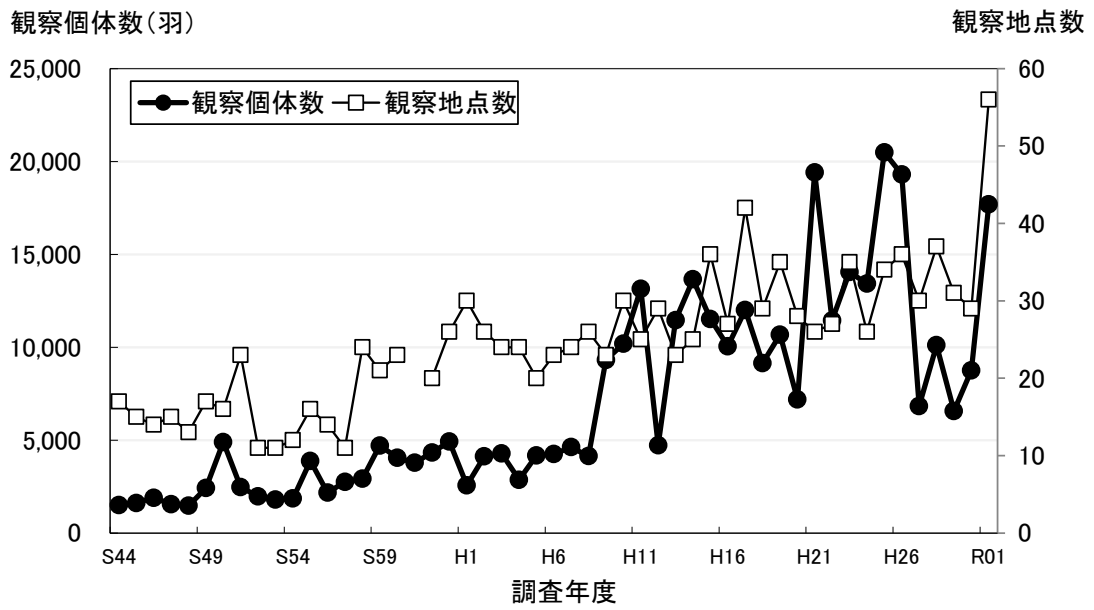
*昭和 61 年度は観察地点数を集計していない。

図 2-3-2(1) コクガンの観察状況の推移



*昭和 61 年度は観察地点数を集計していない。

図 2-3-2(2) マガン観察状況の推移



*昭和 61 年度は観察地点数を集計していない。

図 2-3-2(3) ヒシクイ観察状況の推移

3.2 分布状況

令和元年度の都道府県別調査結果を表2-3-1に示した。

ガン類は分布が限定的であり、主に観察されたのは北海道及び東北地方(292,079羽)、北陸(7,089羽)、島根県(2,793羽)であった。

(1) コクガン

北海道及び東北地方での観察数が多い。都道府県別に見ると、北海道、青森県、宮城県、岩手県で全体の99.0%にあたる1,546羽が観察された。

(2) マガン

宮城県で全国の93.9%にあたる263,262羽が観察された。それ以外の地域では秋田県で8,194羽、新潟県で3,851羽、日本海側でも福井県で938羽、島根県で2,543羽が観察された。

(3) ヒシクイ

宮城県、秋田県及び新潟県で全体の93.8%にあたる16,589羽が観察された。その他、茨城県、石川県、滋賀県、島根県では180～270羽程度が観察された。

(4) その他・種不明

宮城県の1,741羽はシジュウカラガン1,702羽、ハクガン34羽と種不明5羽の記録である。また、秋田県の1,120羽はシジュウカラガン219羽とハクガン901羽の記録である。

表 2-3-1 都道府県別のガン類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察 地点数	観察個体数(羽)				合計
		コクガン	マガン	ヒシクイ	その他・種不明	
北海道	16	661	6	0	1	668
青森県	20	421	6	0	0	427
岩手県	15	49	1,332	1	22	1,404
宮城県	25	415	263,262	2,771	1,741	268,189
秋田県	27	7	8,194	11,946	1,120	21,267
山形県	3	0	43	81	0	124
福島県	0	0	0	0	0	0
茨城県	1	0	1	189	0	190
栃木県	0	0	0	0	0	0
群馬県	0	0	0	0	0	0
埼玉県	0	0	0	0	0	0
千葉県	2	0	4	0	0	4
東京都	0	0	0	0	0	0
神奈川県	0	0	0	0	0	0
新潟県	9	1	3,851	1,872	2	5,726
富山県	1	0	3	0	0	3
石川県	4	0	114	265	0	379
福井県	1	0	938	43	0	981
山梨県	0	0	0	0	0	0
長野県	0	0	0	0	0	0
岐阜県	0	0	0	0	0	0
静岡県	0	0	0	0	0	0
愛知県	1	0	0	0	1	1
三重県	1	5	0	0	0	5
滋賀県	2	0	2	229	0	231
京都府	1	0	0	1	0	1
大阪府	0	0	0	0	0	0
兵庫県	2	0	2	15	0	17
奈良県	0	0	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0	0	0
鳥取県	3	0	9	11	1	21
島根県	1	0	2,543	250	0	2,793
岡山県	1	0	3	7	0	10
広島県	1	0	0	1	0	1
山口県	0	0	0	0	0	0
徳島県	1	1	0	0	0	1
香川県	1	0	0	3	0	3
愛媛県	1	0	0	0	1	1
高知県	0	0	0	0	0	0
福岡県	0	0	0	0	0	0
佐賀県	4	2	3	0	35	40
長崎県	1	0	0	1	0	1
熊本県	0	0	0	0	0	0
大分県	1	0	0	0	2	2
宮崎県	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	0	0	0	0	0	0
沖縄県	2	0	0	6	7	13
観察 都道府県数		9	18	18	11	28
合計	148	1,562	280,316	17,692	2,933	302,503

3.3 法指定区域別の観察状況

鳥獣保護管理法によって、鳥獣保護区や休猟区などに指定されている区域ごとの観察状況を、表2-3-2～表2-3-5及び図2-3-3に示した。

(1) コクガン

観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の19.2%にあたる10地点であり、これらの地点ではコクガンの全観察個体数の25.9%にあたる405羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域、及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、17地点（32.7%）で608羽（38.9%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区とその他の区域では35地点（67.3%）で954羽（61.1%）が観察された。

(2) マガン

観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の32.8%にあたる19地点であり、これらの地点ではマガンの全観察個体数の94.1%にあたる263,858羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域、及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、30地点（51.7%）で264,493羽（94.4%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区とその他の区域では、28地点（48.3%）で15,823羽（5.6%）が観察された。

(3) ヒシクイ

観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は全体の42.9%にあたる24地点であり、これらの地点ではヒシクイの全観察個体数の31.0%にあたる5,478羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域、及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点については、28地点（50.0%）で5,497羽（31.1%）が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区とその他の区域では、28地点（50.0%）で12,195羽（68.9%）が観察された。

表2-3-2 法指定区域別のガン類観察状況

項目	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号 ハからチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計		
	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	
調査地点数(箇所)	1,737	19.2	84	0.9	160	1.8	2,839	31.4	58	0.6	214	2.4	3,948	43.7	9,040	100.0	
調査地点面積(ha)	182,945	48.0	1,335	0.4	3,147	0.8	74,679	19.6	1,949	0.5	7,475	2.0	109,473	28.7	381,004	100.0	
観察地点数 (箇所)	コクガン	10	19.2	1	1.9	1	1.9	5	9.6	0	-	0	-	35	67.3	52	100.0
	マガン	19	32.8	0	-	0	-	11	19.0	0	-	0	-	28	48.3	58	100.0
	ヒシクイ	24	42.9	0	-	0	-	4	7.1	0	-	0	-	28	50.0	56	100.0
	その他・種不明	7	30.4	0	-	0	-	5	21.7	0	-	0	-	11	47.8	23	100.0
	合計	41	27.7	1	0.7	1	0.7	21	14.2	0	-	0	-	84	56.8	148	100.0
観察個体数 (羽)	コクガン	405	25.9	49	3.1	69	4.4	85	5.4	0	-	0	-	954	61.1	1,562	100.0
	マガン	263,858	94.1	0	-	0	-	635	0.2	0	-	0	-	15,823	5.6	280,316	100.0
	ヒシクイ	5,478	31.0	0	-	0	-	19	0.1	0	-	0	-	12,195	68.9	17,692	100.0
	その他・種不明	1,742	59.4	0	-	0	-	34	1.2	0	-	0	-	1,157	39.4	2,933	100.0
	合計	271,483	89.7	49	0.0	69	0.0	773	0.3	0	-	0	-	30,129	10.0	302,503	100.0

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-3-3 法指定区域別のガン類観察状況(個体数の下限有)

項目	観察 個体数 下限値 (羽) *注	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計		
		項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)		
調査地点数(箇所)		1,737	19.2	84	0.9	160	1.8	2,839	31.4	58	0.6	214	2.4	3,948	43.7	9,040	100.0	
調査地点面積(ha)		182,945	48.0	1,335	0.4	3,147	0.8	74,679	19.6	1,949	0.5	7,475	2.0	109,473	28.7	381,004	100.0	
観察地点数 (箇所)	コクガン	10	5	16.1	1	3.2	1	3.2	3	9.7	0	-	0	-	21	67.7	31	100.0
	マガン	100	10	33.3	0	-	0	-	2	6.7	0	-	0	-	18	60.0	30	100.0
	ヒシクイ	100	9	36.0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	16	64.0	25	100.0
	ガン類合計	100	17	36.2	0	-	0	-	2	4.3	0	-	0	-	28	59.6	47	100.0

*注：各項目別の観察個体数に下限を設定した観察地点数を表す。
【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。

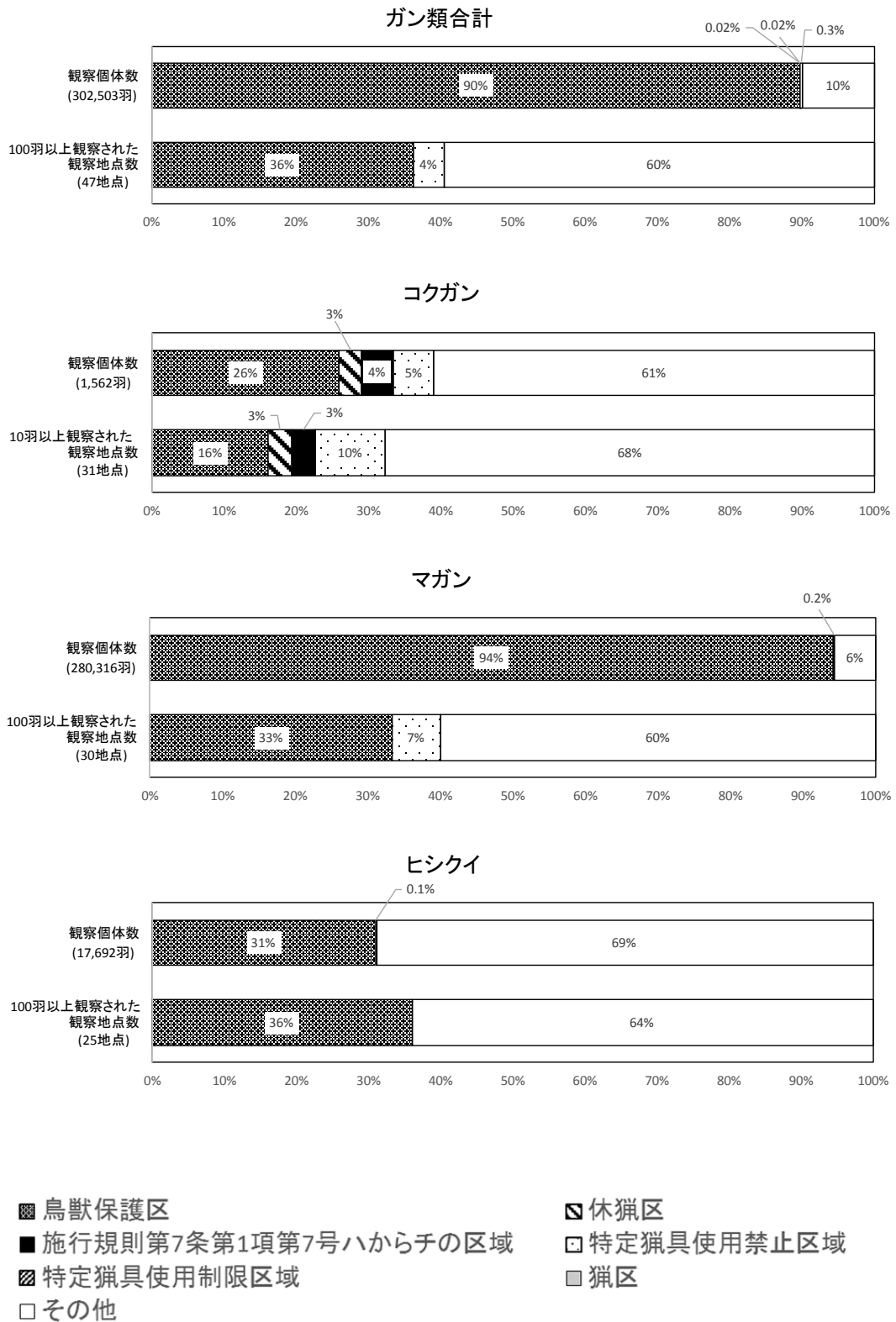


図 2-3-3 法指定区域別のガン類観察状況

表 2-3-4 法指定区域別のガン類観察地点数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														観察地点数
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ から子の区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区	その他の区域		合計	
	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数	都道府 県内割 合(%)	観察 地点数		
北海道	2	12.5	0	—	1	6.3	2	12.5	0	—	0	—	11	68.8	16
青森県	4	20.0	0	—	0	—	2	10.0	0	—	0	—	14	70.0	20
岩手県	1	6.7	0	—	0	—	4	26.7	0	—	0	—	10	66.7	15
宮城県	10	40.0	1	4.0	0	—	1	4.0	0	—	0	—	13	52.0	25
秋田県	2	7.4	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	25	92.6	27
山形県	3	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3
福島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
茨城県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
群馬県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	5	55.6	0	—	0	—	1	11.1	0	—	0	—	3	33.3	9
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
石川県	3	75.0	0	—	0	—	1	25.0	0	—	0	—	0	—	4
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛知県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
滋賀県	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2
京都府	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	1	50.0	0	—	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	1	33.3	0	—	0	—	2	66.7	0	—	0	—	0	—	3
島根県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
岡山県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
広島県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
愛媛県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
佐賀県	2	50.0	0	—	0	—	1	25.0	0	—	0	—	1	25.0	4
長崎県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	2
合計	41	27.7	1	0.7	1	0.7	21	14.2	0	—	0	—	84	56.8	148

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-3-5 法指定区域別のガン類観察個体数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等														合計
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		
	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	
北海道	9	1.3	0	—	69	10.3	19	2.8	0	—	0	—	571	85.5	668
青森県	238	55.7	0	—	0	—	42	9.8	0	—	0	—	147	34.4	427
岩手県	2	0.1	0	—	0	—	281	20.0	0	—	0	—	1,121	79.8	1,404
宮城県	262,122	97.7	49	0.0	0	—	3	0.0	0	—	0	—	6,015	2.2	268,189
秋田県	52	0.2	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	21,215	99.8	21,267
山形県	124	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	124
福島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
茨城県	190	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	190
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
群馬県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	0	—	4	100.0	0	—	0	—	0	—	4
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	5,310	92.7	0	—	0	—	368	6.4	0	—	0	—	48	0.84	5,726
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	100.0	3
石川県	377	99.5	0	—	0	—	2	0.5	0	—	0	—	0	—	379
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	981	100.0	981
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛知県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
三重県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	5	100.0	5
滋賀県	231	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	231
京都府	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	15	88.2	0	—	0	—	2	11.8	0	—	0	—	0	—	17
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	1	4.8	0	—	0	—	20	95.2	0	—	0	—	0	—	21
島根県	2,793	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2,793
岡山県	10	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	10
広島県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	100.0	3
愛媛県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
佐賀県	7	17.5	0	—	0	—	28	70.0	0	—	0	—	5	12.5	40
長崎県	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	2
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
沖縄県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	13	100.0	13
合計	271,483	89.7	49	0.0	69	0.023	773	0.3	0	—	0	—	30,129	10.0	302,503

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、法指定区域別の構成比を示す。

3.4 地況別の観察状況

河川や湖沼等の地況別の観察状況を表2-3-4～表2-3-8及び図2-3-4に示した。

(1) コクガン

主に海岸及び河口で観察され、観察地点数は計50地点であった。また、観察個体数は、それぞれ1,473羽（94.3%）及び86羽（5.5%）であった。

(2) マガン

自然湖沼で最も多く観察され、観察地点数は15地点（25.9%）、観察個体数は234,612羽（83.7%）であった。

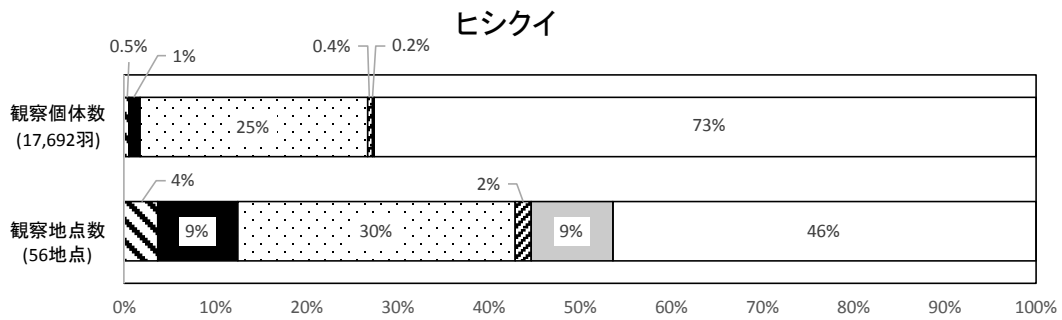
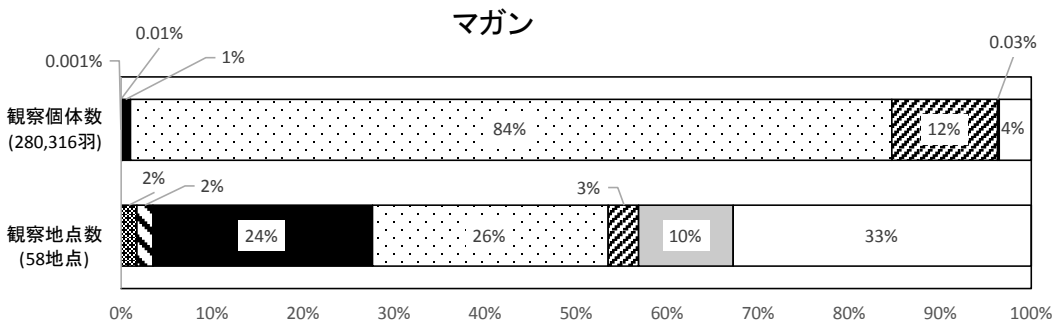
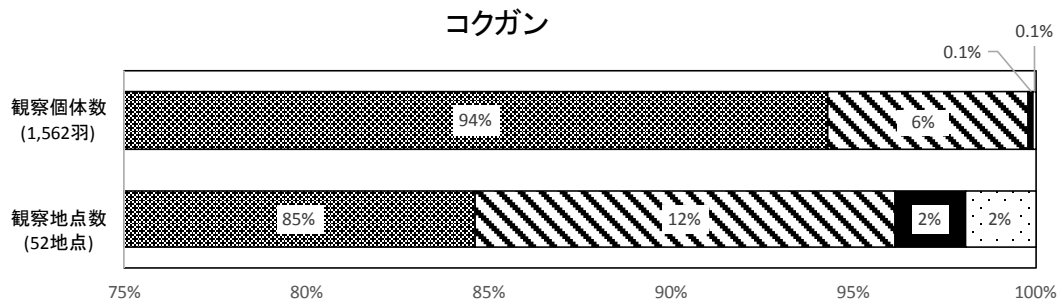
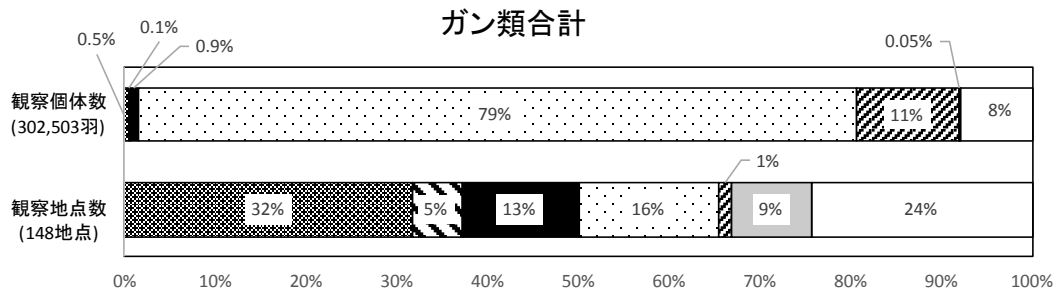
(3) ヒシクイ

主にその他（貯木場、運河、水田、湿原、塩田跡等）と自然湖沼で観察され、観察地点数は計43地点（76.8%）であった。また、観察個体数は、それぞれ、12,859羽（72.7%）及び4,435羽（25.1%）であった。

表 2-3-6 地況別のガン類観察状況

項目	区域		海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		合計		
	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	調査地点数(箇所)	項目内割合(%)	
調査地点数(箇所)	838	9.3	380	4.2	3,135	34.7	523	5.8	700	7.7	3,204	35.4	260	2.9	9,040	100.0			
調査地点面積(ha)	118,765	31.2	22,046	5.8	70,782	18.6	105,344	27.6	32,675	8.6	16,870	4.4	14,522	3.8	381,004	100.0			
観察地点数 (箇所)	コクガン	44	84.6	6	11.5	1	1.9	1	1.9	0	—	0	—	0	—	52	100.0		
	マガン	1	1.7	1	1.7	14	24.1	15	25.9	2	3.4	6	10.3	19	32.8	58	100.0		
	ヒシクイ	0	—	2	3.6	5	8.9	17	30.4	1	1.8	5	8.9	26	46.4	56	100.0		
	その他・種不明	3	13.0	0	—	3	13.0	5	21.7	1	4.3	4	17.4	7	30.4	23	100.0		
	合計	47	31.8	8	5.4	19	12.8	23	15.5	2	1.4	13	8.8	36	24.3	148	100.0		
観察個体数 (羽)	コクガン	1,473	94.3	86	5.5	2	0.1	1	0.1	0	—	0	—	0	—	1,562	100.0		
	マガン	2	0.0	27	0.0	2,637	0.9	234,612	83.7	32,817	11.7	95	0.0	10,126	3.6	280,316	100.0		
	ヒシクイ	0	—	85	0.5	204	1.2	4,435	25.1	78	0.4	31	0.2	12,859	72.7	17,692	100.0		
	その他・種不明	28	1.0	0	—	30	1.0	117	4.0	1,625	55.4	12	0.4	1,121	38.2	2,933	100.0		
	合計	1,503	0.5	198	0.1	2,873	0.9	239,165	79.1	34,520	11.4	138	0.0	24,106	8.0	302,503	100.0		

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する地況別の構成比を示す。



- 海岸
- 河口
- 河川
- 自然湖沼
- ダム湖
- その他人造湖
- その他

図 2-3-4 地況別のガン類観測状況

表 2-3-7 地況別のガン類観察地点数（都道府県別）

都道府県	地況														合計
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		
	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	
北海道	14	87.5	1	6.3	0	—	0	—	0	—	0	—	1	6.3	16
青森県	19	95.0	0	—	1	5.0	0	—	0	—	0	—	0	—	20
岩手県	3	20.0	2	13.3	5	33.3	0	—	1	6.7	1	6.7	3	20.0	15
宮城県	8	32.0	1	4.0	4	16.0	8	32.0	1	4.0	1	4.0	2	8.0	25
秋田県	1	3.7	0	—	0	—	0	—	0	—	1	3.7	25	92.6	27
山形県	0	—	1	33.3	0	—	2	66.7	0	—	0	—	0	—	3
福島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
茨城県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
群馬県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	50.0	1	50.0	2
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	0	—	0	—	3	33.3	4	44.4	0	—	1	11.1	1	11.1	9
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
石川県	1	25.0	0	—	0	—	3	75.0	0	—	0	—	0	—	4
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛知県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
三重県	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
滋賀県	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	0	—	0	—	2
京都府	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	2
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	1	33.3	0	—	1	33.3	1	33.3	0	—	0	—	0	—	3
島根県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
愛媛県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
佐賀県	0	—	0	—	2	50.0	0	—	0	—	2	50.0	0	—	4
長崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
沖縄県	0	—	1	50.0	0	—	1	50.0	0	—	0	—	0	—	2
合計	47	31.8	8	5.4	19	12.8	23	15.5	2	1.4	13	8.8	36	24.3	148

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-3-8 地況別のガン類観察個体数（都道府県別）

都道府県	地況														合計
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		
	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	
北海道	647	96.9	14	2.1	0	—	0	—	0	—	0	—	7	1.0	668
青森県	421	98.6	0	—	6	1.4	0	—	0	—	0	—	0	—	427
岩手県	54	3.8	17	1.2	269	19.2	0	—	11	0.8	46	3.3	1,007	71.7	1,404
宮城県	371	0.1	49	0.0	1,961	0.7	230,422	85.9	34,509	12.9	3	0.0	874	0.3	268,189
秋田県	7	0.0	0	—	0	—	0	—	0	—	45	0.2	21,215	99.8	21,267
山形県	0	—	106	85.5	0	—	18	14.5	0	—	0	—	0	—	124
福島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
茨城県	0	—	0	—	190	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	190
栃木県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
群馬県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
埼玉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
千葉県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	75.0	1	25.0	4
東京都	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
神奈川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
新潟県	0	—	0	—	399	7.0	5,309	92.7	0	—	1	0.0	17	0.3	5,726
富山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	100.0	3
石川県	2	0.5	0	—	0	—	377	99.5	0	—	0	—	0	—	379
福井県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	981	100.0	981
山梨県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
長野県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
岐阜県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
静岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
愛知県	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
三重県	0	—	5	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	5
滋賀県	0	—	0	—	0	—	231	100.0	0	—	0	—	0	—	231
京都府	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	1
大阪府	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
兵庫県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	17	100.0	0	—	17
奈良県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
和歌山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鳥取県	1	4.8	0	—	13	61.9	7	33.3	0	—	0	—	0	—	21
島根県	0	—	0	—	0	—	2,793	100.0	0	—	0	—	0	—	2,793
岡山県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	10	100.0	0	—	10
広島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	1
山口県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
徳島県	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1
香川県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	3	100.0	0	—	3
愛媛県	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	0	—	0	—	1
高知県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
福岡県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
佐賀県	0	—	0	—	33	82.5	0	—	0	—	7	17.5	0	—	40
長崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	1	100.0	0	—	1
熊本県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
大分県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	2	100.0	0	—	2
宮崎県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
鹿児島県	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
沖縄県	0	—	6	46.2	0	—	7	53.8	0	—	0	—	0	—	13
合計	1,503	0.5	198	0.1	2,873	0.9	239,165	79.1	34,520	11.4	138	0.0	24,106	8.0	302,503

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、地況別の構成比を示す。

4. カモ類

4.1 観察個体数

カモ類の令和元年度の観察個体数の種別割合を図2-4-1に示した。

令和元年度は、全都道府県において、6,522地点で1,640,962羽のカモ類が観察された。令和元年度は前年度から19,754羽の減少であった。一方、観察地点数はここ数年6,000地点前後で推移している。種類別の観察個体数の内訳で見ると最も多いのはマガモ403,544羽（24.6%）であり、次いでカルガモ216,081羽(13.2%)、コガモ204,986羽(12.5%)、オナガガモ184,938羽(11.3%)、ヒドリガモ160,289羽(9.8%)、スズガモ136,981羽(8.3%)であった。

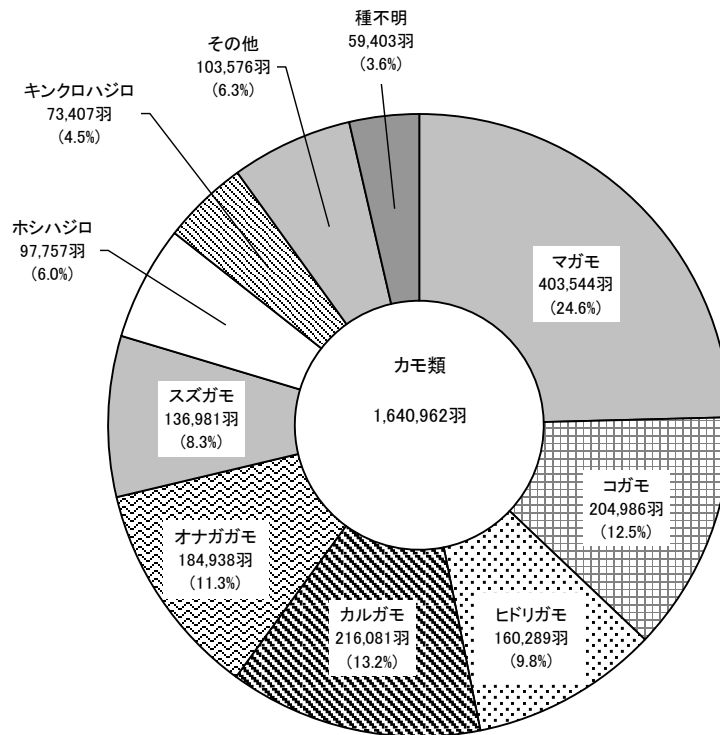


図 2-4-1 カモ類観察個体数の内訳

注) 淡水ガモ：本調査対象種では、オシドリ、マガモ、カルガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、アメリカヒドリ、シマアジである。

海ガモ：本調査対象種では、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、クロガモ、ビロードキンクロ、シノリガモ、コオリガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、ウミアイサ、カワアイサ、アカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロ、コウライアイサである。

ツクシガモ等：本調査対象種では、ツクシガモ、アカツクシガモ、リュウキュウガモである。

4.2 分布状況

令和元年度の都道府県別調査結果を表2-4-1(1)～(3)に示した。

表2-4-1(1) 都道府県別のカモ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察地点数	観察個体数(羽)								
		淡水ガモ類								
		オンドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	トモエガモ	ヨシガモ	オカヨシガモ	ヒドリガモ	オナガガモ
北海道	131	0	1,990	395	129	0	356	0	286	491
青森県	144	32	1,146	2,422	229	0	0	27	168	1,292
岩手県	232	99	8,298	7,383	2,207	0	45	226	842	3,219
宮城県	323	5	19,420	8,921	6,331	11	113	0	2,498	14,345
秋田県	162	375	12,169	6,684	1,501	3	16	1,000	195	1,583
山形県	203	48	39,055	9,785	14,015	89	73	33	726	21,512
福島県	236	33	14,357	7,576	4,831	0	46	275	1,435	11,721
茨城県	42	196	42,330	11,902	7,337	165	1,639	3,125	12,105	41,345
栃木県	34	357	7,616	3,370	2,194	3	113	108	2,157	3,472
群馬県	74	42	2,546	2,395	3,110	0	61	147	1,424	2,728
埼玉県	146	95	5,007	6,805	7,864	9	311	371	4,527	1,008
千葉県	254	475	22,884	16,453	10,229	190	398	305	4,422	19,488
東京都	67	9	304	1,021	1,577	0	68	199	2,064	348
神奈川県	185	576	754	1,541	1,585	0	56	174	1,297	513
新潟県	22	0	32,341	4,012	37,124	52	293	58	2,633	12,743
富山県	16	0	6,007	1,987	5,172	13	139	289	2,624	1,001
石川県	11	1	17,376	5,488	18,579	1,401	381	116	4,480	3,873
福井県	15	24	15,115	2,715	3,712	54	305	45	2,236	630
山梨県	58	99	833	656	402	0	13	16	256	10
長野県	185	161	4,038	4,327	2,424	12	114	76	1,009	1,324
岐阜県	115	626	3,909	6,580	7,205	12	432	824	5,606	784
静岡県	135	282	4,744	3,594	4,504	1	562	656	4,384	1,751
愛知県	122	110	2,690	2,678	3,714	0	10	432	2,312	3,144
三重県	237	498	6,442	3,685	3,382	3	224	1,175	5,759	5,953
滋賀県	167	266	14,149	7,146	9,668	197	1,722	2,514	14,379	2,388
京都府	139	594	4,702	4,239	4,467	18	202	381	2,041	690
大阪府	385	578	2,098	2,551	2,343	32	351	940	6,579	588
兵庫県	206	841	3,482	3,415	4,920	77	264	1,758	7,166	1,763
奈良県	110	1,806	3,378	3,052	6,109	7	175	93	1,442	26
和歌山県	153	489	3,256	1,754	709	0	124	259	2,420	98
鳥取県	11	812	5,872	2,942	911	4	111	148	1,265	1,629
島根県	162	897	10,771	6,972	1,113	2	214	259	1,802	1,634
岡山県	15	270	3,316	1,705	639	121	178	426	1,685	3,472
広島県	259	1,407	4,759	4,009	3,143	76	201	958	6,473	934
山口県	199	1,344	5,113	3,952	1,321	0	60	61	4,187	309
徳島県	72	295	5,923	4,140	3,145	3	76	1,336	5,198	77
香川県	162	274	3,345	1,739	1,837	0	149	365	4,570	1,024
愛媛県	180	1,450	9,428	4,662	3,203	467	110	554	5,093	3,981
高知県	53	1,740	10,662	6,027	1,414	44	200	52	6,780	3,455
福岡県	207	431	5,776	5,344	1,389	31	218	243	2,935	1,230
佐賀県	113	394	4,240	3,277	2,527	4	23	45	2,119	5,215
長崎県	43	1,130	3,256	4,525	1,402	127	250	51	1,496	648
熊本県	147	445	8,015	5,163	1,041	0	232	60	5,381	529
大分県	265	1,237	4,411	3,241	1,157	64	195	79	3,526	291
宮崎県	69	890	8,696	4,315	483	0	37	0	6,500	585
鹿児島県	179	630	7,470	9,336	2,346	0	1,137	0	1,678	22
沖縄県	77	0	55	200	342	0	2	9	129	72
観察都道府県数		43	47	47	47	31	46	43	47	47
合計	6,522	22,363	403,544	216,081	204,986	3,292	11,999	20,268	160,289	184,938

表 2-4-1 (2) 都道府県別のカモ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察個体数(羽)									
	淡水ガモ類			海ガモ類						
	ハシビロガモ	その他	合計	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	クロガモ	ビロードキンクロ	シノリガモ	コオリガモ
北海道	0	0	3,647	20	287	1,012	1,114	1	355	25
青森県	36	0	5,352	429	324	1,121	237	0	43	16
岩手県	5	10	22,334	912	423	782	289	0	145	4
宮城県	797	0	52,441	567	496	872	53	0	0	0
秋田県	330	0	23,856	64	474	270	8	0	19	0
山形県	11	2	85,349	480	511	43	0	0	0	0
福島県	77	2	40,353	596	619	983	992	0	34	7
茨城県	469	6	120,619	1,841	1,179	14,381	955	3	91	0
栃木県	80	0	19,470	83	188	1	0	0	0	0
群馬県	153	0	12,606	326	536	1	0	0	0	0
埼玉県	220	5	26,222	1,580	1,031	65	0	0	0	0
千葉県	897	1	75,742	2,432	1,357	24,726	381	1	0	0
東京都	290	5	5,885	1,761	1,725	2,243	4	0	0	0
神奈川県	63	0	6,559	814	803	937	0	0	0	0
新潟県	66	8	89,330	1,272	777	298	5	0	0	0
富山県	173	0	17,405	467	295	6	0	0	0	0
石川県	128	1	51,824	864	364	162	0	0	0	0
福井県	155	1	24,992	329	708	484	0	0	0	0
山梨県	16	0	2,301	116	234	11	0	0	0	0
長野県	54	0	13,539	845	1,099	16	6	0	0	0
岐阜県	243	4	26,225	363	1,714	107	0	0	0	0
静岡県	187	3	20,668	1,256	1,210	5,429	17	0	2	0
愛知県	624	0	15,714	8,091	1,065	10,702	1	0	0	0
三重県	934	2	28,057	3,313	1,201	4,697	4	0	0	0
滋賀県	830	14	53,273	7,125	20,679	2,500	0	0	0	0
京都府	360	2	17,696	1,441	761	505	15	1	21	0
大阪府	3,001	10	19,071	11,966	2,693	2,363	24	2	0	0
兵庫県	2,021	1	25,708	10,940	2,018	10,099	12	1	0	0
奈良県	1,581	0	17,669	442	349	1	0	0	0	0
和歌山県	78	0	9,187	619	164	14	1	0	5	0
鳥取県	78	1	13,773	355	1,622	2,540	0	1	0	0
島根県	1,057	0	24,721	2,000	15,038	22,832	22	0	4	0
岡山県	210	2	12,024	1,976	1,395	1,037	0	0	0	0
広島県	1,115	2	23,077	5,817	618	4,333	37	0	0	0
山口県	92	0	16,439	843	403	302	0	0	0	4
徳島県	433	0	20,626	1,071	298	1,578	32	3	0	0
香川県	2,062	0	15,365	3,075	654	1,832	0	0	0	0
愛媛県	853	3	29,804	985	386	80	20	0	0	0
高知県	111	0	30,485	299	9	10	0	0	0	0
福岡県	271	1	17,869	1,338	933	694	0	0	0	0
佐賀県	212	9	18,065	15,005	3,593	64	28	0	0	0
長崎県	120	9	13,014	3,173	2,114	16,787	0	0	0	0
熊本県	126	0	20,992	48	17	6	0	0	0	0
大分県	70	0	14,271	208	66	29	10	0	0	0
宮崎県	2	0	21,508	122	64	10	0	0	0	0
鹿児島県	0	0	22,619	44	218	0	0	0	0	0
沖縄県	189	2	1,000	44	695	16	0	0	0	0
観察 都道府県数	45	25	47	47	47	46	24	8	10	5
合計	20,880	106	1,248,746	97,757	73,407	136,981	4,267	13	719	56

※ 淡水ガモ類のその他はアメリカヒドリ、シマアジの合計である。

表 2-4-1 (3) 都道府県別のカモ類観察地点数及び観察個体数

都道府県	観察個体数(羽)											
	海ガモ類						種不明 ・雑種	ツクシガモ類			リュウキュウガモ	合計
	ホオジロ ガモ	ミコアイサ	ウミアイサ	カワアイサ	その他	合計		ツクシガモ	アカツクシ ガモ	合計		
北海道	1,743	72	421	995	0	6,045	1,296	0	0	0	0	10,988
青森県	37	10	129	32	0	2,378	292	0	0	0	0	8,022
岩手県	168	64	99	638	0	3,524	570	0	0	0	0	26,428
宮城県	14	190	12	126	0	2,330	752	0	0	0	0	55,523
秋田県	7	9	5	167	0	1,023	2,671	0	0	0	0	27,550
山形県	2	28	5	122	0	1,191	1,495	0	0	0	0	88,035
福島県	191	85	4	76	0	3,587	489	0	0	0	0	44,429
茨城県	147	66	32	6	0	18,701	1,933	0	0	0	0	141,253
栃木県	0	138	0	406	0	816	0	0	0	0	0	20,286
群馬県	0	38	0	34	0	935	8	0	0	0	0	13,549
埼玉県	47	39	0	8	0	2,770	0	0	0	0	0	28,992
千葉県	4	7	30	0	2	28,940	233	0	0	0	0	104,915
東京都	0	0	1	0	0	5,734	0	0	0	0	0	11,619
神奈川県	1	8	1	21	0	2,585	106	0	0	0	0	9,250
新潟県	53	59	35	75	0	2,574	0	0	0	0	0	91,904
富山県	0	3	0	10	0	781	1	0	0	0	0	18,187
石川県	51	23	11	47	0	1,522	7,091	0	0	0	0	60,437
福井県	71	17	0	24	0	1,633	0	0	0	0	0	26,625
山梨県	2	21	0	348	0	732	5	0	0	0	0	3,038
長野県	29	121	0	793	0	2,909	1,127	0	0	0	0	17,575
岐阜県	43	64	0	545	0	2,836	1	0	0	0	0	29,062
静岡県	101	4	69	147	0	8,235	7	0	1	1	0	28,911
愛知県	1	95	20	6	0	19,981	1,111	12	0	12	0	36,818
三重県	26	52	48	11	0	9,352	458	3	0	3	0	37,870
滋賀県	283	740	149	521	2	31,999	7,637	0	0	0	0	92,909
京都府	5	9	200	185	0	3,143	20	0	0	0	0	20,859
大阪府	12	310	65	22	2	17,459	16	90	0	90	0	36,636
兵庫県	36	493	119	279	0	23,997	19	0	0	0	0	49,724
奈良県	7	188	0	17	0	1,004	0	1	0	1	0	18,674
和歌山県	0	0	4	106	0	913	11	0	0	0	0	10,111
鳥取県	99	21	5	100	0	4,743	268	6	0	6	0	18,790
島根県	445	14	18	177	1	40,551	19,326	0	0	0	0	84,598
岡山県	5	36	52	1	0	4,502	188	75	0	75	0	16,789
広島県	2	121	126	480	2	11,536	0	67	0	67	0	34,680
山口県	0	9	35	21	0	1,617	1,174	0	0	0	0	19,230
徳島県	0	0	11	2	0	2,995	35	15	0	15	0	23,671
香川県	34	575	76	7	0	6,253	4	2	0	2	0	21,624
愛媛県	2	6	25	2	1	1,507	6	0	0	0	0	31,317
高知県	0	0	1	2	0	321	275	0	0	0	0	31,081
福岡県	4	6	19	13	0	3,007	2,797	147	0	147	0	23,820
佐賀県	0	0	10	0	0	18,700	274	3,237	0	3,237	0	40,276
長崎県	9	0	27	0	0	22,110	10	2	0	2	0	35,136
熊本県	0	0	0	32	0	103	1,589	0	0	0	0	22,684
大分県	0	0	37	0	0	350	1,694	16	0	16	0	16,331
宮崎県	0	0	0	0	0	196	286	0	0	0	0	21,990
鹿児島県	0	0	0	0	0	262	4,121	0	0	0	0	27,002
沖縄県	0	0	0	0	0	755	7	2	0	2	0	1,764
観察 都道府県数	33	36	34	39	6	47	40	14	1	15	0	47
合計	3,681	3,741	1,901	6,604	10	329,137	59,403	3,675	1	3,676	0	1,640,962

※ 海ガモ類のその他はアカハシハジロ、オオホシハジロ、メジロガモ、アカハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロ、コウライアイサの合計である（今年度はオオホシハジロ、ケワタガモ、コケワタガモ、アラナミキンクロ、ヒメハジロ、クビワキンクロは観察されなかった）。

(1) オシドリ

< 観察状況 >

観察地点数は概ね600～700地点程度を推移している。観察個体数は、昭和50年代後半から増減しつつも増加傾向が続いていたが、平成26年度以降は減少傾向がみられる。

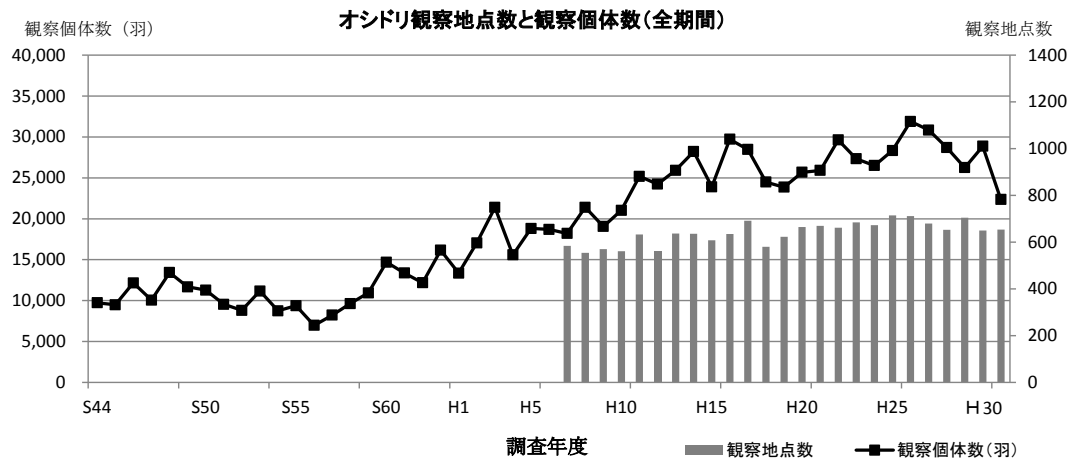


図2-4-2 (1) オシドリの観察状況の推移

(2) マガモ

< 観察状況 >

観察地点数は概ね3,000～3,500地点を推移している。観察個体数は、調査開始当初は200,000羽程度であったものが、昭和56年頃から増加に転じ、平成8～11年度に500,000羽前後でピークになった。その後平成24年度まで減少傾向にあったが、近年は400,000羽程度で横ばいとなっている。

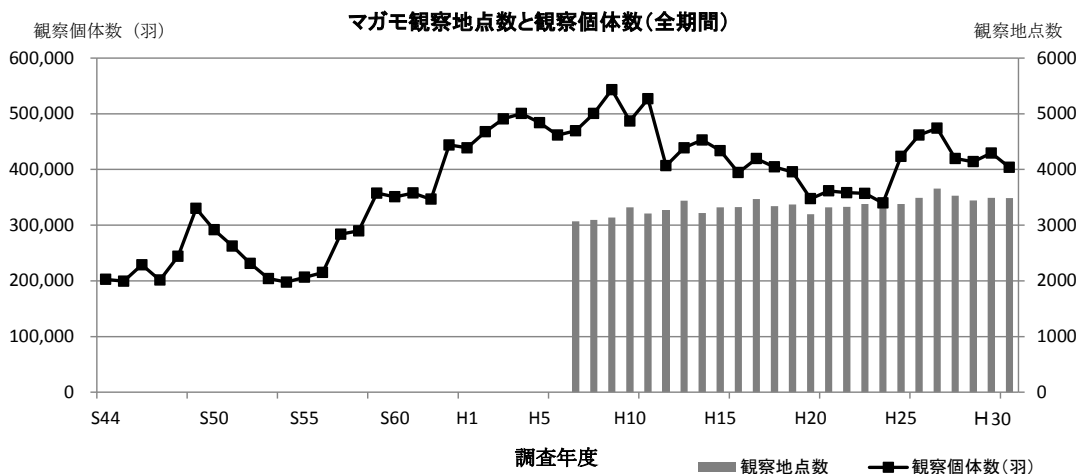


図 2-4-2 (2) マガモの観察状況の推移

(3) カルガモ

< 観察状況 >

観察地点数はやや増加傾向にある。観察個体数は、調査開始当初から昭和50年代後半まで増加し、その後平成24年度まで減少傾向となった。以降はやや増加傾向にあり、平成28年度以降は200,000羽を超えている。

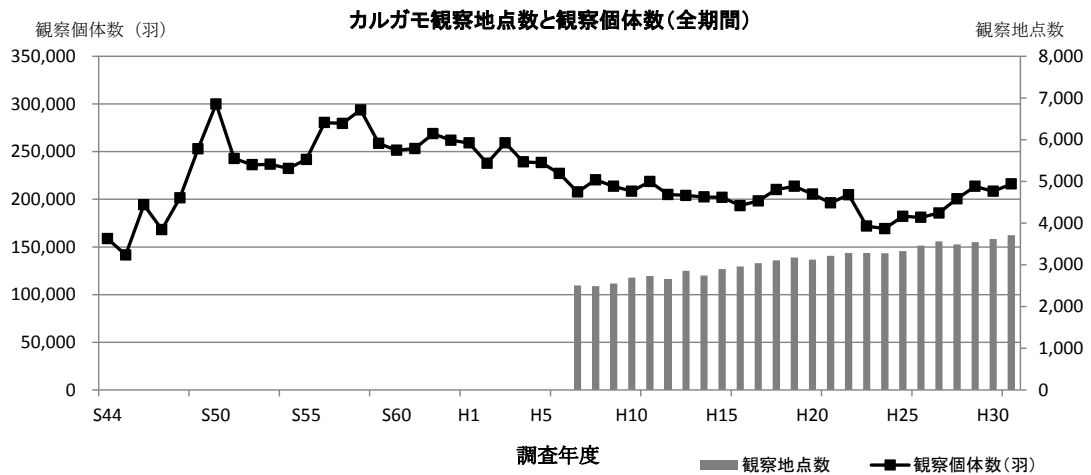


図 2-4-2 (3) カルガモの観察状況の推移

(4) コガモ

< 観察状況 >

観察地点数は概ね2,500～2,700地点を推移している。観察個体数は、概ね150,000～200,000羽を推移している。

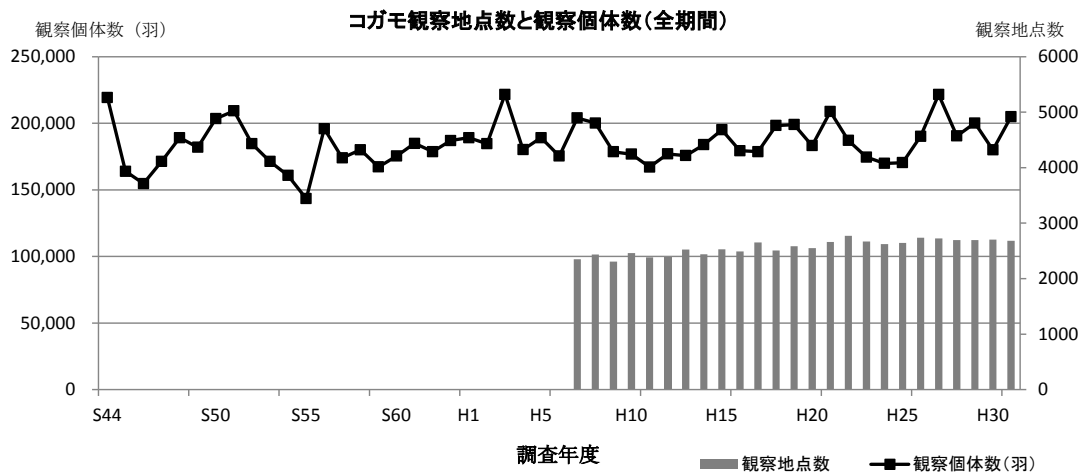


図 2-4-2 (4) コガモの観察状況の推移

(5) トモエガモ

< 観察状況 >

観察地点数は増減しているが、近年は100～120地点程度である。近年の観察個体数について、平成27年度、平成28年度は5,000羽を下回り、平成29年度、平成30年度は10,000羽を超えたものの、令和元年度は再び5,000羽を下回った。

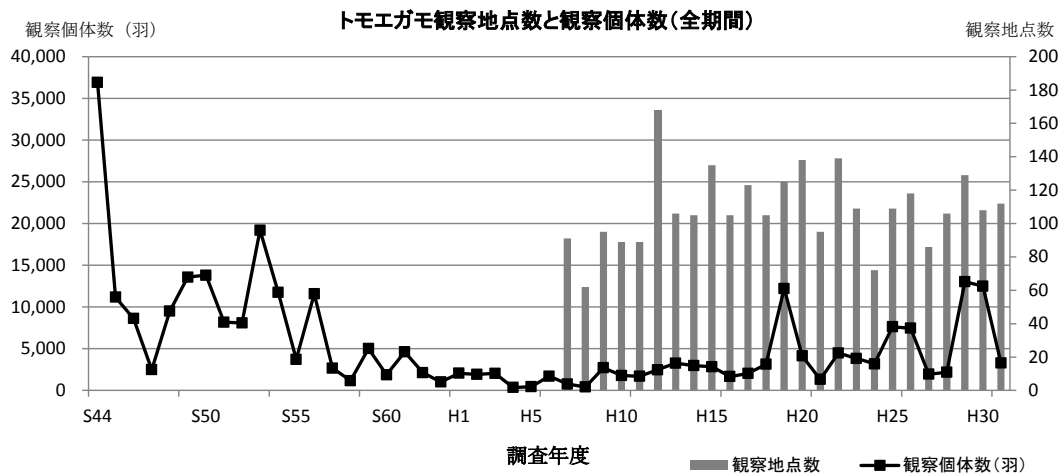


図2-4-2 (5) トモエガモの観察状況の推移

(6) ヨシガモ

< 観察状況 >

観察地点数はやや増加傾向にあり、最近10年間は400地点以上を推移している。観察個体数は、最近15年間で概ね10,000～15,500羽を推移している。

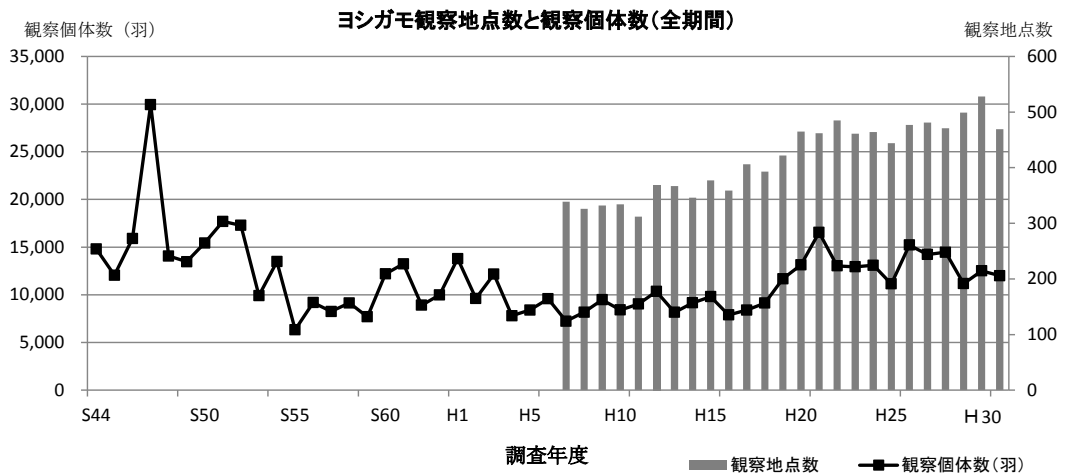


図 2-4-2 (6) ヨシガモの観察状況の推移

(7) オカヨシガモ

< 観察状況 >

観察地点数は増加傾向にあり、平成28年度より700地点を越えている。観察個体数は、昭和55年度頃から増加傾向にあり、平成26年度に25,000羽を超えた。以降は減少傾向にあり、令和元年度は20,000羽程度であった。

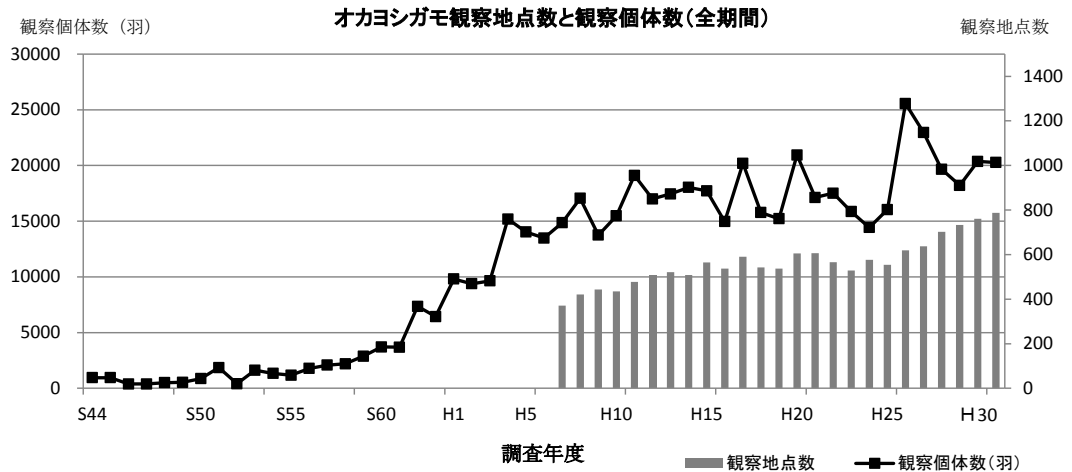


図2-4-2 (7) オカヨシガモの観察状況の推移

(8) ヒドリガモ

< 観察状況 >

観察地点数は増加傾向にある。観察個体数は昭和44年度の40,000羽以下からほぼ直線的に増加し、平成19年度には200,000羽以上が観察されたが、以降は減少傾向にある。

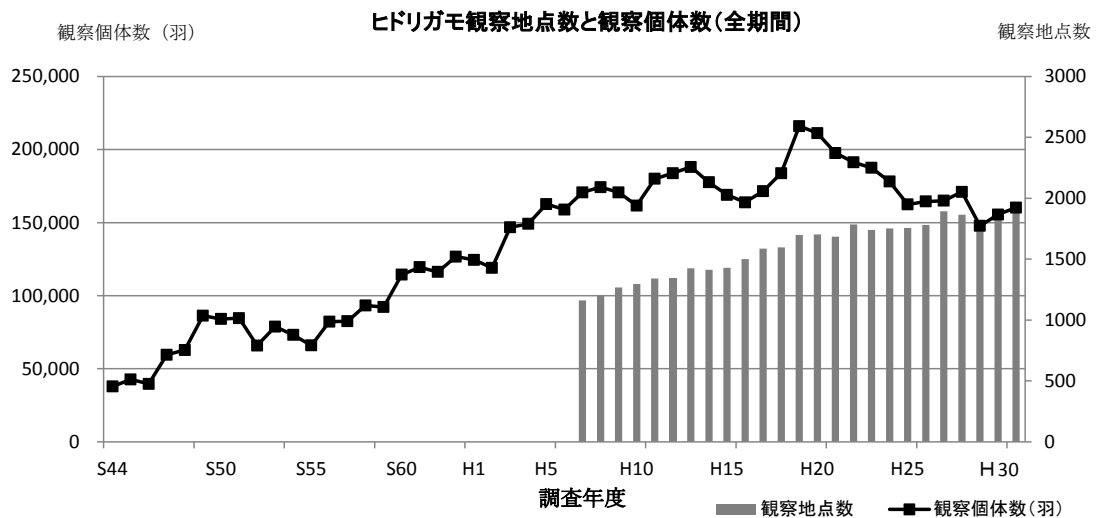


図 2-4-2 (8) ヒドリガモの観察状況の推移

(9) オナガガモ

< 観察状況 >

観察地点数は1,000地点前後で推移している。観察個体数は平成19年度に220,000羽程度となって以降やや減少傾向にあり、平成30年度は150,000羽以下に減少したものの、令和元年度は180,000羽を超えた。

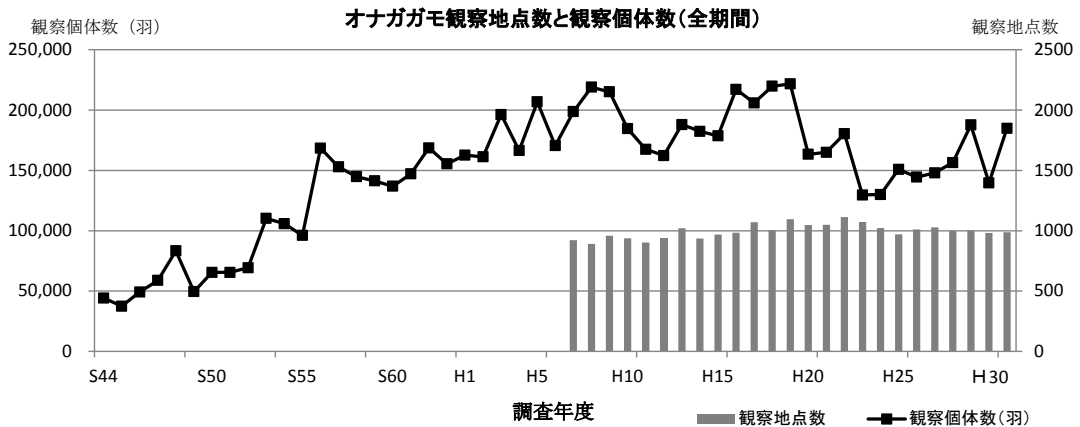


図 2-4-2 (9) オナガガモの観察状況の推移

(10) ハシビロガモ

< 観察状況 >

観察地点数は、やや増加傾向にある。観察個体数は、平成4年度から減少傾向にあったが、最近20年間は概ね15,000～20,000羽で推移している。



図 2-4-2 (10) ハシビロガモの観察状況の推移

(11) ホシハジロ

< 観察状況 >

観察地点数は増加傾向にある。一方で、観察個体数は平成11年度に200,000羽程度となって以降減少傾向にあり、近年は100,000羽を下回っている。

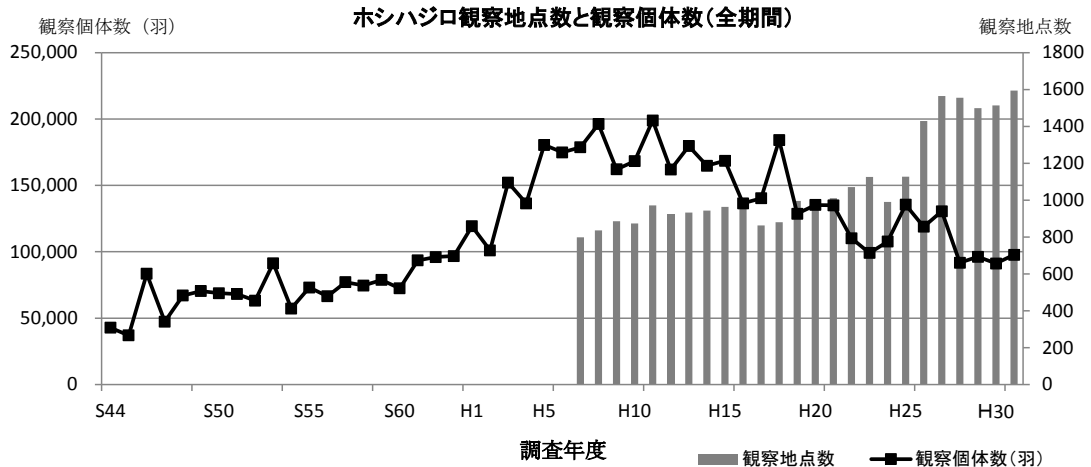


図 2-4-2 (11) ホシハジロの観察状況の推移

(12) キンクロハジロ

< 観察状況 >

観察地点数は増加傾向にあったが、平成23年度以降は増減しつつも1,300～1,500地点で推移している。観察個体数は平成15年度から平成21年度まで100,000羽以上を推移していたが、平成22年度からは減少傾向にあり、100,000羽を下回っている。

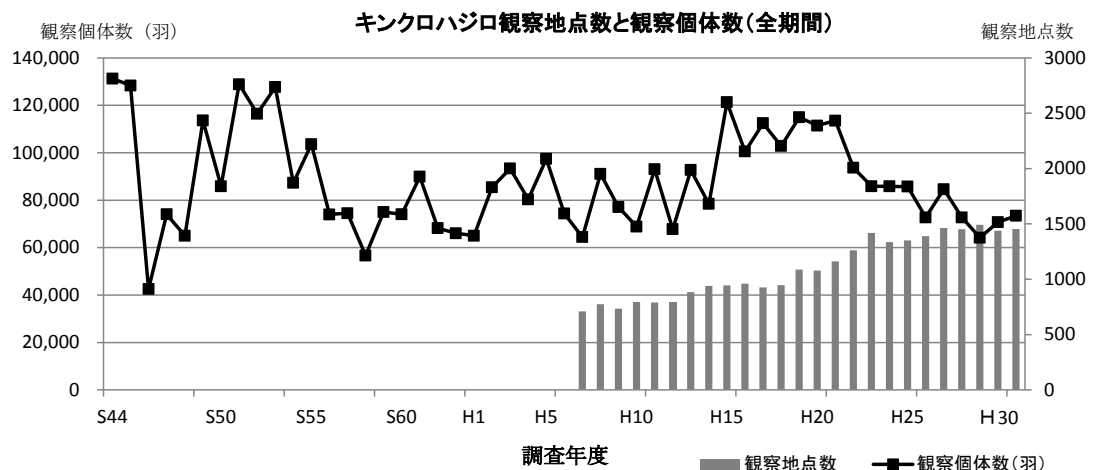


図 2-4-2 (12) キンクロハジロの観察状況の推移

(13) スズガモ

< 観察状況 >

観察地点数は増減しつつも、全体的には増加傾向にある。観察個体数は昭和51年度に200,000羽を越えて以降、100,000羽～270,000羽程度の間で大きく増減を繰り返している。

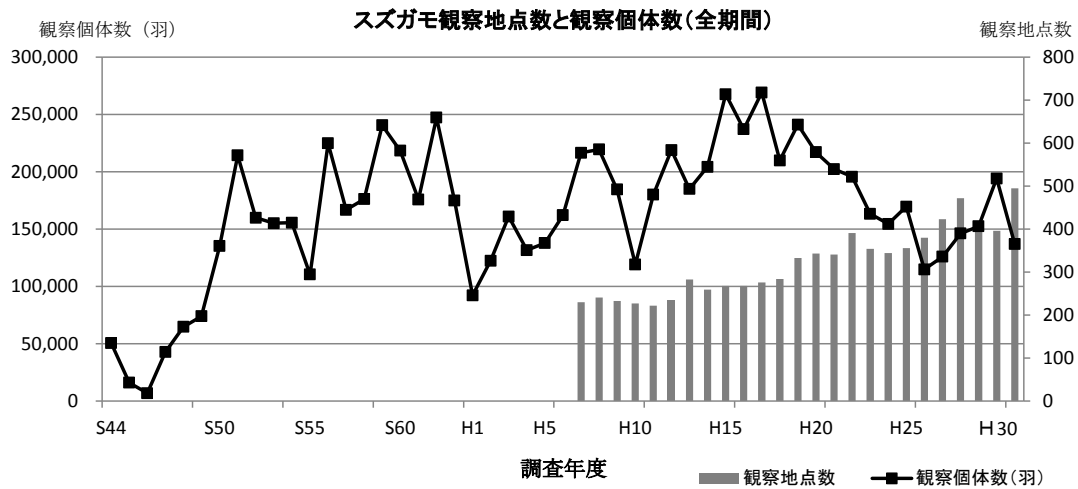


図 2-4-2 (13) スズガモの観察状況の推移

(14) クロガモ

< 観察状況 >

観察地点数は平成19年度まで減少傾向にあり、以降は70～110地点の間を推移していたが、令和元年度は増加して131地点だった。観察個体数は減少傾向にあり、平成13年度に15,000羽を観察して以降は10,000羽を下回っている。

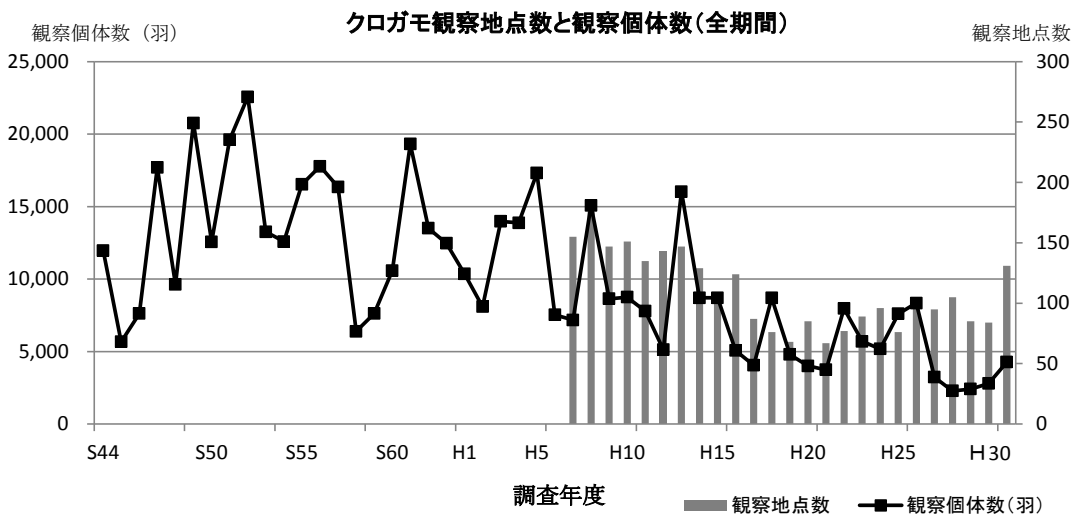


図 2-4-2 (14) クロガモの観察状況の推移

(15) ビロードキンクロ

<観察状況>

観察地点数は平成26年度以降減少傾向だったが、令和元年度は増加した。観察個体数については、最近10年間は100羽を下回っている年度が多く、平成29年度以降は50羽を下回っている。

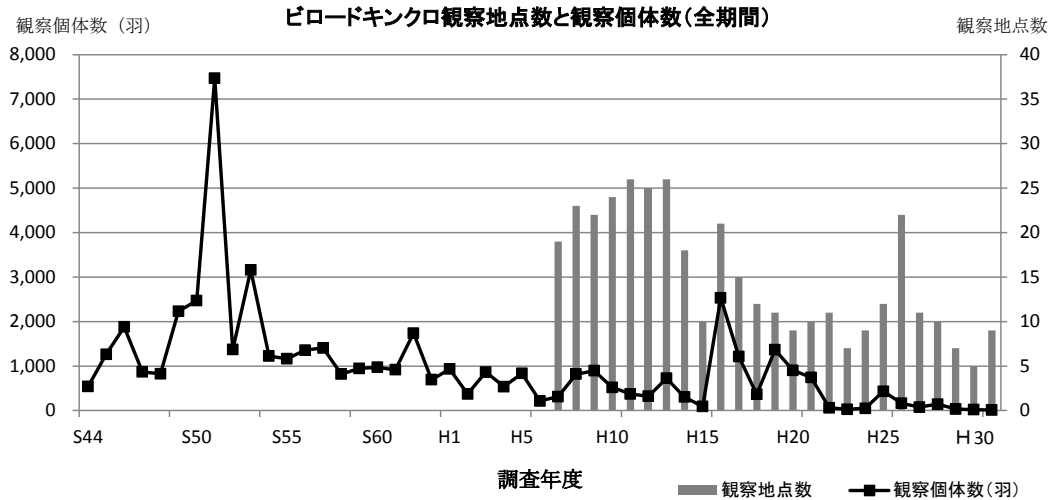


図 2-4-2 (15) ビロードキンクロの観察状況の推移

(16) シノリガモ

<観察状況>

観察個体数は平成5年度から減少傾向にあったが、近年は500～1,000羽で推移している。観察地点数も同様に減少傾向にあり、本種が主に観察される東北以北沿岸の調査地点数が減少したことが要因の可能性がある。

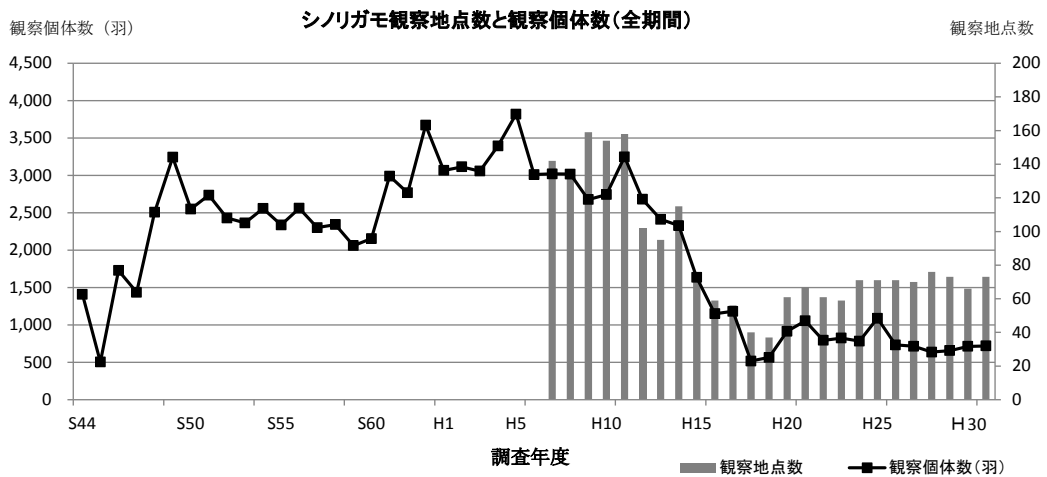


図 2-4-2 (16) シノリガモの観察状況の推移

(17) コオリガモ

< 観察状況 >

調査開始初期においては、観察個体数が12,000羽を超えた年度もあるが、継続的に減少傾向にあり、近年は50羽以下にまで減少している。観察地点数も減少傾向にあり、本種が主に観察される北海道沿岸の調査地点数が平成18年以降減少したことが観察個体数減少につながった可能性がある。令和元年度は、北海道及び青森県の観察地点が増加した。

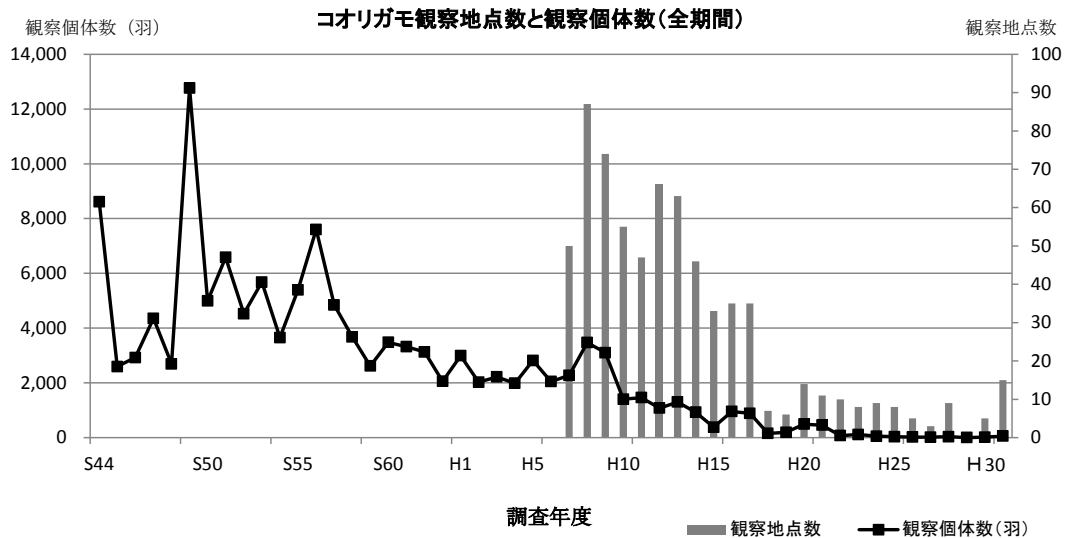


図2-4-2 (17) コオリガモの観察状況の推移

(18) ホオジロガモ

< 観察状況 >

観察地点数は平成19年度からやや増加し、近年は200～250地点で推移している。観察個体数は年による増減が大きかったが、最近10年間は3,000～4,000羽で推移している。

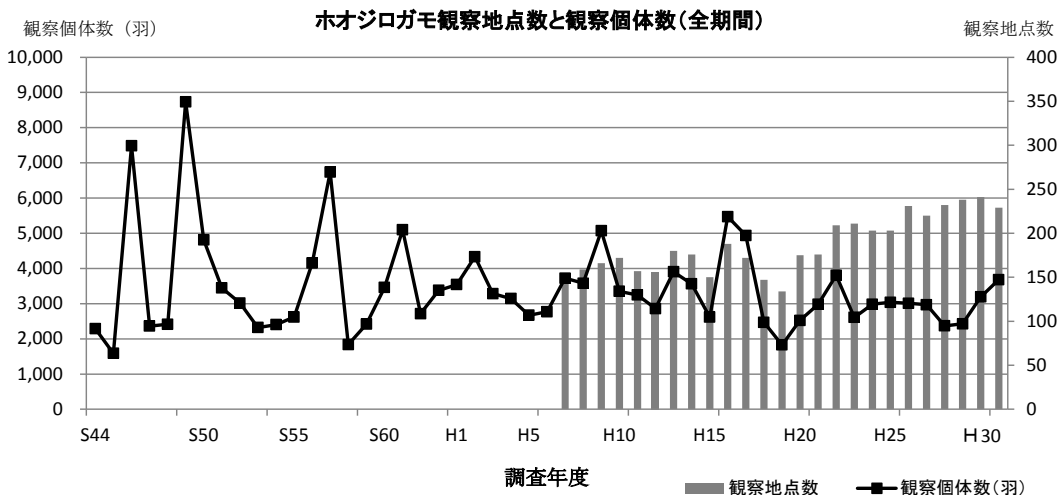


図 2-4-2 (18) ホオジロガモの観察状況の推移

(19) ミコアイサ

< 観察状況 >

観察地点数は増加傾向にあり、平成30年度及び令和元年度は400地点を越えた。観察個体数は昭和46年度以降増加傾向であったが、平成20年度以降は4,000羽前後で推移している。

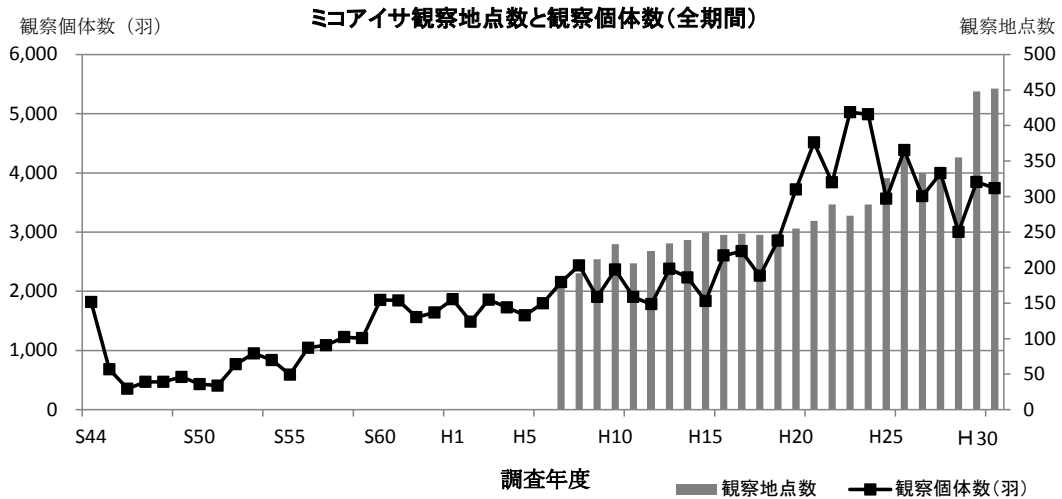


図 2-4-2 (19) ミコアイサの観察状況の推移

(20) ウミアイサ

< 観察状況 >

観察地点数は平成15年度以降、概ね200~250地点で推移している。観察個体数は調査開始当初は大きく増減していたが、最近20年間は減少傾向にあり、平成15年度以降は3,000羽以下で推移している。

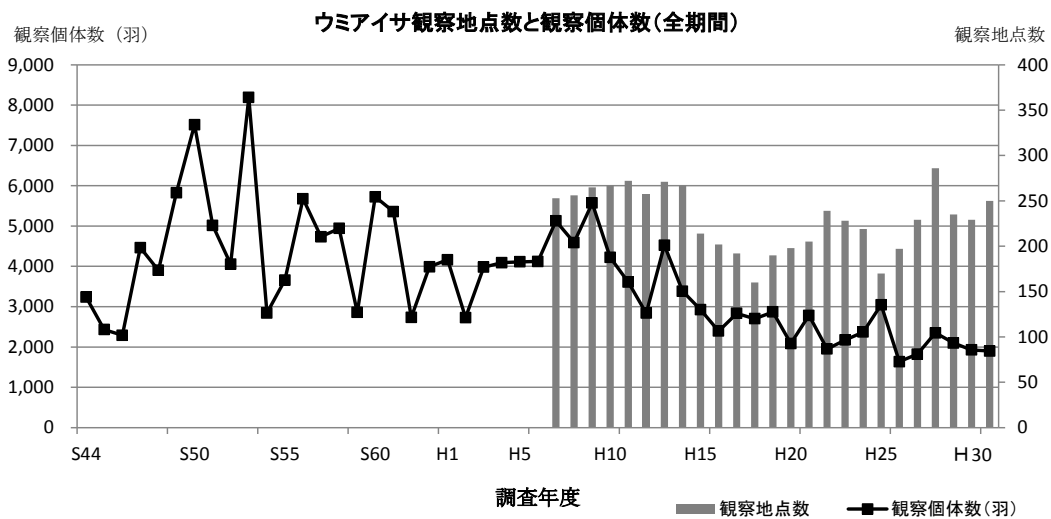


図 2-4-2 (20) ウミアイサの観察状況の推移

(21) カワアイサ

< 観察状況 >

観察地点数は増加傾向にあり、平成21年度以降400地点を超えている。観察個体数も同様に増加傾向にあり、平成18年度以降は5,000羽を超えている。

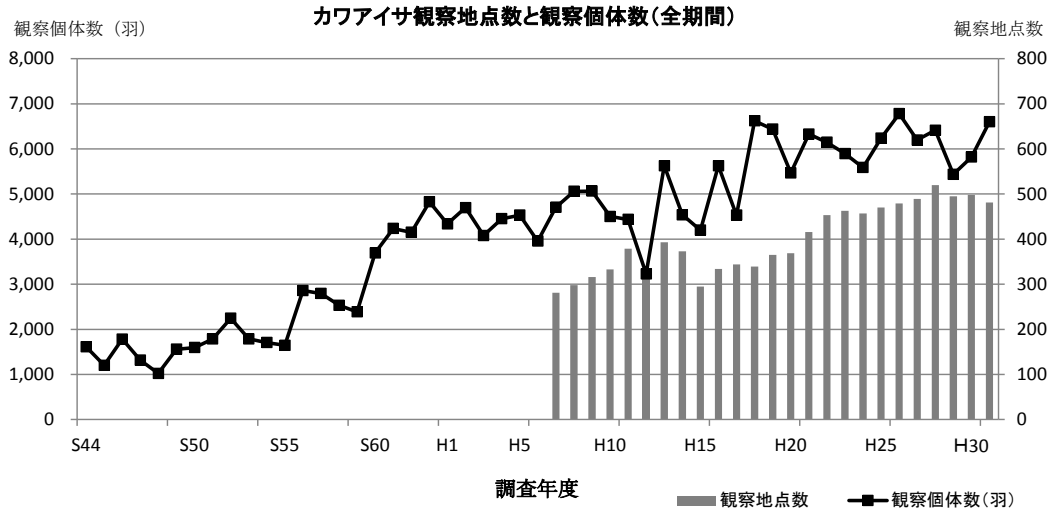


図 2-4-2 (21) カワアイサの観察状況の推移

(22) ツクシガモ

< 観察状況 >

観察地点数は 20~70 地点で推移しているが、年による変動が大きい。観察個体数は増減があるものの、平成 21 年度から増加傾向にあり、近年は 3,000 羽を超えている。

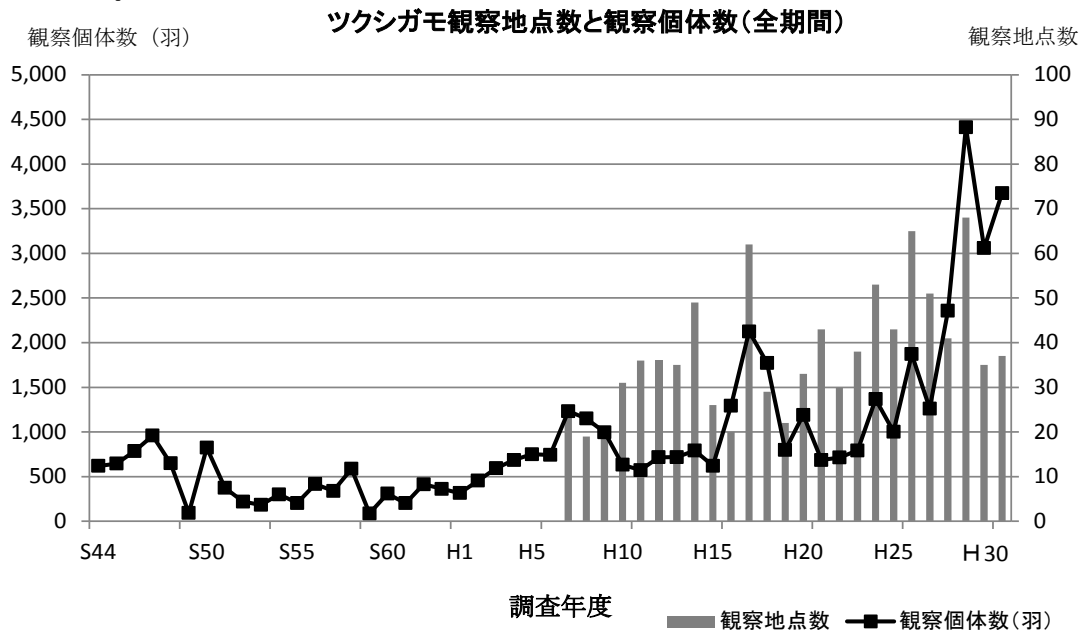


図 2-4-2 (22) ツクシガモの観察状況の推移

4.3 法指定区域別の観察状況

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（以下、鳥獣保護管理法）によって鳥獣保護区や休猟区などに指定されている区域ごとの観察状況を、表2-4-2～表2-4-5及び図2-4-3(1)～(5)に示した。

カモ類の観察地点のうち、鳥獣保護区に該当する地点は1,388地点で、全体の21.3%であったが、これらの地点ではカモ類の全観察個体数の49.8%にあたる816,828羽が観察された。また、鳥獣保護区に、休猟区、鳥獣保護管理法施行規則第7条第1項第7号ハからチに該当する区域、特定猟具使用禁止区域及び特定猟具使用制限区域を加えた、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点の合計は3,948地点で全体の60.5%となり、カモ類の全観察個体数の84.8%にあたる1,391,994羽が観察された。一方、銃猟の制限されていない猟区及びその他の区域に該当する地点の合計は2,574地点で、全体の39.5%にあたり、カモ類の全観察個体数の15.2%にあたる248,968羽が観察された。

カモ類は、ハクチョウ類及びガン類と比較して、狩猟または銃猟が禁止・制限された区域に該当する地点での観察割合が高かった。

表 2-4-2 法指定区域別のカモ類の観察状況

項目	区域区分	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計		
		項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	項目内 割合(%)	
調査地点数(箇所)	1,737	19.2	84	0.9	160	1.8	2,839	31.4	58	0.6	214	2.4	3,948	43.7	9,040	100.0		
調査地点面積(ha)	182,945	48.0	1,335	0.4	3,147	0.8	74,679	19.6	1,949	0.5	7,475	2.0	109,473	28.7	381,004	100.0		
観察地点数(箇所)	狩猟対象	マガモ	854	24.5	26	0.7	67	1.9	1,273	36.5	27	0.8	57	1.6	1,182	33.9	3,486	100.0
		カルガモ	855	23.0	21	0.6	85	2.3	1,525	41.1	32	0.9	62	1.7	1,133	30.5	3,713	100.0
		コガモ	603	22.5	20	0.7	51	1.9	1,142	42.6	13	0.5	41	1.5	811	30.2	2,681	100.0
		ヨシガモ	151	32.2	1	0.2	10	2.1	190	40.5	1	0.2	2	0.4	114	24.3	469	100.0
		ヒドリガモ	515	26.5	14	0.7	42	2.2	780	40.2	13	0.7	23	1.2	554	28.5	1,941	100.0
		オナガガモ	329	33.3	7	0.7	24	2.4	377	38.2	6	0.6	6	0.6	238	24.1	987	100.0
		ハンビロガモ	201	24.7	6	0.7	24	2.9	394	48.4	1	0.1	3	0.4	185	22.7	814	100.0
		ホシハジロ	419	26.3	10	0.6	43	2.7	668	41.9	3	0.2	6	0.4	445	27.9	1,594	100.0
		キンクロハジロ	417	28.7	6	0.4	50	3.4	594	40.9	13	0.9	8	0.6	366	25.2	1,454	100.0
		スズガモ	163	32.9	4	0.8	7	1.4	151	30.5	1	0.2	2	0.4	167	33.7	495	100.0
		クロガモ	21	16.0	0	—	2	1.5	39	29.8	0	—	3	2.3	66	50.4	131	100.0
		狩猟対象種合計	1,348	21.8	50	0.8	132	2.1	2,260	36.5	53	0.9	113	1.8	2,241	36.2	6,197	100.0
		狩猟対象外	オンドリ	159	24.3	9	1.4	10	1.5	149	22.8	2	0.3	20	3.1	305	46.6	654
	トモエガモ		53	47.3	0	—	1	0.9	35	31.3	1	0.9	0	—	22	19.6	112	100.0
	オカヨシガモ		236	30.0	3	0.4	15	1.9	350	44.5	3	0.4	4	0.5	176	22.4	787	100.0
	ピロードキンクロ		4	44.4	0	—	0	—	2	22.2	0	—	1	11.1	2	22.2	9	100.0
	シノリガモ		11	15.1	0	—	0	—	13	17.8	0	—	1	1.4	48	65.8	73	100.0
	コオリガモ		3	20.0	0	—	0	—	2	13.3	0	—	0	—	10	66.7	15	100.0
	ホオジロガモ		95	41.5	1	0.4	6	2.6	76	33.2	0	—	0	—	51	22.3	229	100.0
	ミコアイサ		153	33.8	0	—	16	3.5	202	44.7	2	0.4	3	0.7	76	16.8	452	100.0
	ウミアイサ		84	33.6	2	0.8	3	1.2	56	22.4	1	0.4	3	1.2	101	40.4	250	100.0
	カワアイサ		156	32.4	2	0.4	3	0.6	150	31.2	1	0.2	4	0.8	165	34.3	481	100.0
	その他		44	39.6	1	0.9	4	3.6	33	29.7	0	—	1	0.9	28	25.2	111	100.0
	狩猟対象外合計		595	26.0	16	0.7	40	1.8	793	34.7	8	0.4	34	1.5	799	35.0	2,285	100.0
	種不明		113	24.2	6	1.3	7	1.5	140	30.0	3	0.6	11	2.4	186	39.9	466	100.0
	総計	1,388	21.3	52	0.8	134	2.1	2,320	35.6	54	0.8	127	1.9	2,447	37.5	6,522	100.0	
観察個体数(羽)	狩猟対象	マガモ	218,973	54.3	594	0.1	2,587	0.6	125,617	31.1	4,134	1.0	2,002	0.5	49,637	12.3	403,544	100.0
		カルガモ	84,978	39.3	546	0.3	3,757	1.7	84,669	39.2	1,791	0.8	1,962	0.9	38,378	17.8	216,081	100.0
		コガモ	92,228	45.0	259	0.1	1,451	0.7	79,016	38.5	2,177	1.1	641	0.3	29,214	14.3	204,986	100.0
		ヨシガモ	5,332	44.4	4	0.0	117	1.0	4,921	41.0	3	0.0	18	0.2	1,604	13.4	11,999	100.0
		ヒドリガモ	67,258	42.0	834	0.5	2,149	1.3	61,262	38.2	479	0.3	824	0.5	27,483	17.1	160,289	100.0
		オナガガモ	105,486	57.0	147	0.1	3,416	1.8	49,703	26.9	5,853	3.2	2,325	1.3	18,008	9.7	184,938	100.0
		ハンビロガモ	5,495	26.3	57	0.3	889	4.3	10,118	48.5	336	1.6	16	0.1	3,969	19.0	20,880	100.0
		ホシハジロ	32,778	33.5	307	0.3	6,446	6.6	29,518	30.2	28	0.0	30	0.0	28,650	29.3	97,757	100.0
		キンクロハジロ	48,846	66.5	130	0.2	1,205	1.6	12,904	17.6	237	0.3	69	0.1	10,016	13.6	73,407	100.0
		スズガモ	80,466	58.7	136	0.1	1,200	0.9	47,916	35.0	4	0.0	10	0.0	7,249	5.3	136,981	100.0
		クロガモ	982	23.0	0	—	9	0.2	1,384	32.4	0	—	38	0.9	1,854	43.4	4,267	100.0
		狩猟対象種計	742,822	49.0	3,014	0.2	23,226	1.5	507,028	33.5	15,042	1.0	7,935	0.5	216,062	14.3	1,515,129	100.0
		狩猟対象外	オンドリ	6,526	29.2	88	0.4	95	0.4	7,590	33.9	9	0.0	376	1.7	7,679	34.3	22,363
	トモエガモ		2,822	85.7	0	—	3	0.1	267	8.1	6	0.2	0	—	194	5.9	3,292	100.0
	オカヨシガモ		9,892	48.8	62	0.3	239	1.2	7,134	35.2	38	0.2	433	2.1	2,470	12.2	20,268	100.0
	ピロードキンクロ		5	38.5	0	—	0	—	3	23.1	0	—	3	23.1	2	15.4	13	100.0
	シノリガモ		57	7.9	0	—	0	—	181	25.2	0	—	2	0.3	479	66.6	719	100.0
	コオリガモ		8	14.3	0	—	0	—	11	19.6	0	—	0	—	37	66.1	56	100.0
	ホオジロガモ		2,387	64.8	1	0.0	16	0.4	909	24.7	0	—	0	—	368	10.0	3,681	100.0
	ミコアイサ		1,551	41.5	0	—	100	2.7	1,677	44.8	7	0.2	17	0.5	389	10.4	3,741	100.0
	ウミアイサ		761	40.0	13	0.7	4	0.2	249	13.1	4	0.2	5	0.3	865	45.5	1,901	100.0
	カワアイサ		3,243	49.1	47	0.7	12	0.2	1,960	29.7	1	0.0	23	0.3	1,318	20.0	6,604	100.0
	その他		157	4.1	2	0.1	91	2.4	182	4.8	0	—	2	0.1	3,358	88.6	3,792	100.0
	狩猟対象外計		27,409	41.3	213	0.3	560	0.8	20,163	30.4	65	0.1	861	1.3	17,159	25.8	66,430	100.0
	種不明		46,597	78.4	36	0.1	72	0.1	5,630	9.5	117	0.2	175	0.3	6,776	11.4	59,403	100.0
	総計	816,828	49.8	3,263	0.2	23,858	1.5	532,821	32.5	15,224	0.9	8,971	0.5	239,997	14.6	1,640,962	100.0	

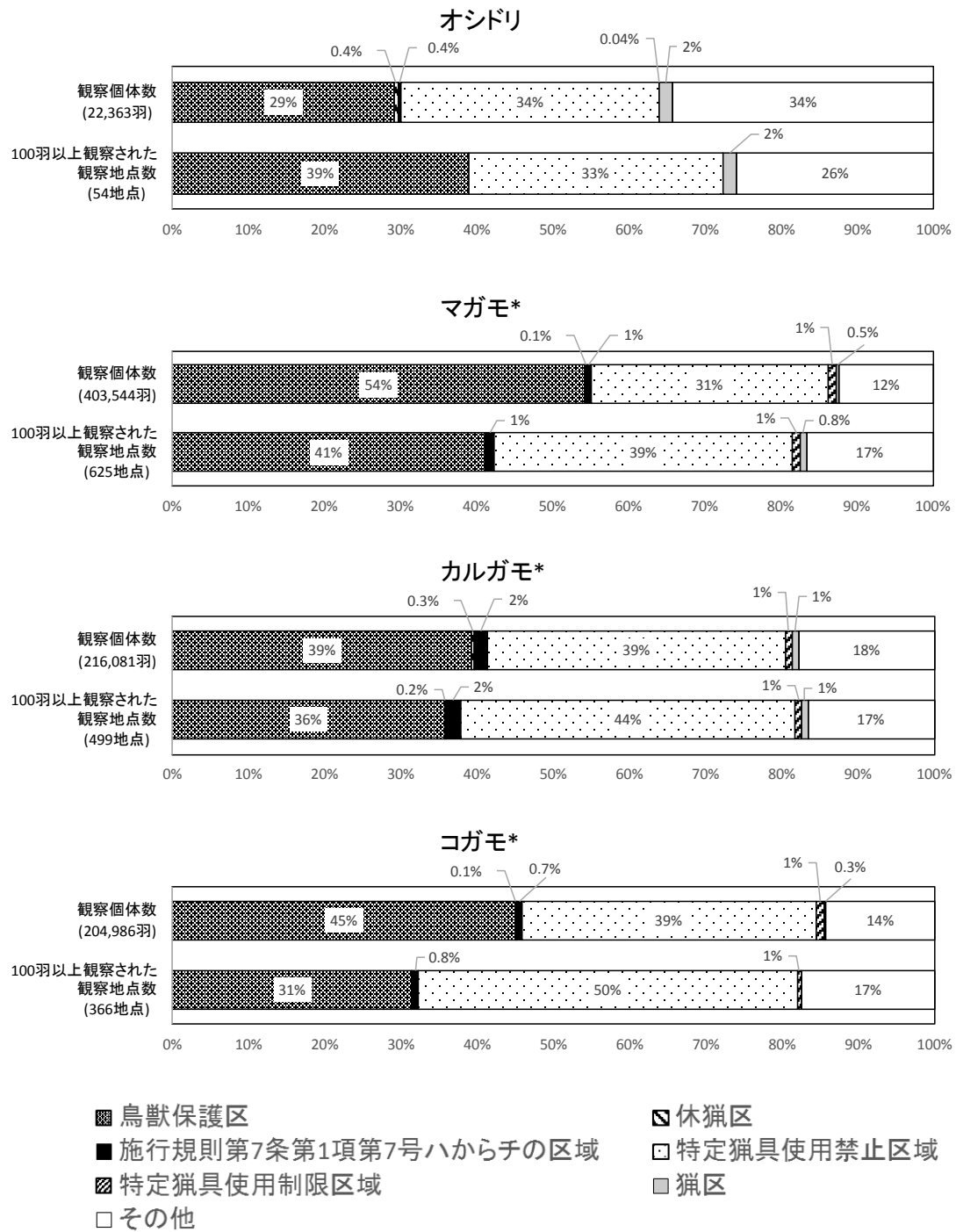
【備考】 項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-4-3 法指定区域別のカモ類観察状況（個体数の下限有）

項目	区域区分	観察 個体数 下限値 *注	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ からチの区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計		
			項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)	項目内 割合 (%)		
調査地点数(箇所)			1,737	19.2	84	0.9	160	1.8	2,839	31.4	58	0.6	214	2.4	3,948	43.7	9,040	100.0	
調査地点面積(ha)			182,945	48.0	1,335	0.4	3,147	0.8	74,679	19.6	1,949	0.5	7,475	2.0	109,473	28.7	381,004	100.0	
観察地点数(箇所)	狩猟対象	マガモ	100	257	41.1	0	—	8	1.3	244	39.0	7	1.1	5	0.8	104	16.6	625	100.0
		カルガモ	100	178	35.7	1	0.2	10	2.0	219	43.9	4	0.8	4	0.8	83	16.6	499	100.0
		コガモ	100	115	31.4	0	—	3	0.8	182	49.7	2	0.5	0	—	64	17.5	366	100.0
		ヨシガモ	100	15	57.7	0	—	0	—	9	34.6	0	—	0	—	2	7.7	26	100.0
		ヒドリガモ	100	134	35.8	3	0.8	5	1.3	156	41.7	2	0.5	2	0.5	72	19.3	374	100.0
		オナガガモ	100	88	43.6	1	0.5	5	2.5	65	32.2	5	2.5	2	1.0	36	17.8	202	100.0
		ハシビロガモ	100	8	18.6	0	—	2	4.7	21	48.8	1	2.3	0	—	11	25.6	43	100.0
		ホシハジロ	100	63	39.6	1	0.6	5	3.1	54	34.0	0	—	0	—	36	22.6	159	100.0
		キンクロハジロ	100	59	56.2	0	—	3	2.9	33	31.4	0	—	0	—	10	9.5	105	100.0
		スズガモ	100	50	52.1	0	—	1	1.0	32	33.3	0	—	0	—	13	13.5	96	100.0
	クロガモ	100	3	27.3	0	—	0	—	3	27.3	0	—	0	—	5	45.5	11	100.0	
	オシドリ	100	21	38.9	0	—	0	—	18	33.3	0	—	1	1.9	14	25.9	54	100.0	
	トモエガモ	10	22	66.7	0	—	0	—	6	18.2	0	—	0	—	5	15.2	33	100.0	
	オカヨシガモ	100	15	48.4	0	—	0	—	13	41.9	0	—	1	3.2	2	6.5	31	100.0	
	ビロードキンクロ	1	4	44.4	0	—	0	—	2	22.2	0	—	1	11.1	2	22.2	9	100.0	
	シノリガモ	20	0	—	0	—	0	—	4	36.4	0	—	0	—	7	63.6	11	100.0	
	コオリガモ	1	3	20.0	0	—	0	—	2	13.3	0	—	0	—	10	66.7	15	100.0	
	ホオジロガモ	1	95	41.5	1	0.4	6	2.6	76	33.2	0	—	0	—	51	22.3	229	100.0	
	ミコアイサ	10	35	38.0	0	—	4	4.3	43	46.7	0	—	1	1.1	9	9.8	92	100.0	
	ウミアイサ	1	84	33.6	2	0.8	3	1.2	56	22.4	1	0.4	3	1.2	101	40.4	250	100.0	
カワアイサ	10	55	40.7	2	1.5	0	—	43	31.9	0	—	0	—	35	25.9	135	100.0		
カモ類合計		1	1,388	21.3	52	0.8	134	2.1	2,320	35.6	54	0.8	127	1.9	2,447	37.5	6,522	100.0	

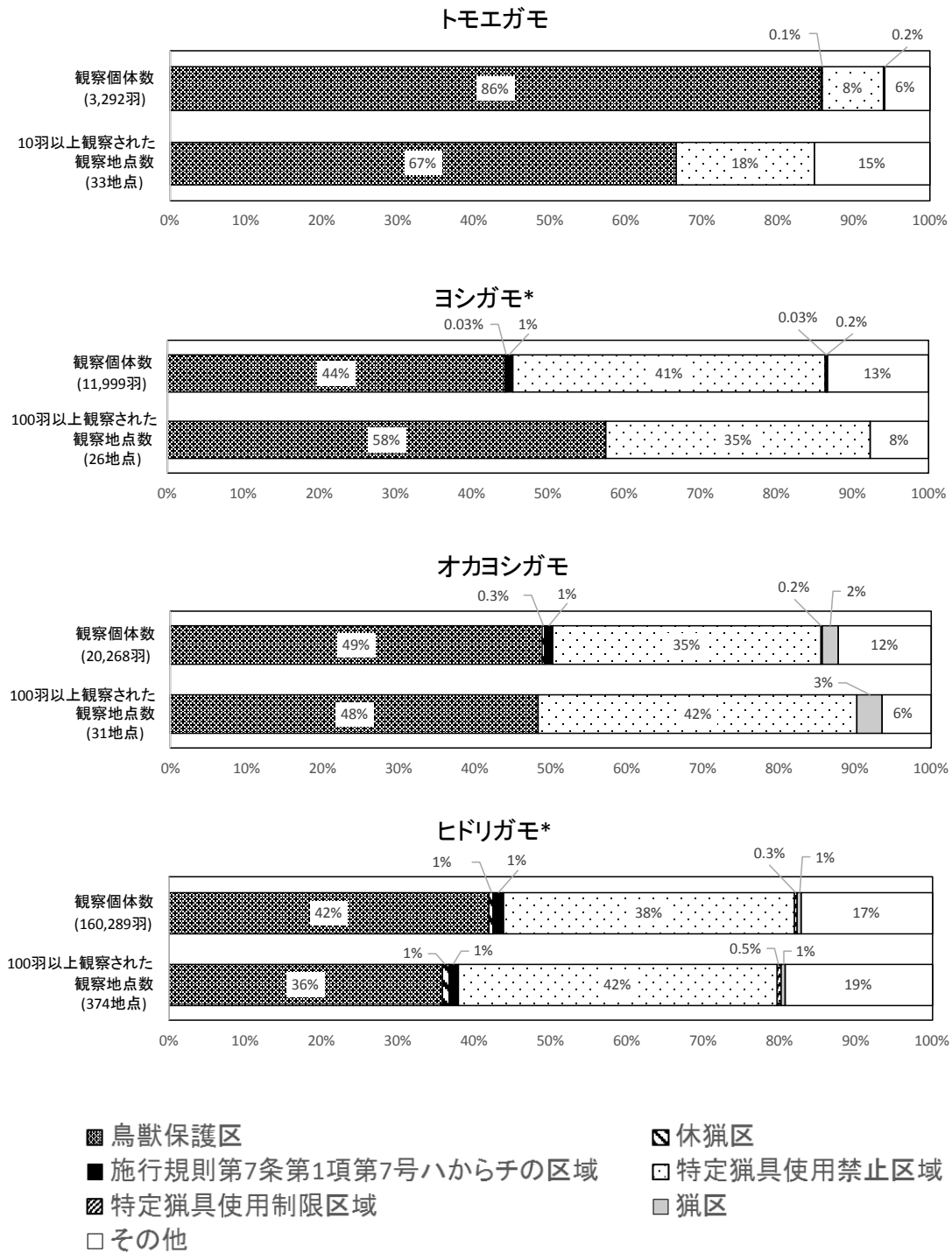
*注：各項目別の観察個体数に下限を設定した観察地点数を表す。

【備考】項目内割合は、各行の項目の合計に対する法指定区域別の構成比を示す。



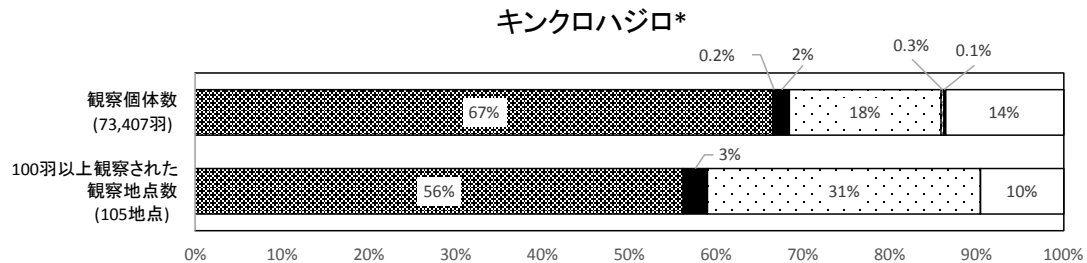
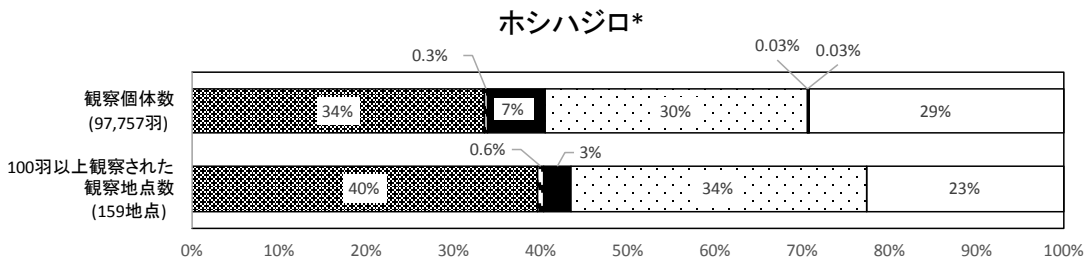
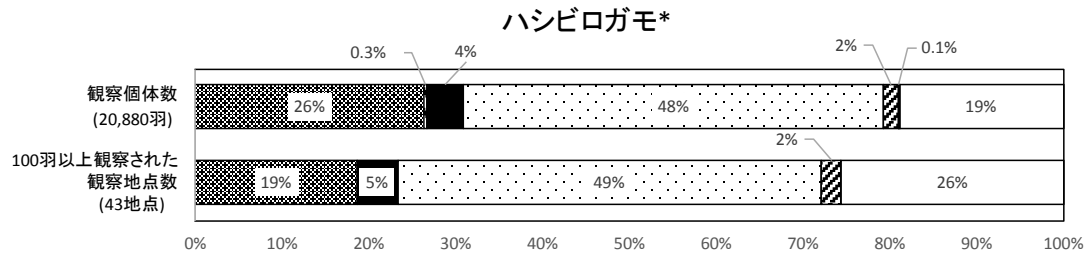
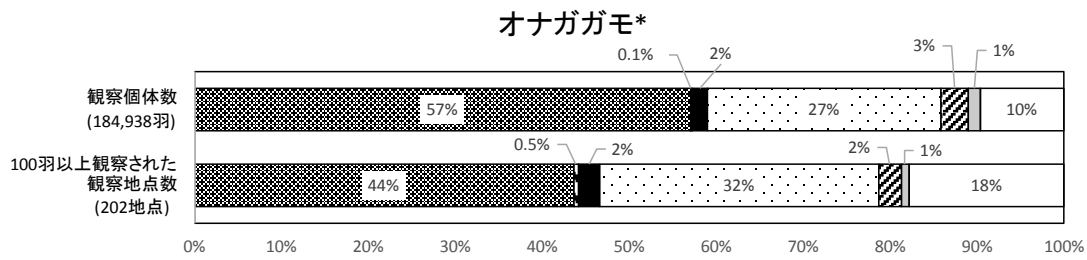
* : 狩猟鳥獣に指定された種を示す

図 2-4-3(1) 法指定区域別のカモ類の観察状況



*：狩猟鳥獣に指定された種を示す

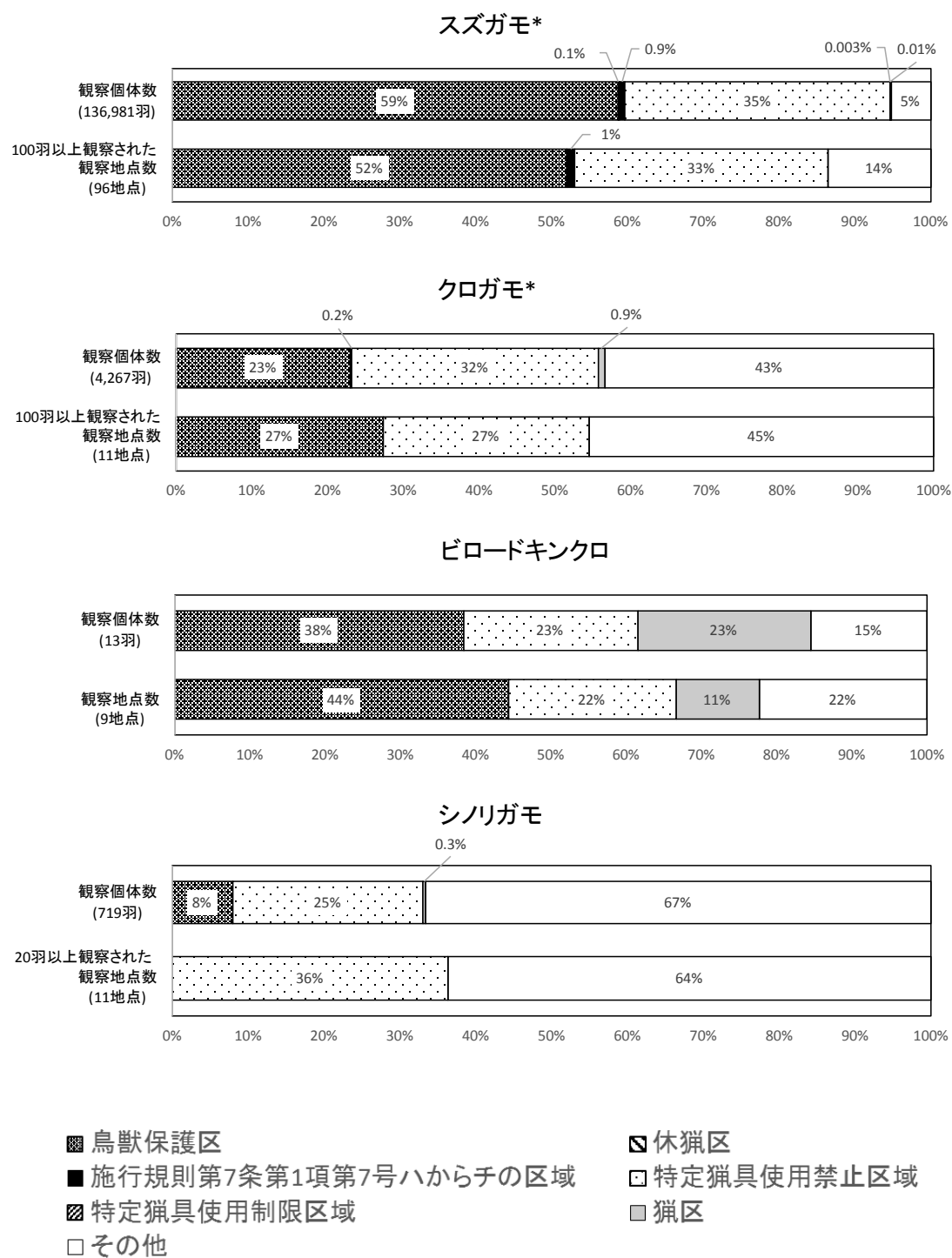
図 2-4-3(2) 法指定区域別のカモ類の観察状況



- 鳥獣保護区
- 施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域
- ▨ 特定猟具使用制限区域
- その他
- ▩ 休猟区
- 特定猟具使用禁止区域
- 猟区

* : 狩猟鳥獣に指定された種を示す

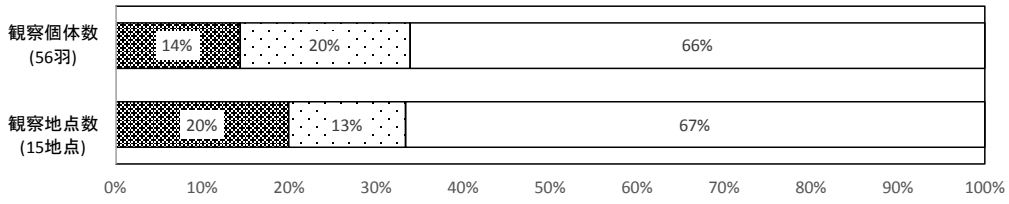
図 2-4-3(3) 法指定区域別のカモ類の観測状況



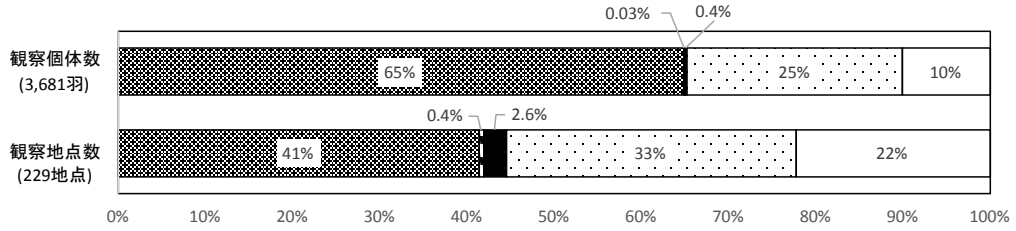
*：狩猟鳥獣に指定された種を示す

図 2-4-3(4) 法指定区域別のカモ類の観察状況

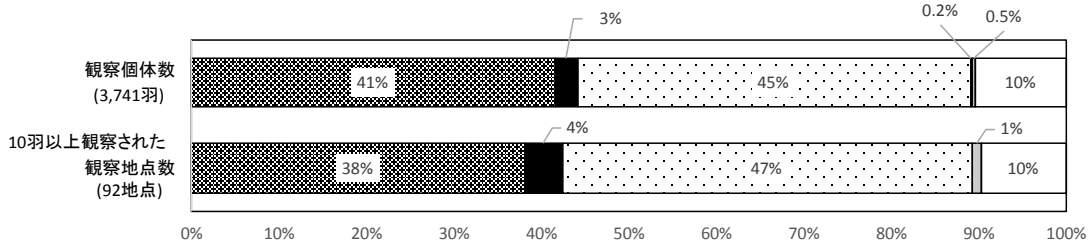
コオリガモ



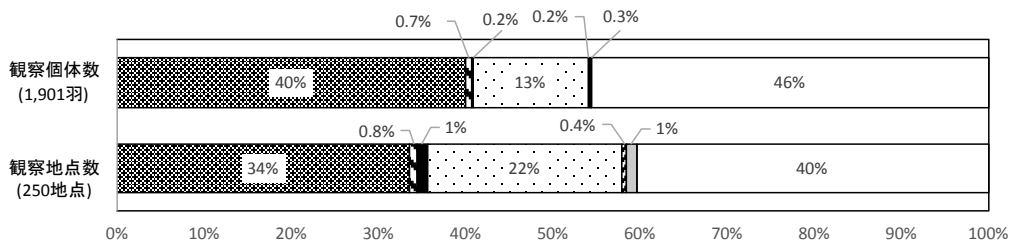
ホオジロガモ



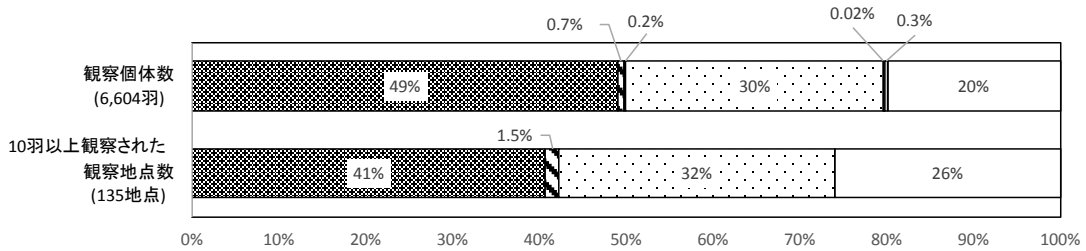
ミコアイサ



ウミアイサ



カワアイサ



- 鳥獣保護区
- 休猟区
- 施行規則第7条第1項第7号ハからチの区域
- 特定猟具使用制限区域
- 特定猟具使用禁止区域
- 猟区
- その他

図 2-4-3(5) 法指定区域別のカモ類の観察状況

表 2-4-4 法指定区域別のカモ類の観察地点数（都道府県別）

都道府県	法指定区域等													観察地点数	
	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条第1項第7号八からテの区域		特定猟具使用禁止区域		特定猟具使用制限区域		猟区		その他の区域		
	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数		都道府県内割合(%)
北海道	21	16.0	0	—	4	3.1	24	18.3	0	—	1	0.8	81	61.8	131
青森県	33	22.9	0	—	4	2.8	25	17.4	0	—	2	1.4	80	55.6	144
岩手県	32	13.8	0	—	0	—	99	42.7	1	0.4	0	—	100	43.1	232
宮城県	97	30.0	7	2.2	0	—	48	14.9	28	8.7	6	1.9	137	42.4	323
秋田県	49	30.2	0	—	0	—	23	14.2	0	—	26	16.0	64	39.5	162
山形県	23	11.3	1	0.5	4	2.0	75	36.9	1	0.5	6	3.0	93	45.8	203
福島県	52	22.0	0	—	19	8.1	67	28.4	1	0.4	0	—	97	41.1	236
茨城県	28	66.7	0	—	0	—	10	23.8	0	—	0	—	4	9.5	42
栃木県	16	47.1	0	—	0	—	12	35.3	3	8.8	1	2.9	2	5.9	34
群馬県	16	21.6	1	1.4	0	—	49	66.2	0	—	0	—	8	10.8	74
埼玉県	28	19.2	0	—	1	0.7	111	76.0	2	1.4	0	—	4	2.7	146
千葉県	56	22.0	0	—	1	0.4	145	57.1	0	—	10	3.9	42	16.5	254
東京都	38	56.7	0	—	16	23.9	13	19.4	0	—	0	—	0	—	67
神奈川県	50	27.0	0	—	2	1.1	111	60.0	0	—	3	1.6	19	10.3	185
新潟県	12	54.5	0	—	0	—	4	18.2	0	—	0	—	6	27.3	22
富山県	6	37.5	0	—	0	—	6	37.5	0	—	0	—	4	25.0	16
石川県	4	36.4	0	—	0	—	6	54.5	0	—	0	—	1	9.1	11
福井県	9	60.0	0	—	0	—	5	33.3	0	—	0	—	1	6.7	15
山梨県	10	17.2	1	1.7	0	—	24	41.4	0	—	0	—	23	39.7	58
長野県	19	10.3	0	—	7	3.8	50	27.0	2	1.1	0	—	107	57.8	185
岐阜県	23	20.0	1	0.9	0	—	58	50.4	0	—	0	—	33	28.7	115
静岡県	42	31.1	0	—	0	—	31	23.0	0	—	0	—	62	45.9	135
愛知県	23	18.9	0	—	3	2.5	80	65.6	0	—	0	—	16	13.1	122
三重県	64	27.0	2	0.8	3	1.3	68	28.7	0	—	0	—	100	42.2	237
滋賀県	79	47.3	0	—	0	—	53	31.7	0	—	0	—	35	21.0	167
京都府	40	28.8	0	—	0	—	75	54.0	0	—	1	0.7	23	16.5	139
大阪府	19	4.9	0	—	52	13.5	266	69.1	11	2.9	1	0.3	36	9.4	385
兵庫県	38	18.4	0	—	0	—	155	75.2	0	—	0	—	13	6.3	206
奈良県	3	2.7	0	—	6	5.5	99	90.0	0	—	0	—	2	1.8	110
和歌山県	53	34.6	0	—	0	—	29	19.0	0	—	0	—	71	46.4	153
鳥取県	4	36.4	0	—	0	—	7	63.6	0	—	0	—	0	—	11
島根県	33	20.4	1	0.6	0	—	47	29.0	0	—	0	—	81	50.0	162
岡山県	6	40.0	0	—	0	—	6	40.0	0	—	0	—	3	20.0	15
広島県	39	15.1	4	1.5	0	—	33	12.7	0	—	0	—	183	70.7	259
山口県	26	13.1	7	3.5	3	1.5	62	31.2	0	—	1	0.5	100	50.3	199
徳島県	20	27.8	0	—	0	—	39	54.2	0	—	13	18.1	0	—	72
香川県	13	8.0	2	1.2	0	—	65	40.1	0	—	0	—	82	50.6	162
愛媛県	18	10.0	6	3.3	0	—	55	30.6	0	—	0	—	101	56.1	180
高知県	18	34.0	0	—	0	—	19	35.8	0	—	0	—	16	30.2	53
福岡県	34	16.4	1	0.5	3	1.4	41	19.8	1	0.5	2	1.0	125	60.4	207
佐賀県	18	15.9	0	—	3	2.7	21	18.6	0	—	0	—	71	62.8	113
長崎県	17	39.5	1	2.3	0	—	10	23.3	0	—	0	—	15	34.9	43
熊本県	37	25.2	3	2.0	1	0.7	24	16.3	0	—	0	—	82	55.8	147
大分県	40	15.1	3	1.1	0	—	23	8.7	2	0.8	31	11.7	166	62.6	265
宮崎県	38	55.1	0	—	0	—	15	21.7	0	—	0	—	16	23.2	69
鹿児島県	25	14.0	5	2.8	2	1.1	32	17.9	2	1.1	23	12.8	90	50.3	179
沖縄県	19	24.7	6	7.8	0	—	0	—	0	—	0	—	52	67.5	77
合計	1,388	21.3	52	0.8	134	2.1	2,320	35.6	54	0.8	127	1.9	2,447	37.5	6,522

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、法指定区域別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-4-5 法指定区域別のカモ類の観察個体数（都道府県別）

都道府県	鳥獣保護区		休猟区		施行規則第7条 第1項第7号ハ から子の区域		特定猟具使用 禁止区域		特定猟具使用 制限区域		猟区		その他の区域		合計 観察個体数 (羽)
	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	観察個体 数(羽)	都道府 県内割 合(%)	
北海道	4,689	42.7	0	—	142	1.3	1,121	10.2	0	—	26	0.2	5,010	45.6	10,988
青森県	3,293	41.0	0	—	343	4.3	1,662	20.7	0	—	123	1.5	2,601	32.4	8,022
岩手県	5,241	19.8	0	—	0	—	12,965	49.1	6	0.0	0	—	8,216	31.1	26,428
宮城県	17,776	32.0	493	0.9	0	—	13,200	23.8	12,822	23.1	833	1.5	10,399	18.7	55,523
秋田県	16,816	61.0	0	—	0	—	6,678	24.2	0	—	1,292	4.7	2,764	10.0	27,550
山形県	47,602	54.1	4	0.0	1,746	2.0	31,720	36.0	30	0.0	264	0.3	6,669	7.6	88,035
福島県	13,225	29.8	0	—	4,831	10.9	13,568	30.5	71	0.2	0	—	12,734	28.7	44,429
茨城県	114,680	81.2	0	—	0	—	25,273	17.9	0	—	0	—	1,300	0.9	141,253
栃木県	13,652	67.3	0	—	0	—	3,863	19.0	486	2.4	1,871	9.2	414	2.0	20,286
群馬県	5,301	39.1	11	0.1	0	—	6,640	49.0	0	—	0	—	1,597	11.8	13,549
埼玉県	6,151	21.2	0	—	117	0.4	21,057	72.6	876	3.0	0	—	791	2.7	28,992
千葉県	41,941	40.0	0	—	350	0.3	58,112	55.4	0	—	316	0.3	4,196	4.0	104,915
東京都	7,536	64.9	0	—	1,591	13.7	2,492	21.4	0	—	0	—	0	—	11,619
神奈川県	3,594	38.9	0	—	82	0.9	4,540	49.1	0	—	112	1.2	922	10.0	9,250
新潟県	73,041	79.5	0	—	0	—	17,771	19.3	0	—	0	—	1,092	1.2	91,904
富山県	8,107	44.6	0	—	0	—	7,387	40.6	0	—	0	—	2,693	14.8	18,187
石川県	35,824	59.3	0	—	0	—	24,577	40.7	0	—	0	—	36	0.1	60,437
福井県	16,425	61.7	0	—	0	—	9,729	36.5	0	—	0	—	471	1.8	26,625
山梨県	964	31.7	12	0.4	0	—	1,636	53.9	0	—	0	—	426	14.0	3,038
長野県	1,872	10.7	0	—	1,139	6.5	6,041	34.4	142	0.8	0	—	8,381	47.7	17,575
岐阜県	4,473	15.4	24	0.1	0	—	17,834	61.4	0	—	0	—	6,731	23.2	29,062
静岡県	16,633	57.5	0	—	0	—	7,297	25.2	0	—	0	—	4,981	17.2	28,911
愛知県	12,883	35.0	0	—	245	0.7	17,635	47.9	0	—	0	—	6,055	16.4	36,818
三重県	10,041	26.5	138	0.4	203	0.5	15,196	40.1	0	—	0	—	12,292	32.5	37,870
滋賀県	82,335	88.6	0	—	0	—	7,651	8.2	0	—	0	—	2,923	3.1	92,909
京都府	9,848	47.2	0	—	0	—	8,224	39.4	0	—	44	0.2	2,743	13.2	20,859
大阪府	1,767	4.8	0	—	10,337	28.2	21,597	59.0	594	1.6	38	0.1	2,303	6.3	36,636
兵庫県	11,199	22.5	0	—	0	—	36,320	73.0	0	—	0	—	2,205	4.4	49,724
奈良県	294	1.6	0	—	1,116	6.0	16,581	88.8	0	—	0	—	683	3.7	18,674
和歌山県	3,831	37.9	0	—	0	—	3,905	38.6	0	—	0	—	2,375	23.5	10,111
鳥取県	11,960	63.7	0	—	0	—	6,830	36.3	0	—	0	—	0	—	18,790
島根県	77,968	92.2	25	0.0	0	—	3,802	4.5	0	—	0	—	2,803	3.3	84,598
岡山県	7,560	45.0	0	—	0	—	7,200	42.9	0	—	0	—	2,029	12.1	16,789
広島県	10,229	29.5	934	2.7	0	—	7,894	22.8	0	—	0	—	15,623	45.0	34,680
山口県	2,634	13.7	534	2.8	55	0.3	10,320	53.7	0	—	23	0.1	5,664	29.5	19,230
徳島県	6,589	27.8	0	—	0	—	14,936	63.1	0	—	2,146	9.1	0	—	23,671
香川県	1,646	7.6	102	0.5	0	—	12,696	58.7	0	—	0	—	7,180	33.2	21,624
愛媛県	11,246	35.9	90	0.3	0	—	7,773	24.8	0	—	0	—	12,208	39.0	31,317
高知県	18,957	61.0	0	—	0	—	11,044	35.5	0	—	0	—	1,080	3.5	31,081
福岡県	6,937	29.1	98	0.4	125	0.5	6,000	25.2	62	0.3	64	0.3	10,534	44.2	23,820
佐賀県	1,767	4.4	0	—	320	0.8	2,884	7.2	0	—	0	—	35,305	87.7	40,276
長崎県	26,787	76.2	90	0.3	0	—	1,906	5.4	0	—	0	—	6,353	18.1	35,136
熊本県	8,041	35.4	199	0.9	586	2.6	1,467	6.5	0	—	0	—	12,391	54.6	22,684
大分県	4,706	28.8	70	0.4	0	—	3,404	20.8	31	0.2	804	4.9	7,316	44.8	16,331
宮崎県	16,411	74.6	0	—	0	—	4,450	20.2	0	—	0	—	1,129	5.1	21,990
鹿児島県	11,489	42.5	313	1.2	530	2.0	7,943	29.4	104	0.4	1,015	3.8	5,608	20.8	27,002
沖縄県	867	49.1	126	7.1	0	—	0	—	0	—	0	—	771	43.7	1,764
合計	816,828	49.8	3,263	0.2	23,858	1.5	532,821	32.5	15,224	0.9	8,971	0.5	239,997	14.6	1,640,962

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、法指定区域別の構成比を示す。

4.4 地況別の観察状況

河川や湖沼等の地況別の観察状況を表2-4-6～表2-4-8及び図2-4-4(1)～(6)に示した。

海岸で観察個体数の割合が多かったのが、海ガモ類のクロガモ、ビロードキンクロ、シノリガモ、コオリガモ、ウミアイサでいずれも50%以上であった。

河川で観察個体数の割合が多かったのが、淡水ガモ類のカルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモで25%以上の割合を占めており、海ガモ類ではカワアイサが40%以上の割合を占めていた。

ダム湖での観察個体数の割合は、淡水ガモ類のオシドリが52.1%、次にトモエガモが19.7%の割合を占めており、オシドリは他と比べ際立って高い値を示した。淡水ガモ類の他の種はいずれも10%以下の割合であった。海ガモ類ではカワアイサが10%以上の割合を占めていた。

その他人造湖で観察個体数の割合が多かったのが、淡水ガモ類のハシビロガモ、海ガモ類のミコアイサでいずれも60.0%以上の割合であった。

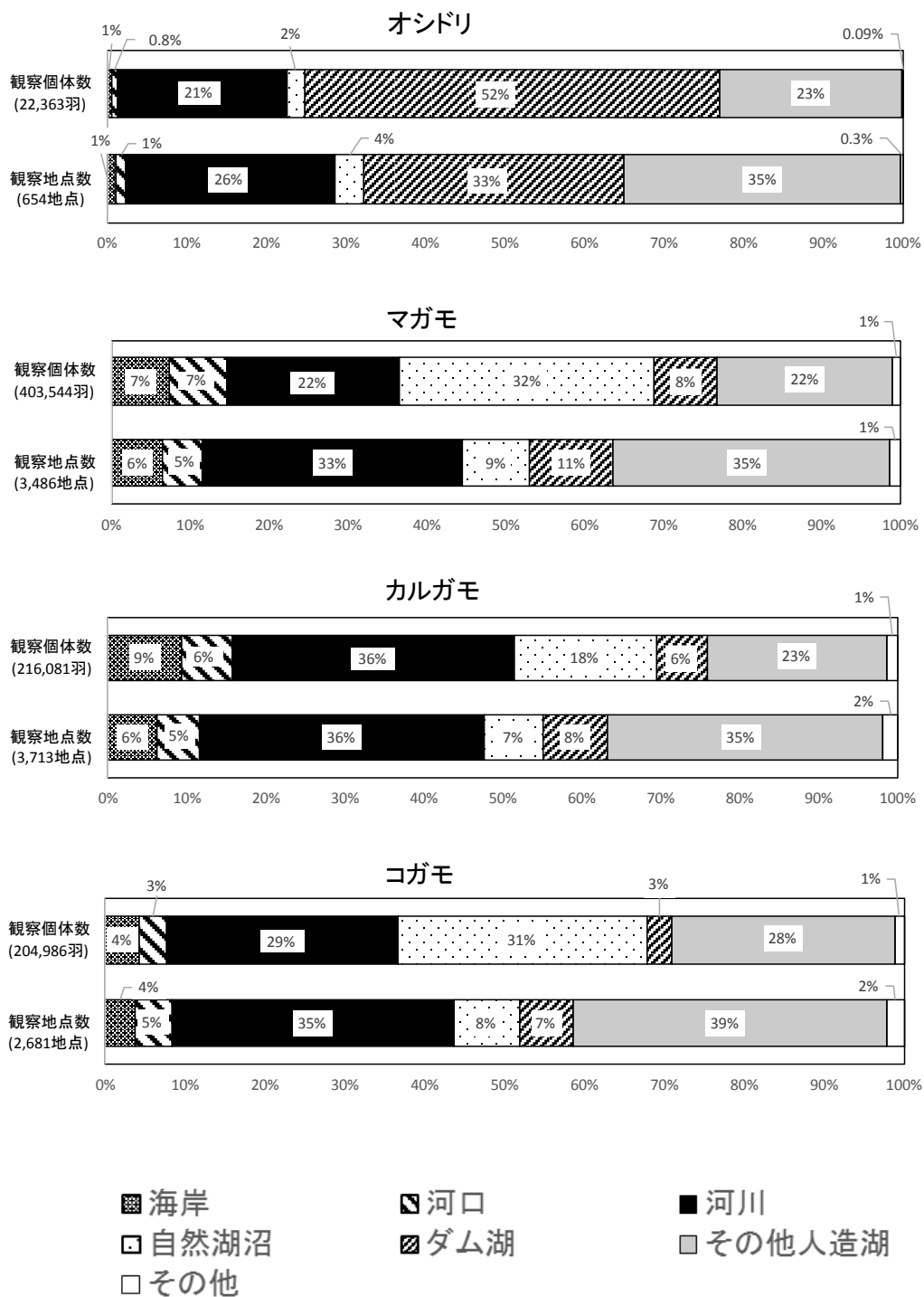


図 2-4-4(1) 地況別のカモ類の観察状況

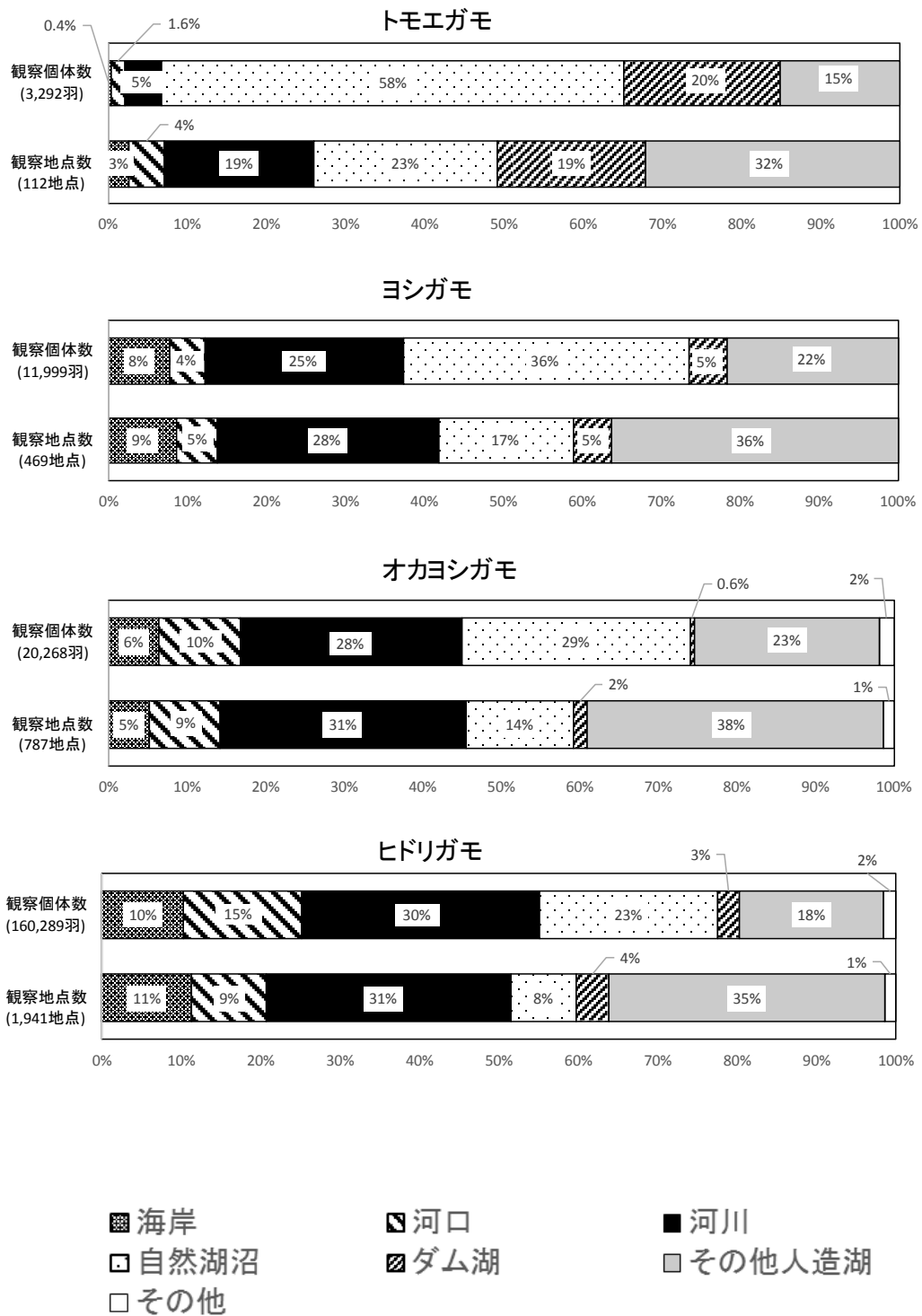


図 2-4-4(2) 地況別のカモ類の観察状況

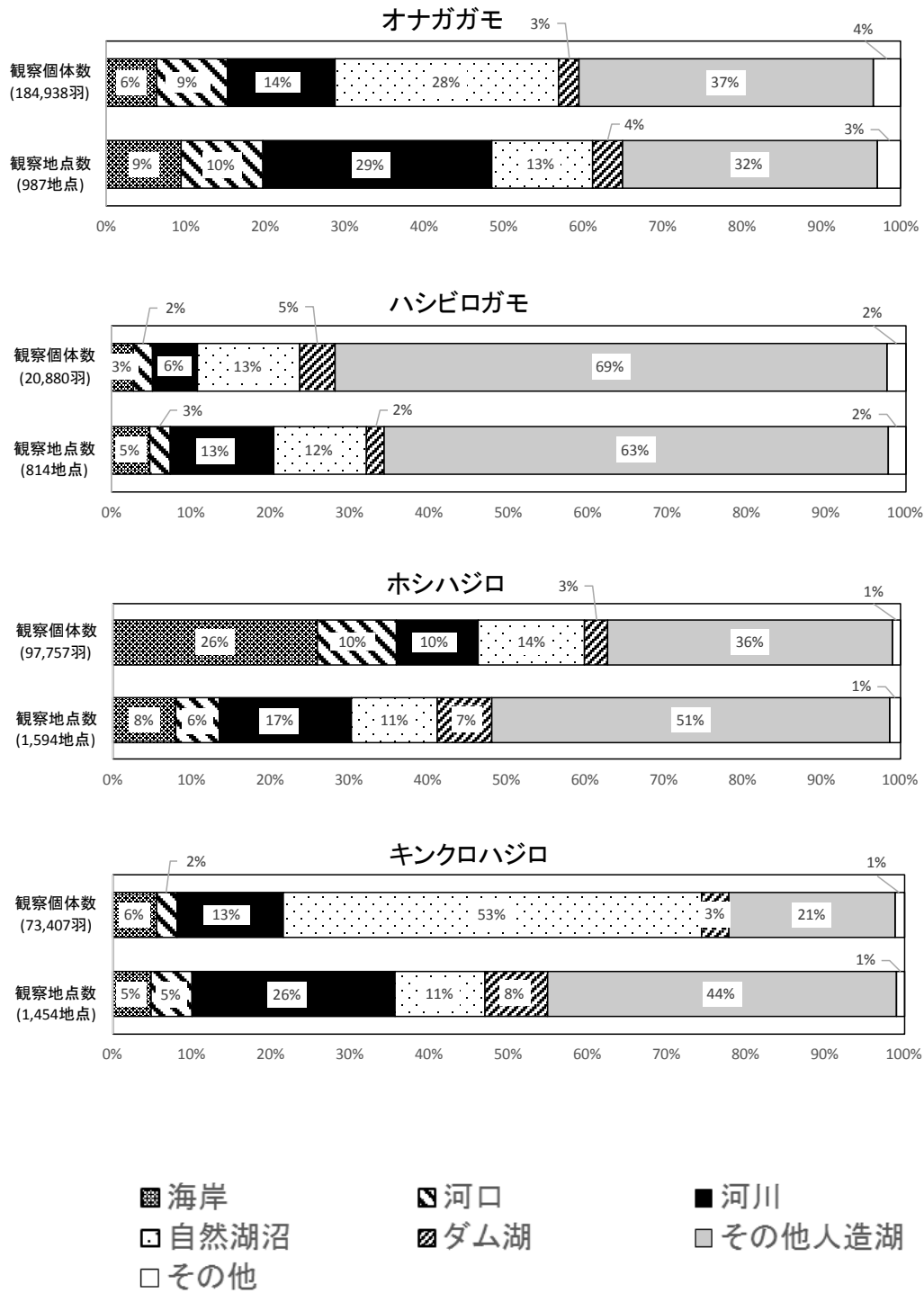


図 2-4-4(3) 地況別のカモ類の観察状況

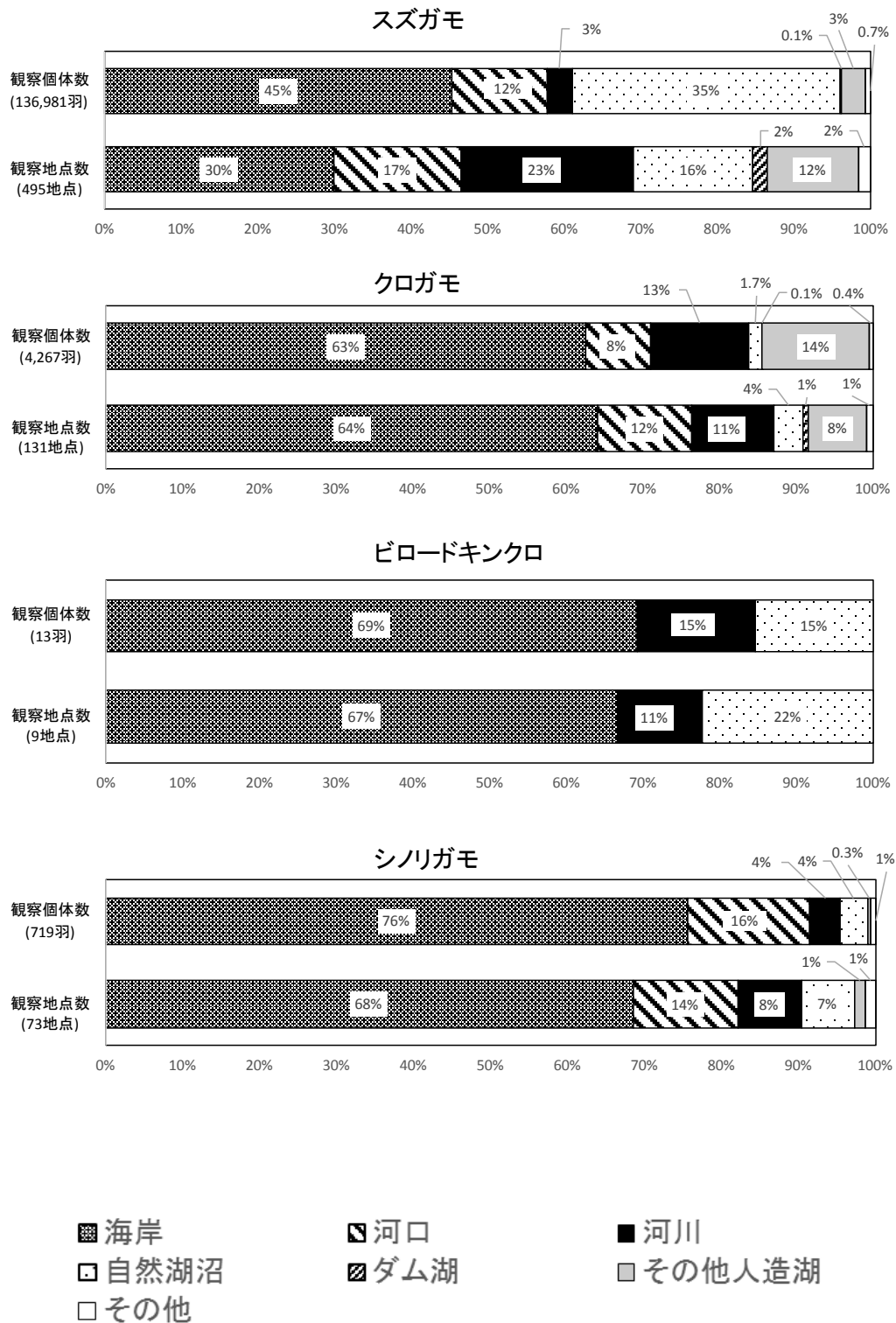
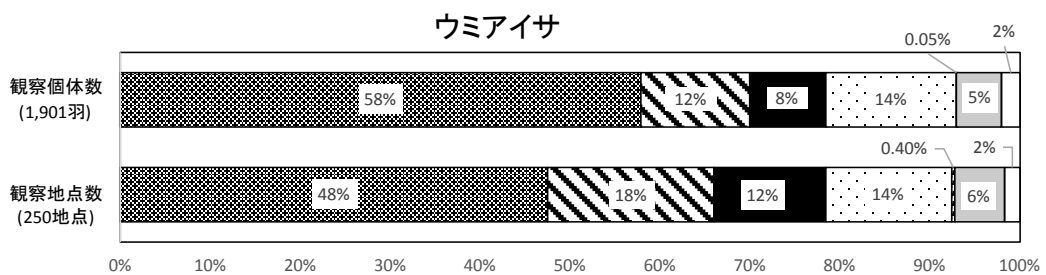
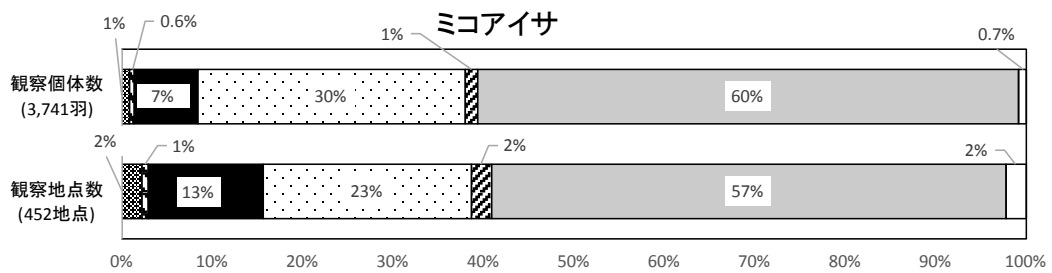
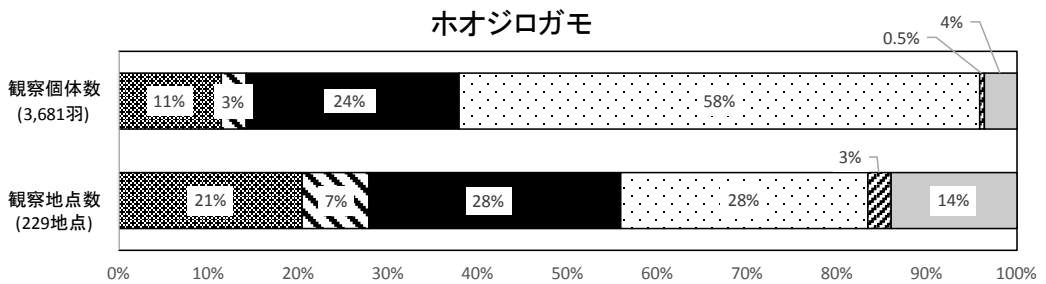
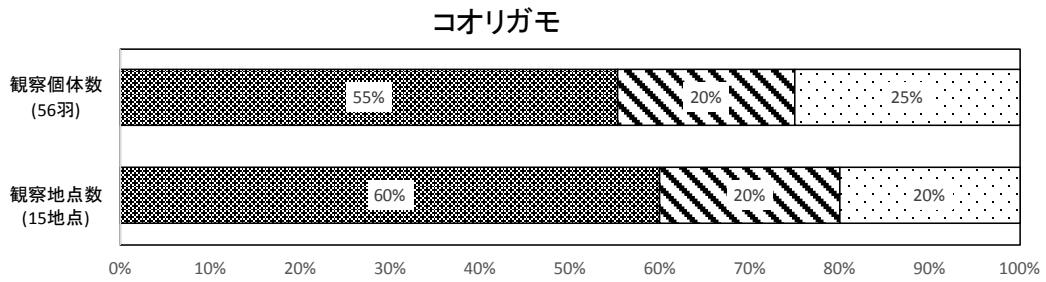


図 2-4-4(4) 地況別のカモ類の観察状況



- 海岸
- 河口
- 河川
- 自然湖沼
- ダム湖
- その他人造湖
- その他

図 2-4-4(5) 地況別のカモ類の観察状況

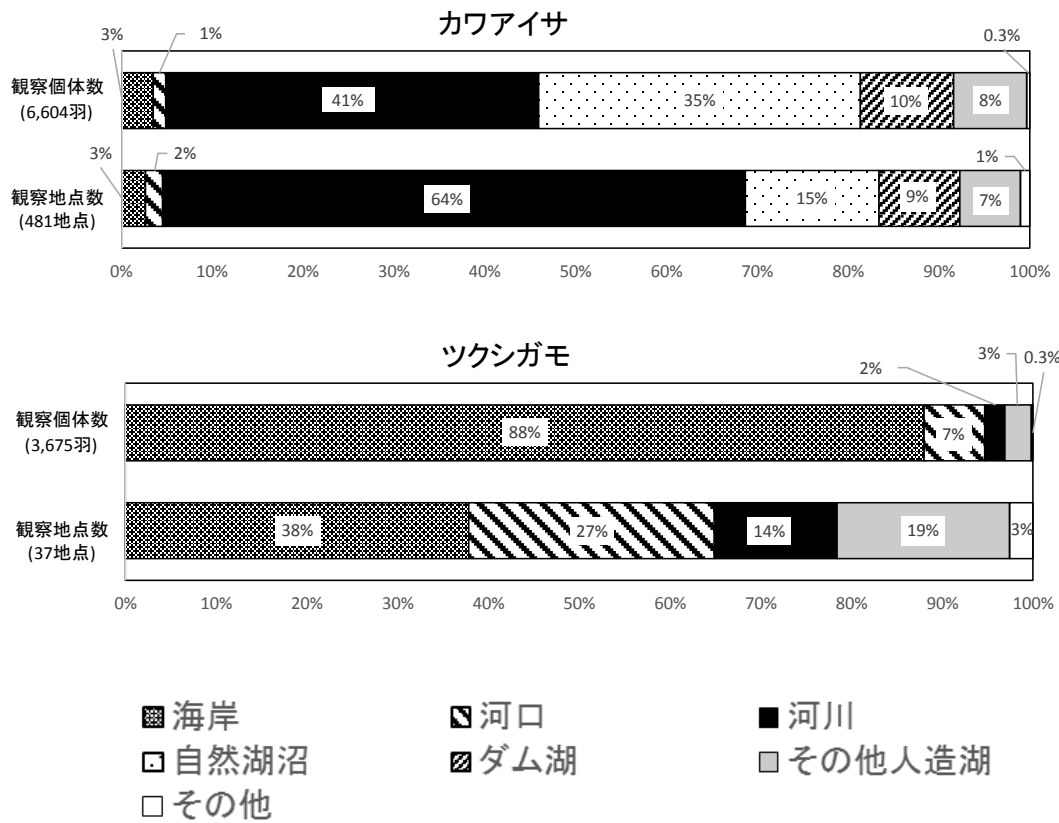


図 2-4-4(6) 地況別のカモ類の観察状況

表 2-4-7 地況別のカモ類観察地点数（都道府県別）

都道府県	地況														合計
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		
	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	観察地点数	都道府県内割合(%)	
北海道	76	58.0	8	6.1	27	20.6	19	14.5	0	—	0	—	1	0.8	131
青森県	63	43.8	5	3.5	50	34.7	19	13.2	2	1.4	5	3.5	0	—	144
岩手県	16	6.9	22	9.5	153	65.9	5	2.2	16	6.9	20	8.6	0	—	232
宮城県	41	12.7	7	2.2	131	40.6	26	8.0	24	7.4	70	21.7	24	7.4	323
秋田県	26	16.0	5	3.1	81	50.0	14	8.6	8	4.9	23	14.2	5	3.1	162
山形県	3	1.5	4	2.0	149	73.4	7	3.4	17	8.4	21	10.3	2	1.0	203
福島県	9	3.8	4	1.7	92	39.0	26	11.0	26	11.0	72	30.5	7	3.0	236
茨城県	4	9.5	1	2.4	4	9.5	11	26.2	6	14.3	16	38.1	0	—	42
栃木県	0	—	0	—	3	8.8	2	5.9	7	20.6	21	61.8	1	2.9	34
群馬県	0	—	0	—	26	35.1	9	12.2	14	18.9	24	32.4	1	1.4	74
埼玉県	0	—	0	—	63	43.2	6	4.1	6	4.1	71	48.6	0	—	146
千葉県	6	2.4	12	4.7	44	17.3	8	3.1	30	11.8	146	57.5	8	3.1	254
東京都	4	6.0	1	1.5	30	44.8	3	4.5	4	6.0	25	37.3	0	—	67
神奈川県	19	10.3	10	5.4	106	57.3	3	1.6	5	2.7	41	22.2	1	0.5	185
新潟県	1	4.5	0	—	7	31.8	6	27.3	0	—	7	31.8	1	4.5	22
富山県	1	6.3	3	18.8	4	25.0	1	6.3	0	—	5	31.3	2	12.5	16
石川県	2	18.2	0	—	2	18.2	6	54.5	1	9.1	0	—	0	—	11
福井県	2	13.3	0	—	5	33.3	7	46.7	0	—	1	6.7	0	—	15
山梨県	0	—	0	—	31	53.4	6	10.3	5	8.6	16	27.6	0	—	58
長野県	0	—	0	—	102	55.1	7	3.8	32	17.3	43	23.2	1	0.5	185
岐阜県	0	—	0	—	68	59.1	1	0.9	18	15.7	27	23.5	1	0.9	115
静岡県	8	5.9	13	9.6	49	36.3	23	17.0	6	4.4	36	26.7	0	—	135
愛知県	9	7.4	6	4.9	33	27.0	1	0.8	7	5.7	65	53.3	1	0.8	122
三重県	16	6.8	33	13.9	37	15.6	9	3.8	11	4.6	130	54.9	1	0.4	237
滋賀県	0	—	2	1.2	16	9.6	91	54.5	8	4.8	50	29.9	0	—	167
京都府	7	5.0	2	1.4	72	51.8	6	4.3	4	2.9	48	34.5	0	—	139
大阪府	8	2.1	6	1.6	51	13.2	17	4.4	2	0.5	299	77.7	2	0.5	385
兵庫県	6	2.9	16	7.8	24	11.7	0	—	9	4.4	150	72.8	1	0.5	206
奈良県	0	—	0	—	8	7.3	0	—	11	10.0	91	82.7	0	—	110
和歌山県	9	5.9	10	6.5	45	29.4	6	3.9	9	5.9	72	47.1	2	1.3	153
鳥取県	1	9.1	0	—	4	36.4	6	54.5	0	—	0	—	0	—	11
島根県	0	—	10	6.2	83	51.2	22	13.6	21	13.0	24	14.8	2	1.2	162
岡山県	1	6.7	1	6.7	3	20.0	0	—	4	26.7	3	20.0	3	20.0	15
広島県	32	12.4	7	2.7	53	20.5	0	—	27	10.4	135	52.1	5	1.9	259
山口県	33	16.6	13	6.5	47	23.6	0	—	25	12.6	78	39.2	3	1.5	199
徳島県	13	18.1	3	4.2	33	45.8	3	4.2	7	9.7	13	18.1	0	—	72
香川県	30	18.5	13	8.0	15	9.3	0	—	10	6.2	92	56.8	2	1.2	162
愛媛県	19	10.6	14	7.8	23	12.8	3	1.7	10	5.6	108	60.0	3	1.7	180
高知県	4	7.5	11	20.8	16	30.2	6	11.3	10	18.9	6	11.3	0	—	53
福岡県	12	5.8	15	7.2	40	19.3	10	4.8	30	14.5	96	46.4	4	1.9	207
佐賀県	23	20.4	12	10.6	13	11.5	0	—	8	7.1	53	46.9	4	3.5	113
長崎県	10	23.3	1	2.3	0	—	0	—	20	46.5	12	27.9	0	—	43
熊本県	22	15.0	11	7.5	64	43.5	12	8.2	16	10.9	19	12.9	3	2.0	147
大分県	34	12.8	11	4.2	104	39.2	6	2.3	22	8.3	85	32.1	3	1.1	265
宮崎県	4	5.8	9	13.0	31	44.9	3	4.3	14	20.3	8	11.6	0	—	69
鹿児島県	13	7.3	17	9.5	68	38.0	27	15.1	31	17.3	17	9.5	6	3.4	179
沖縄県	1	1.3	4	5.2	7	9.1	4	5.2	13	16.9	35	45.5	13	16.9	77
合計	588	9.0	322	4.9	2,117	32.5	447	6.9	556	8.5	2,379	36.5	113	1.7	6,522

【備考】都道府県内割合は、各都道府県内での観察地点数の、地況別の構成比を示す。
観察地点数の合計は、種別の観察地点数の単純合計ではない(重複地点を除いている)。

表 2-4-8 地況別のカモ類観察個体数（都道府県別）

都道府県	地況														合計
	海岸		河口		河川		自然湖沼		ダム湖		その他人造湖		その他		
	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	観察個体数(羽)	都道府県内割合(%)	
北海道	4,059	36.9	669	6.1	1,442	13.1	4,772	43.4	0	—	0	—	46	0.4	10,988
青森県	2,451	30.6	31	0.4	2,630	32.8	1,465	18.3	180	2.2	1,265	15.8	0	—	8,022
岩手県	1,442	5.5	2,583	9.8	14,500	54.9	608	2.3	3,006	11.4	4,289	16.2	0	—	26,428
宮城県	4,626	8.3	1,059	1.9	22,335	40.2	7,312	13.2	5,094	9.2	12,228	22.0	2,869	5.2	55,523
秋田県	3,027	11.0	555	2.0	2,930	10.6	7,490	27.2	602	2.2	11,580	42.0	1,366	5.0	27,550
山形県	4,128	4.7	6,220	7.1	26,924	30.6	17,926	20.4	7,780	8.8	24,921	28.3	136	0.2	88,035
福島県	5,220	11.7	1,867	4.2	11,203	25.2	4,876	11.0	8,955	20.2	11,767	26.5	541	1.2	44,429
茨城県	1,290	0.9	657	0.5	5,601	4.0	103,620	73.4	2,723	1.9	27,362	19.4	0	—	141,253
栃木県	0	—	0	—	232	1.1	60	0.3	1,982	9.8	16,141	79.6	1,871	9.2	20,286
群馬県	0	—	0	—	3,558	26.3	4,522	33.4	1,808	13.3	3,593	26.5	68	0.5	13,549
埼玉県	0	—	0	—	12,542	43.3	1,405	4.8	339	1.2	14,706	50.7	0	—	28,992
千葉県	24,318	23.2	3,475	3.3	18,370	17.5	14,494	13.8	6,034	5.8	33,923	32.3	4,301	4.1	104,915
東京都	1,583	13.6	264	2.3	4,918	42.3	152	1.3	204	1.8	4,498	38.7	0	—	11,619
神奈川県	1,172	12.7	372	4.0	4,507	48.7	142	1.5	914	9.9	2,121	22.9	22	0.2	9,250
新潟県	4,610	5.0	0	—	14,191	15.4	48,102	52.3	0	—	24,994	27.2	7	0.0	91,904
富山県	2,187	12.0	1,267	7.0	2,436	13.4	820	4.5	0	—	9,305	51.2	2,172	11.9	18,187
石川県	8,546	14.1	0	—	1,541	2.5	50,314	83.3	36	0.1	0	—	0	—	60,437
福井県	2,729	10.2	0	—	8,024	30.1	14,181	53.3	0	—	1,691	6.4	0	—	26,625
山梨県	0	—	0	—	1,127	37.1	791	26.0	351	11.6	769	25.3	0	—	3,038
長野県	0	—	0	—	8,516	48.5	2,233	12.7	3,182	18.1	3,638	20.7	6	0.0	17,575
岐阜県	0	—	0	—	24,251	83.4	15	0.1	1,488	5.1	2,906	10.0	402	1.4	29,062
静岡県	337	1.2	6,300	21.8	6,299	21.8	11,267	39.0	678	2.3	4,030	13.9	0	—	28,911
愛知県	14,325	38.9	3,740	10.2	7,446	20.2	1,771	4.8	775	2.1	8,567	23.3	194	0.5	36,818
三重県	5,793	15.3	12,316	32.5	3,795	10.0	430	1.1	4,355	11.5	11,153	29.5	28	0.1	37,870
滋賀県	0	—	42	0.0	2,268	2.4	84,024	90.4	536	0.6	6,039	6.5	0	—	92,909
京都府	2,801	13.4	2,191	10.5	8,904	42.7	738	3.5	1,136	5.4	5,089	24.4	0	—	20,859
大阪府	1,065	2.9	363	1.0	7,532	20.6	921	2.5	293	0.8	26,409	72.1	53	0.1	36,636
兵庫県	4,944	9.9	19,735	39.7	10,441	21.0	0	—	1,147	2.3	13,244	26.6	213	0.4	49,724
奈良県	0	—	0	—	2,719	14.6	0	—	2,094	11.2	13,861	74.2	0	—	18,674
和歌山県	303	3.0	2,093	20.7	3,092	30.6	313	3.1	599	5.9	3,667	36.3	44	0.4	10,111
鳥取県	3,599	19.2	0	—	6,648	35.4	8,543	45.5	0	—	0	—	0	—	18,790
島根県	0	—	1,719	2.0	5,905	7.0	75,239	88.9	1,128	1.3	493	0.6	114	0.1	84,598
岡山県	343	2.0	899	5.4	4,986	29.7	0	—	571	3.4	7,065	42.1	2,925	17.4	16,789
広島県	7,159	20.6	3,323	9.6	12,750	36.8	0	—	1,702	4.9	8,321	24.0	1,425	4.1	34,680
山口県	3,177	16.5	2,306	12.0	5,953	31.0	0	—	2,728	14.2	4,547	23.6	519	2.7	19,230
徳島県	3,423	14.5	1,271	5.4	16,148	68.2	294	1.2	504	2.1	2,031	8.6	0	—	23,671
香川県	1,372	6.3	3,692	17.1	2,937	13.6	0	—	595	2.8	12,324	57.0	704	3.3	21,624
愛媛県	3,001	9.6	11,155	35.6	3,173	10.1	305	1.0	2,900	9.3	10,546	33.7	237	0.8	31,317
高知県	6,484	20.9	10,271	33.0	5,926	19.1	2,404	7.7	4,811	15.5	1,185	3.8	0	—	31,081
福岡県	4,168	17.5	4,569	19.2	4,728	19.8	1,073	4.5	2,057	8.6	6,751	28.3	474	2.0	23,820
佐賀県	20,518	50.9	4,597	11.4	2,086	5.2	0	—	517	1.3	12,236	30.4	322	0.8	40,276
長崎県	28,739	81.8	210	0.6	0	—	0	—	3,504	10.0	2,683	7.6	0	—	35,136
熊本県	5,925	26.1	4,236	18.7	3,859	17.0	4,074	18.0	2,242	9.9	2,133	9.4	215	0.9	22,684
大分県	1,990	12.2	1,495	9.2	7,181	44.0	287	1.8	2,298	14.1	2,906	17.8	174	1.1	16,331
宮崎県	1,587	7.2	7,306	33.2	6,501	29.6	723	3.3	882	4.0	4,991	22.7	0	—	21,990
鹿児島県	331	1.2	2,898	10.7	14,271	52.9	6,418	23.8	1,286	4.8	878	3.3	920	3.4	27,002
沖縄県	5	0.3	164	9.3	55	3.1	213	12.1	579	32.8	500	28.3	248	14.1	1,764
合計	192,777	11.7	125,910	7.7	347,381	21.2	484,337	29.5	84,595	5.2	383,346	23.4	22,616	1.4	1,640,962

【備考】 都道府県内割合は、各都道府県内での観察個体数の、地況別の構成比を示す。

5. 希少なガンカモ類の観察状況

5.1 選定基準

本調査で観察された種のうち、各種法律や資料によってその希少性や学術的な価値の指摘されている種を希少なガンカモ類とし、その観察状況を整理した。希少なガンカモ類の選定は、「文化財保護法」、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」、環境省の鳥類レッドリスト2020及び国際自然保護連合(IUCN)のレッドリスト(2021年1月現在)の掲載種を対象とした。詳細な選定基準を表2-5-1に示した。

表 2-5-1 希少なガンカモ類の選定基準

No.	選定基準
1	「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)における国指定の天然記念物・特別天然記念物
2	「絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号)における国内希少野生動植物種・国際希少野生動植物種
3	「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」(平成4年法律第75号)における希少鳥獣
4	「[鳥類]環境省レッドリスト2020」の掲載種
5	「The IUCN Red List of Threatened Species」(www.iucnredlist.org)で指摘されている種のうち、絶滅危惧Ⅱ類(VU)以上に該当する種

5.2 希少なガンカモ類の観察状況

本調査で観察記録のある希少なガンカモ類と各カテゴリー及び令和元年度の調査での観察の有無を表2-5-2に示した。令和元年度の調査では、全国でガン類6種、カモ類9種の計15種の希少なガンカモ類が観察された。これらのうち、カリガネ、コオリガモ、ホシハジロ、コウライアイサは、世界的に個体数の減少が指摘されている種である。種別の観察個体数上位3地域を表2-5-3に示した。

表 2-5-2 日本産の希少なガンカモ類と令和元年度の観察種

種	確認状況	選定基準					
		1	2	3	4	5	
ガン類	コクガン	●	国天		○	VU	
	マガン	●	国天			NT	
	カリガネ	●				EN	VU
	ヒシクイ	●	国天		○	VU/NT	
	ハクガン	●				CR	
	サカツラガン					DD	VU
	シジュウカラガン	●		国内	○	CR	
カモ類	アカツクシガモ	●				DD	
	ツクシガモ	●			○	VU	
	オシドリ	●				DD	
	トモエガモ	●			○	VU	
	ビロードキンクロ	●					VU
	コオリガモ	●					VU
	ホシハジロ	●					VU
	アカハジロ	●				DD	CR
	コケワタガモ	×					VU
	コウライアイサ	●		国際			EN

【備考】

- ・選定基準の1～5は表2-5-1のNo. 1～5に対応する。
- ・以下各基準のカテゴリー
 基準1 国天：国指定天然記念物 特天：国指定特別天然記念物
 基準2 国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
 基準4、5 EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 I A類 EN：絶滅危惧 I B類
 VU：絶滅危惧 II類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ・確認状況の●は本年度に観察された種、×は最近15年間に観察記録がない種を示す。
- ・注：ヒシクイはVU、オオヒシクイはNT

表 2-5-3 希少なガンカモ類の観察個体数上位 3 地域

分類群	種名	観察 地点数	観察個体数 合計(羽)	観察個体数上位3地域	
				観察地域	観察個体数 (羽)
ガン類	シジュウカラガン	10	1,945	宮城県 化女沼	1,625
				秋田県 大潟村干拓地	219
				宮城県 蕪栗沼	77
	コクガン	52	1,562	北海道 琵琶瀬湾	380
				宮城県 蒲生	148
				青森県 東滝	108
	マガン	58	280,316	宮城県 蕪栗沼	141,187
				宮城県 伊豆沼内沼	83,678
				宮城県 化女沼	32,806
	カリガネ	1	1	愛媛県 長崎沼	1
	ヒシクイ	56	17,692	秋田県 大潟村干拓地	11,941
				宮城県 蕪栗沼	1,307
新潟県 福島潟				1,279	
ハクガン	8	937	秋田県 大潟村干拓地	901	
			宮城県 伊豆沼内沼	30	
			宮城県 大沼	3	
カモ類	アカツクシガモ	1	1	静岡県 居沼池	1
	ツクシガモ	37	3,675	佐賀県 大授2区	3,000
				大阪府 北港	88
				広島県 沼田川	66
	オシドリ	654	22,363	高知県 物部川	1,104
				鳥取県 日野川	804
				奈良県 二津野ダム	620
	トモエガモ	112	3,292	石川県 片野鴨池	1,354
				愛媛県 黒瀬ダム	400
				千葉県 夏目堰	190
	ホシハジロ	1,594	97,757	佐賀県 里	6,050
				滋賀県 琵琶湖	5,572
				大阪府 北港	4,368
	アカハジロ	4	4	大阪府 河池	1
				大阪府 北池	1
				広島県 柴木川	1
				広島県 太田川	1
ビロードキンクロ	9	13	徳島県 阿南海岸	3	
			大阪府 淀川	2	
			茨城県 大洗海岸	2	
コオリガモ	15	56	青森県 小川原湖	11	
			北海道 花咲港	8	
			福島県 夏井川	7	
コウライアイサ	1	1	島根県 高津川	1	

注)コケワタガモは今年度の観察個体数がゼロである

6. 移入種の観察状況

令和元年度観察されたガン、カモ、ハクチョウ類のうち、移入種であるハクチョウ類のコブハクチョウ (*Cygnus olor*) を対象に観察状況をまとめた。

6.1 コブハクチョウ

令和元年度の都道府県別分布状況を表2-6-1に、最近20年間の観察個体数を表2-6-2及び図2-6-1に示した。コブハクチョウは過去に野生個体とされる記録があるが、現在観察される個体はほとんどが人為的に移入されたものやその子孫と考えられる。令和元年度調査の観察個体数は20道府県で307羽と、平成30年度に比べて減少した。

表 2-6-1 コブハクチョウの分布状況（都道府県別個体数上位順）

No.	都道府県	観察個体数(羽)
1	福島県	62
2	茨城県	54
3	山梨県	52
4	青森県	38
5	千葉県	32
6	島根県	18
7	香川県	8
8	鳥取県	6
9	福岡県	6
10	北海道	5
11	神奈川県	5
12	静岡県	4
13	新潟県	3
14	大阪府	3
15	兵庫県	3
16	鹿児島県	3
17	長野県	2
18	埼玉県	1
19	愛知県	1
20	宮崎県	1
	計	307

表 2-6-2 最近 20 年間の主要県別コブハクチョウ観察個体数

調査年度	観察地点数	観察個体数(羽)						
		総数	福島県	茨城県	山梨県	青森県	千葉県	その他
平成12年度	18	173	0	96	21	0	1	55
平成13年度	21	226	5	96	21	0	9	95
平成14年度	17	160	0	88	0	0	19	53
平成15年度	19	138	0	35	29	0	23	51
平成16年度	19	265	75	88	36	0	17	49
平成17年度	23	227	0	105	44	0	22	56
平成18年度	29	209	1	80	42	0	13	73
平成19年度	27	240	0	111	48	0	25	56
平成20年度	30	247	0	93	43	0	27	84
平成21年度	25	200	3	104	59	0	2	32
平成22年度	29	269	0	100	54	1	26	88
平成23年度	31	215	1	85	55	0	38	36
平成24年度	32	218	1	96	35	0	47	39
平成25年度	34	256	17	91	43	0	56	49
平成26年度	47	380	44	110	35	2	96	93
平成27年度	43	337	54	68	43	4	92	76
平成28年度	43	367	105	88	37	0	72	65
平成29年度	44	304	44	49	40	34	80	57
平成30年度	42	309	81	54	41	8	61	64
令和元年度	51	307	62	54	52	38	32	69

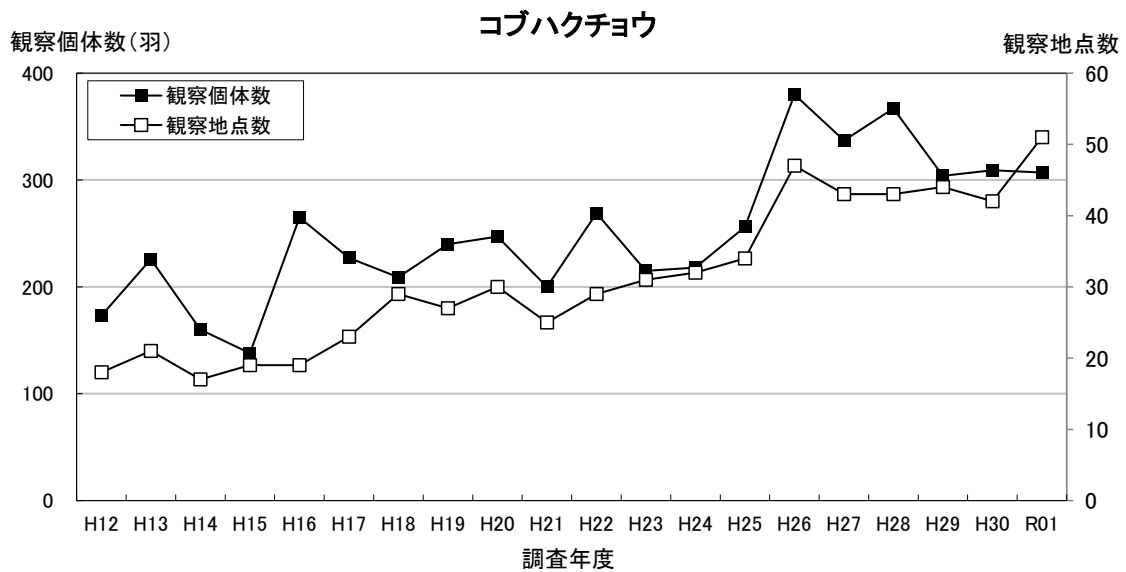


図 2-6-1 最近 20 年間のコブハクチョウ観察個体数と観察地点数

7. 飼養品種の観察状況

令和元年度調査中に観察された飼養品種の報告状況をまとめた。なお、飼養品種の観察状況は、任意報告があったデータのみをまとめている。

表 2-7-1 飼養品種の観察状況

種名	観察個体数(羽)	報告のあった都道府県
アイガモ	32	千葉県、長野県、京都府
アヒル	4	福島県、愛知県
バリケン	1	神奈川県

第 51 回ガンカモ類の生息調査報告書

令和 3 年(2021)年 3 月

環境省自然環境局
生物多様性センター

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1

電話：0555-72-6033

業務名 令和 2 年度ガンカモ類の生息調査報告書等作成
(ボランティアによる野生鳥獣生息概況把握) 業務

請負者 株式会社 数理計画
〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2 丁目 5 番 4 号 (OGA ビル)